

大雪に関する防災気象情報について

令和5年12月18日
福岡管区气象台

福岡県内 少なくとも31人が 事故も相次ぐ (20時時点)

01月24日 20時11分



福岡県内では、雪や強風によるとみられるけがのほか、交通事故の情報も相次いで入っています。

NHKが取材したところ、福岡県内では、福岡市や筑紫野市などで、けがが相次いで発生しています。また、

事故の通報も相次いでいます。

警察によりますと、このうち筑紫野市では午後2時ごろ、トラックや乗用車などあわせて6台が関係する玉突き事故がありました。この事故で、男性1人が病院に搬送されましたが、軽傷です。軽トラックが凍結した路面でスリップして横転したことをきっかけとしてスリップしたり、停止した前の車に追突したことで、警察が、当時の詳しい状況を確認しています。

※けが人(消防への通報による)

福岡市18人・春日市1人・糸島市1人・大牟田市3人・田川市1人・宮若市2人・田川市1人福智町1人・筑紫野市1人

2023/01/24 NHK



最強寒波 路面凍結 事故相次ぐ...福智 車にはねられ男性死亡

2023/01/25 05:00

この記事をスクラップする



強い寒気の影響で、九州・山口では24日、各地で氷点下を観測し、広い範囲で雪となったほか、強風が吹き荒れた。航空便やフェリーの欠航が相次ぎ、路面凍結による交通事故も発生。一部の小中学校は下校時間を繰り上げるなどした。25日にかけて警報級の大雪となる恐れがあり、気象庁は警戒を呼びかけている。〈本文記事はこちら〉



激しく雪が降る福岡県行橋市の市街地。自転車を押しながら横断歩道を渡る人の姿も見られた(24日午後0時16分) = 田中勝美撮影

読売新聞のまとめでは、大分県別府市で、強風で倒れた可能性もある木が直撃して男性が死亡したほか、歩行中だった90歳代の女性が強風にあおられて転倒し、頭に軽傷を負った。

福岡県福智町では24日午後5時20分頃、県道で軽貨物自動車のスリップして回転し、トラックを道路上に停車させて外に出ていた同県飯塚市の社員高井誠さん(51)に衝突。高

2023/01/25 読売新聞

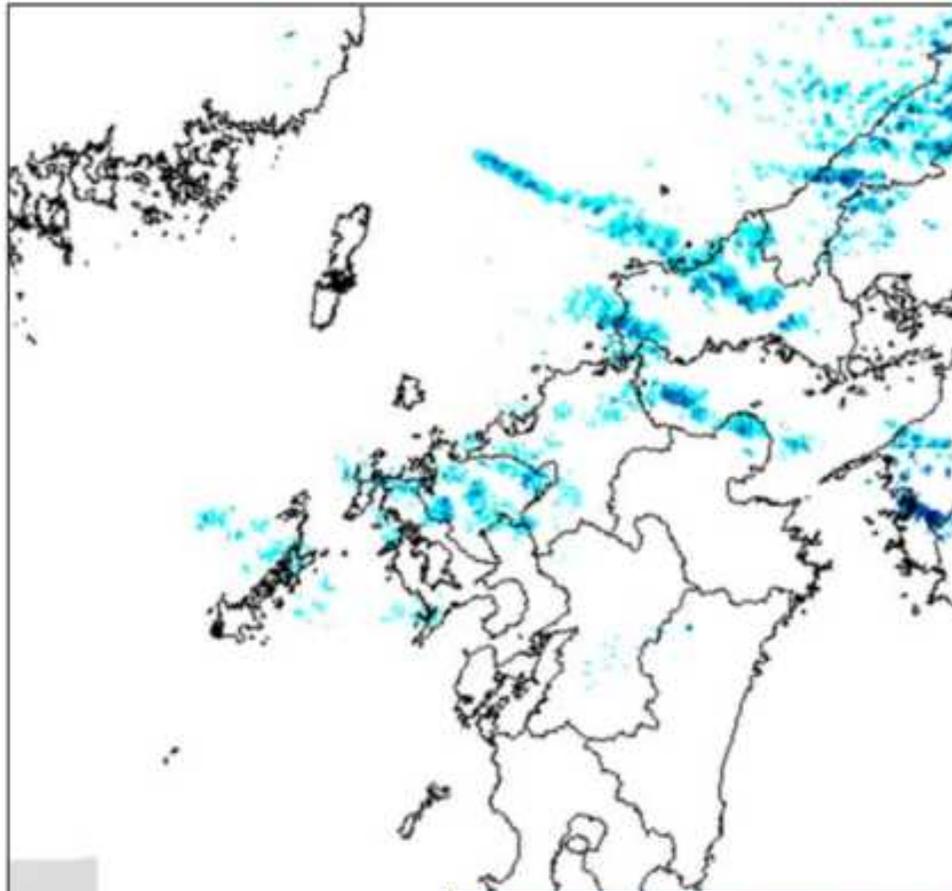
大雪となるパターン

大雪となるパターンは以下のとおり

- ① 西高東低の冬型気圧配置による大雪
～九州西海上から流れ込む雪雲～
- ② 日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)による大雪
～日本海西部から南下する雪雲～
- ③ 南岸低気圧の通過による大雪

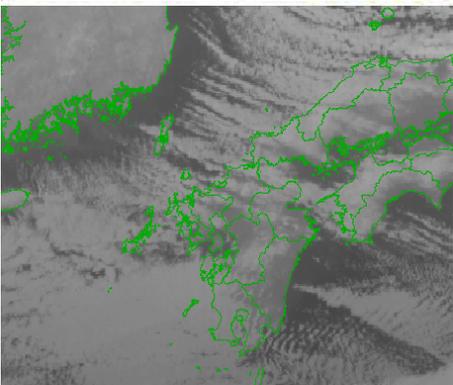


大雪パターン ～西高東低の冬型気圧配置～

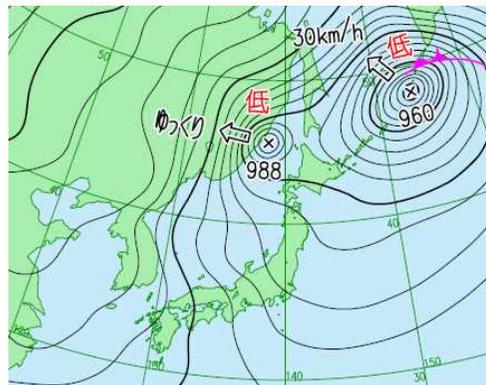


2018/01/24 07:55 降水強度5分

1/24 07:55～09:00



1/24 9時の衛星



1/24 9時の天気図

<特徴>

- ・西高東低の冬型の気圧配置となる。
- ・日本海側を中心に雪が降る。
- ・海上で発生した筋状の雪雲の流入が、上空の風向きにより左右されるため、雪が降る場所が局地的となる。このため、ピンポイントでの降雪予想が難しい。

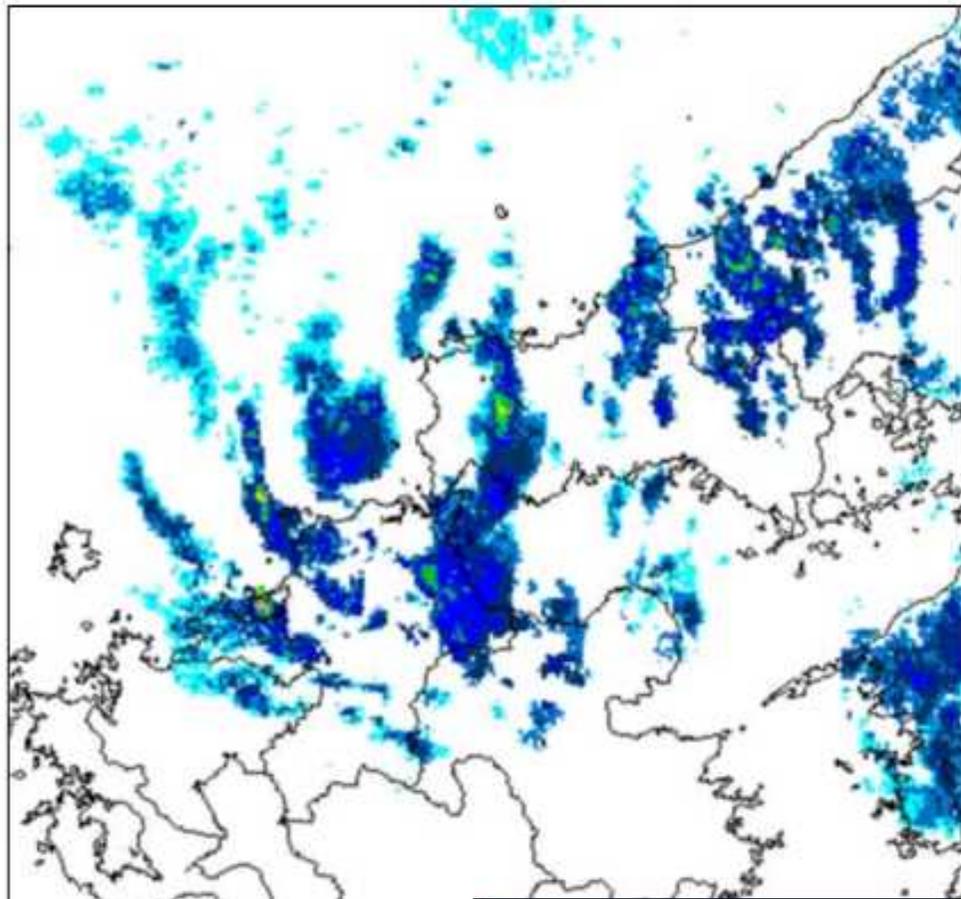
<降りやすい場所>

- ・上空の寒気の程度、風の向きによって降る場所が変わるが、山地は全般に降りやすい
- ※上空の風が北西の場合は、朝鮮半島の陰になり九州には雪雲が進入しにくい

2018年(H30)1月24日の事例

九州北部の上空約1500mに-12度以下の寒気が流れ込み冬型の気圧配置となった。雪雲が関門海峡を抜け、国東半島を中心にまとまった雪となった。

大雪パターン ～日本海から南下する雪雲による大雪～



2015/02/05 17:55 降水強度5分

2/5 17:55～19:00

<特徴>

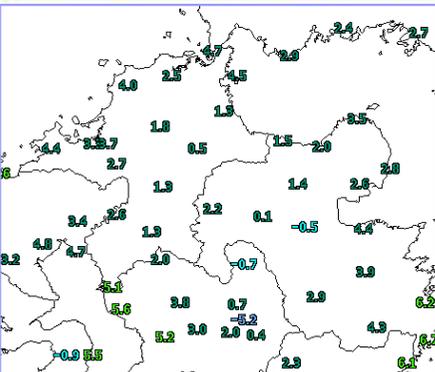
- ・雪雲が南北に連なり、同じコースに流入するため短い時間で雪が積もることが多い。
- ・比較的水分を多く含んだ雪となる

<降りやすい場所>

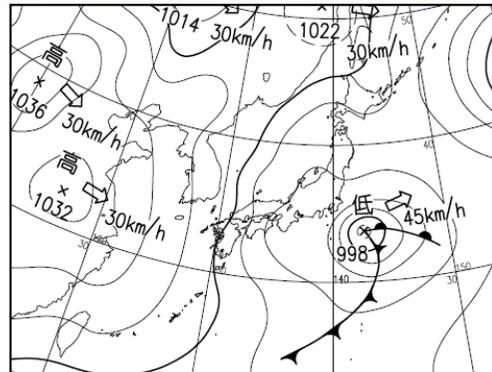
- ・(北から雪雲が流入してくるため)玄界灘沿岸部や周防灘沿岸部、峠など

2015年(H27)2月5日の事例

5日夕方、日本海から雨雲(雪雲)が流れ込み、気温の低下とともに雨から雪へとかわり大分県九重町野上の国道210号でスリップした大型トラックが道路をふさぎ約100台が立ち往生



2/5 18時の気温



2/5 18時の天気図



<特徴>

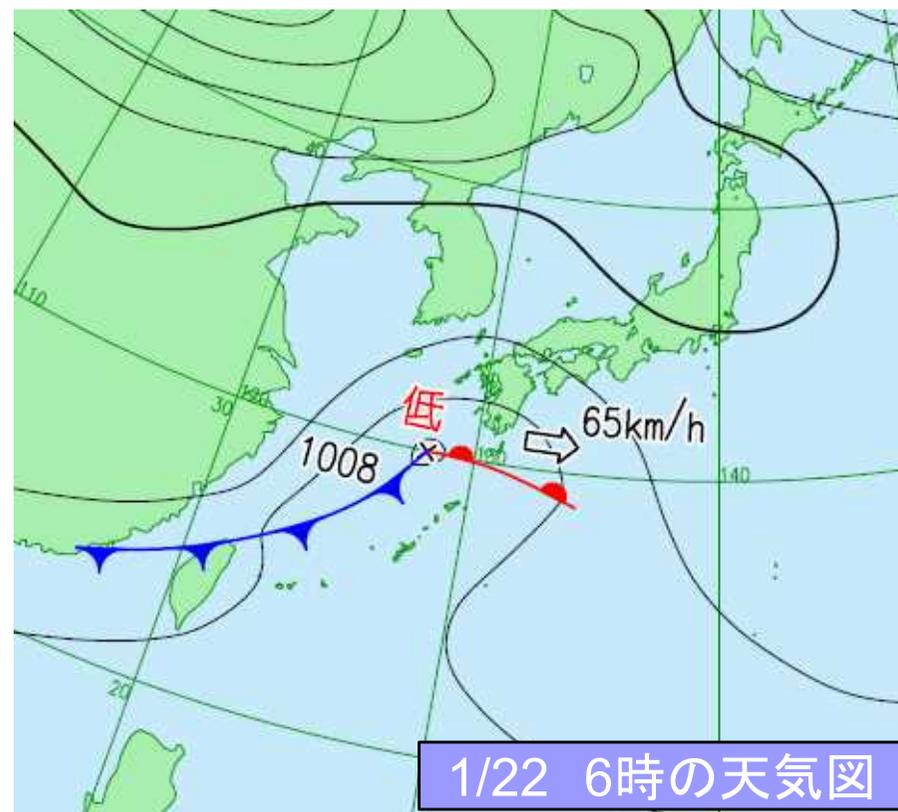
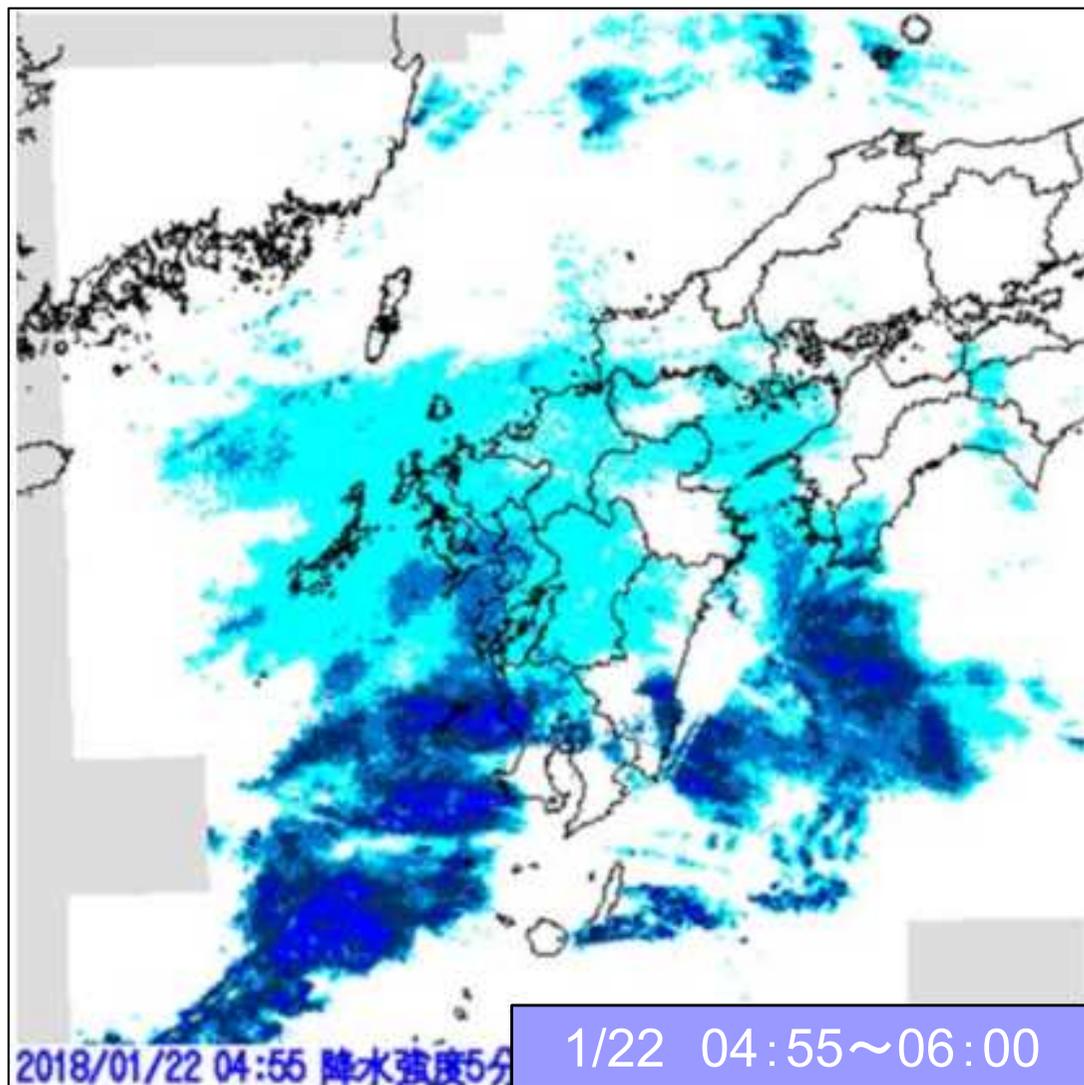
- ・低気圧の通過に伴い、広範囲で雨となり、気温の低い高い場所(主に山地)では雪となる。
- ・上空の気温が高くても雪となる。(平地でも雪となる目安:上空約1500mで-3度)
- ・水分を多く含んだ雪となる。
- ・太平洋側を前線を伴った低気圧が通過
- ・(通常は降らない)太平洋側でも雪が降るパターン

<降りやすい場所>

- ・広い範囲で雪(雨)が降りやすい。
- ・上空の方が気温が低いため、標高の高い所は雪、低い所では雨となりやすい。
上空の気温によって、雪の降る標高が変わってく。気温が低いと平地でも雪となる可能性。

2018年(平成30)1月22日事例

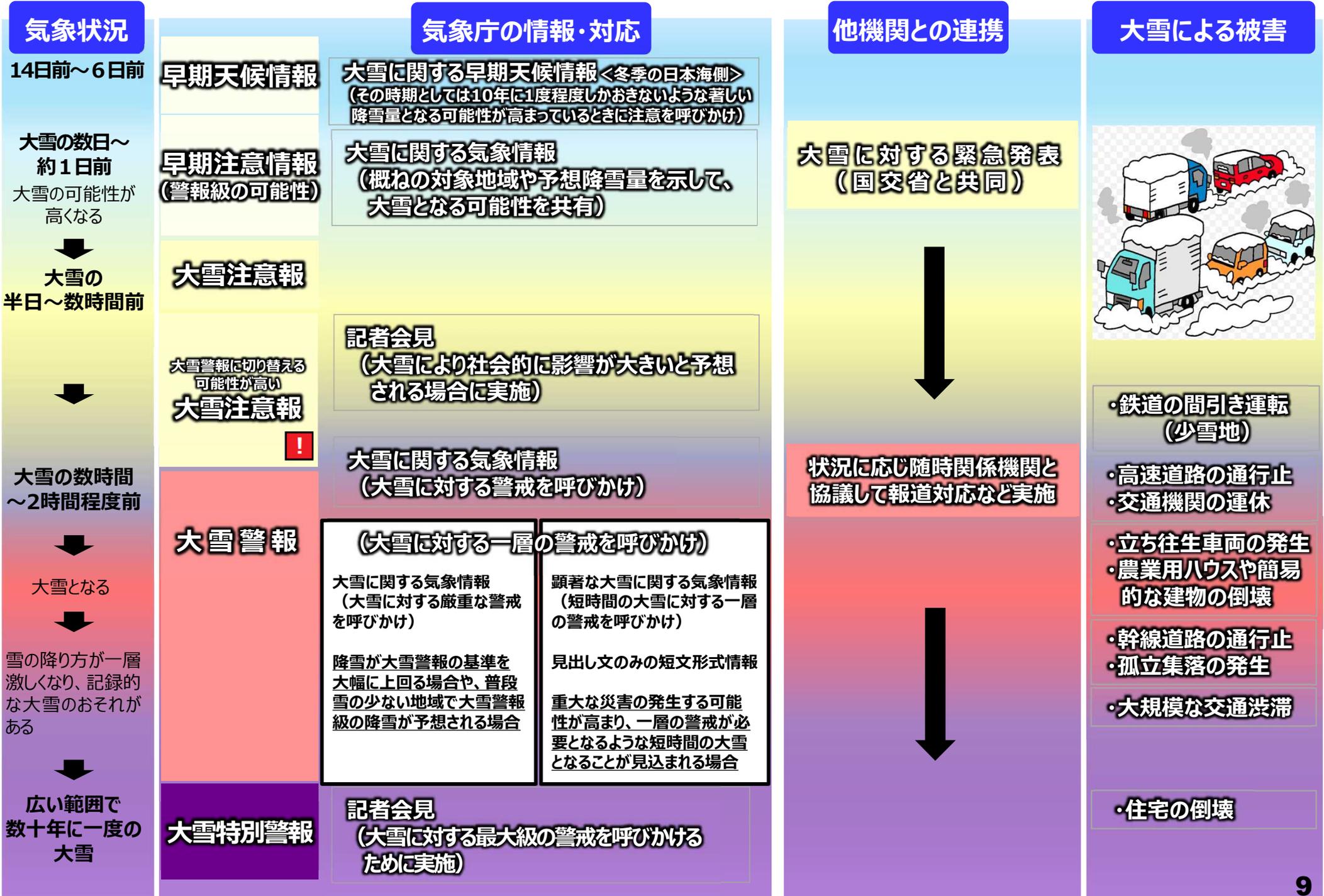
22日午前中九州の南海上を低気圧が通過。気温の低い山地では雪となったが、平地では雨となった。夜、関東では気温が低下し大雪となった。



2018年1月22日
東京(大手町)で23cmの積雪を観測

气象台が発表する 防災気象情報

大雪のおそれに応じて段階的に発表される気象情報と対応



早期注意情報(警報級の可能性)



- 警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報(警報級の可能性)」として[高]、[中]の2段階で発表しています。
- 警報級の現象は、ひとたび発生すると命に危険が及ぶなど社会的影響が大きい
ため、可能性が高いことを表す[高]だけでなく、可能性が高くはないが一定程度
認められることを表す[中]も発表しています。
- 府県気象情報の内容と合わせて確認してください。

福岡県の早期注意情報(警報級の可能性)											
20XX年XX月18日17時00分 福岡管区気象台 発表											
福岡県福岡地方		18日	19日			20日	21日	22日	23日		
		18-24	00-06	06-12	06-12					12-24	
大雨	警報級の可能性	-			-			-	-	-	-
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下					
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下					
	24時間最大		50以下								
大雪	警報級の可能性	[高]		[高]			[中]	[中]	-	-	
	6時間最大	5 山沿いでは10	7 山沿いでは15	3 山沿いでは10	1 山沿いでは7	1 山沿いでは3					
	24時間最大		20から30								
暴風 (雪)	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-	
	最大風速	陸上	9以下	10	13	13	10				
海上		9以下	10	13	13	10					

大雪に関する府県気象情報

暴風雪と大雪に関する福岡県気象情報 第3号
令和5年1月22日16時57分 福岡管区気象台発表

雪の注意・警戒が必要な期間

(見出し)

福岡県では、24日は雪を伴った暴風に警戒し、24日から25日にかけて大雪や高波に注意・警戒してください。

(本文)

24日は低気圧が発達しながら千島近海と日本の東を北東に進み、24日から25日にかけて冬型の気圧配置が強まる見込みです。九州北部地方では、24日から25日にかけて、上空約1500メートルに氷点下15度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。

このため、福岡県では、24日は海上を中心に西または北西の風が非常に強く吹き、24日から25日にかけて大しけとなるおそれがあります。

また、福岡県では24日から25日にかけて、警報級の大雪となるおそれがあります。

～ 中略 ～

<雪の予想>

23日18時から24日18時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

山地 10から20センチ

平地 5から10センチ

その後も降雪量は増える見込みです。

降雪量予想

「積雪」ではなく
「降雪」を予想

<防災事項>

雪を伴った暴風に警戒してください。

降雪や路面凍結による交通障害、農業施設の管理、高波などに注意・警戒してください。低温による水道管の凍結に注意してください。

今後発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

大雪警報・注意報の基準



福岡管区气象台
Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

警報

府県	平地	山地
山口県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ30cm
福岡県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ20cm
佐賀県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ20cm
長崎県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ20cm
熊本県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ20cm
大分県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ20cm
宮崎県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ20cm
鹿児島県	12時間降雪の深さ10cm	12時間降雪の深さ15cm

注意報

府県	平地	山地
山口県	12時間降雪の深さ5cm	12時間降雪の深さ15cm
福岡県	12時間降雪の深さ3cm	12時間降雪の深さ5cm
佐賀県	12時間降雪の深さ3cm	12時間降雪の深さ5cm
長崎県	12時間降雪の深さ3cm	12時間降雪の深さ5cm
熊本県	12時間降雪の深さ3cm	12時間降雪の深さ5cm
大分県	12時間降雪の深さ3cm	12時間降雪の深さ5cm
宮崎県	12時間降雪の深さ3cm	12時間降雪の深さ5cm
鹿児島県	12時間降雪の深さ3cm	12時間降雪の深さ5cm

- 警報は、重大な災害が発生するような警報級の現象がおおむね3～6時間先に予想されるときに発表することとしています。
- 警報級の現象が概ね6時間以上先に予想されているときには、警報の発表に先立って、警報に切り替える可能性が高い注意報を発表することとしています。

令和5年 1月24日 20時58分 福岡管区气象台発表

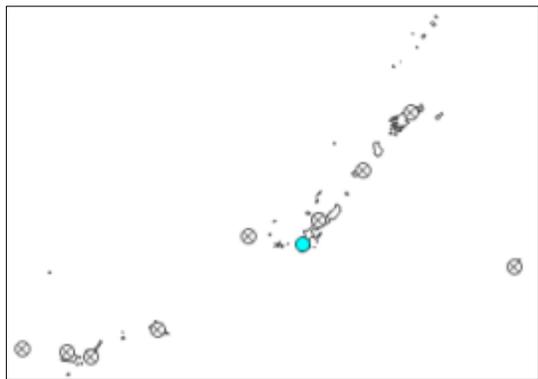
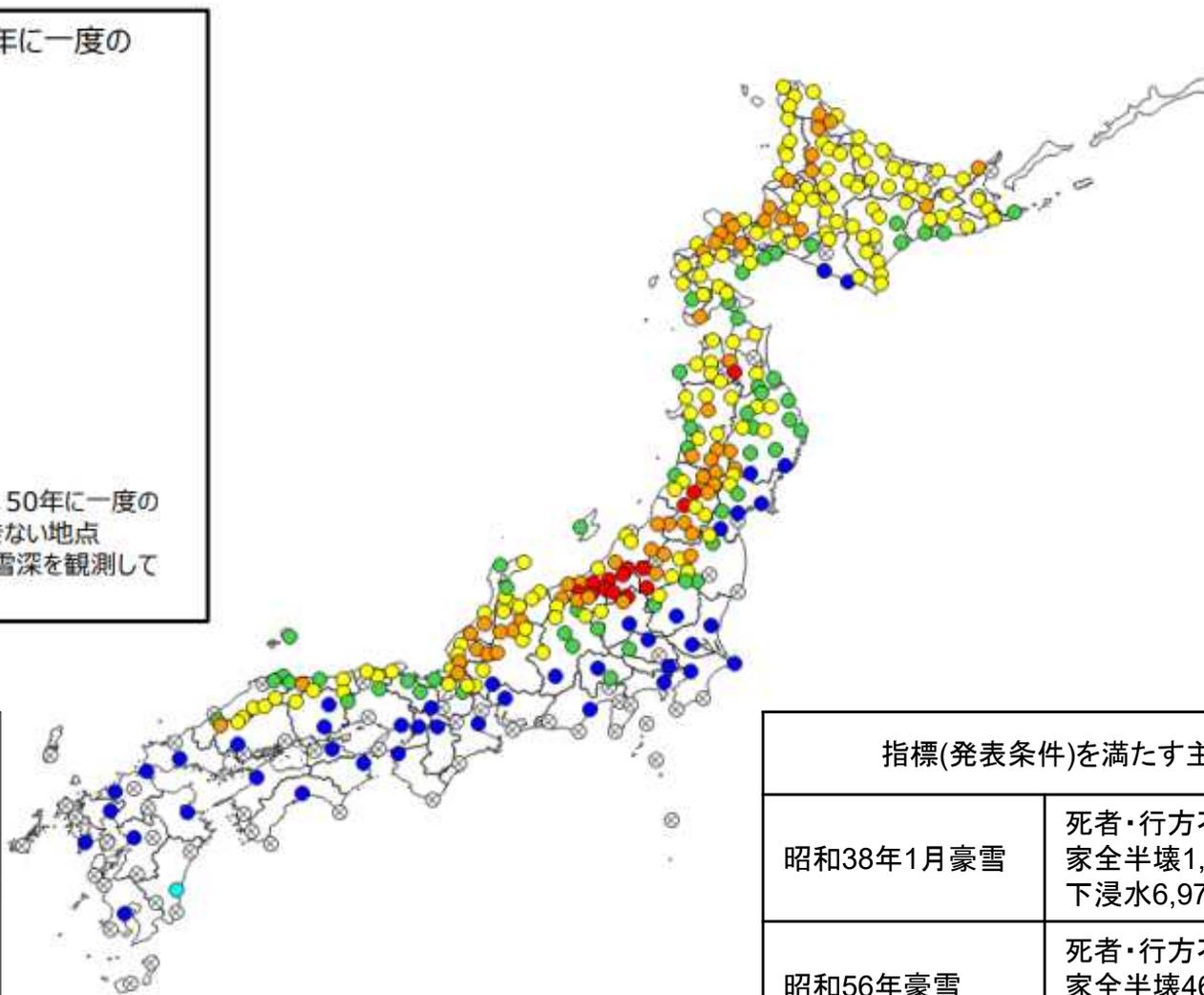
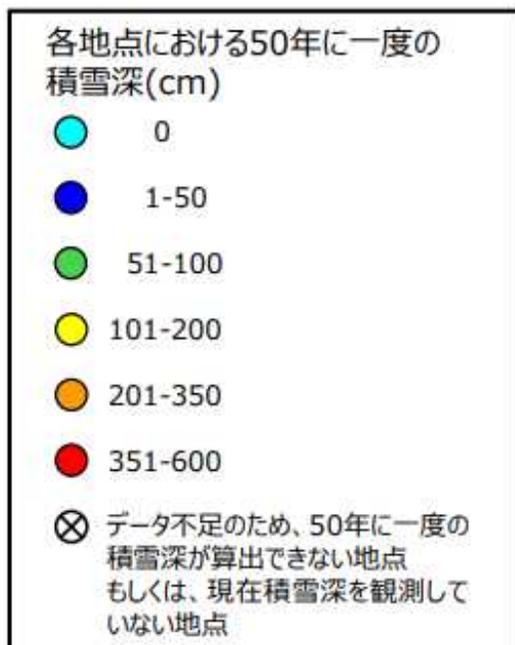
福岡県の注意警戒事項

福岡、北九州地方の海上では、24日夜遅くまで暴風雪に警戒してください。福岡県では、25日明け方まで大雪に警戒してください。

福岡市 **[発表]大雪警報**
[継続]暴風雪警報 雷, 波浪, 低温, 着雪注意報

福岡市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)									備考・ 関連する現象											
発表中の 警報・注意報等の種別		24日		25日																		
		18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21												
暴風雪	陸上	15	15	13	12	10																
	玄界灘	20	20	18	15	12																*は雪を伴う
	沖ノ島周辺	20	20	18	15	12																*は雪を伴う
大雪	山地																					12時間最大降雪量20センチ 降雪による交通障害
	平地																					12時間最大降雪量10センチ 降雪による交通障害

- 記録的な大雪(府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深)となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合には、大雪特別警報を発表します。



指標(発表条件)を満たす主な事例

昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者231人住家全半壊1,735棟床上・床下浸水6,978棟
昭和56年豪雪	死者・行方不明者152人住家全半壊466棟床上・床下浸水8,097棟

- 普段とは異なる顕著な降雪や猛吹雪が予想される場合、普段降雪が少ない地域においてまとまった降雪が予想される場合など、大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こすおそれのある大雪が予想される場合には、国土交通省と気象庁が共同して記者会見を開き、車両の立ち往生などに対して一層の警戒を呼びかけます。
- 各地方でも地方整備局と气象台、高速道路事業者等と共同して記者会見や記者発表を行い警戒を呼びかけます。

令和5年1月23日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区气象台
NEXCO西日本九州支社

大雪に関する緊急発表

～不要不急の外出はお控えください～

- 九州では1月24日から25日にかけて、この冬一番の寒気が流れ込み、山地平地ともに警報級の大雪となるおそれがあります。【別紙-1】
- 九州の広い範囲において、高速道路や主要幹線道路の通行止めが発生する場合があります。積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道が同時に通行止めとなる場合があります。
- 道路利用者の皆様へお願いです。
 - ・不要不急の外出は避けてください。

【道路利用者等への呼びかけ】

- 九州では、1月24日から25日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み、山地平地ともに警報級の大雪となるおそれがあります。
- 平地で10cm以上の降雪となり、立ち往生等が発生する危険性の高い大雪が見込まれているため、十分に警戒してください。
- 路面の凍結、集落の孤立、着雪による停電や倒木にも注意が必要です。
- 九州においても、平成28年1月23日からの大雪により、福岡県、佐賀県の国道3号や国道34等において、大規模な渋滞が発生しました。
- ドライバーの方々には、不要不急の外出は避けてください。やむを得ず運転する場合は、冬用タイヤやチェーンの装着してください。冬用タイヤでも走行できない恐れがありますので、タイヤチェーンを必ず携行・装着してください。
- お出かけ前には最新の気象情報及び道路交通情報を確認してください。

【1. 今後の気象の見通し】

大雪の予想

◆1月24日から25日にかけて、九州北部地方の上空およそ1500メートルに氷点下15度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。このため、九州では24日夕方から25日にかけて、山地平地ともに警報級の大雪となるおそれがあります。

大雪の早期注意情報(警報級の可能性)

日	23日		24日		25日
	時	12~18	18~06	06~24	
九州北部地方※	-	-	高	高	高
九州南部	-	-	高	高	高

24時間降雪量の予想(多い所) 単位:センチ

	24日6時~25日6時
九州北部地方※	平地:10~20、山地:20~40
九州南部	平地:5~10、山地:10~20

※九州北部地方は山口県を除く

◆気象庁HP「今後の雪」

<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

◆最新の気象情報をご利用ください。

【2. 過去の大雪による道路交通障害】

平成28年1月23日から1月26日にかけての大雪

- 九州全域で高速道路や主要線道路において、通行止めや交通渋滞等の交通障害が発生。
- 九州縦貫自動車道が長時間の通行止めとなり、周辺の国道3号や国道34号等において、大規模な渋滞が発生。

【参考】

国道3号(太宰府IC~広川IC間、延長約35km)の所要時間

通常時…約1時間

大雪時…約6時間

※大雪時:平成28年1月の大雪時



▲立ち往生車両の発生状況(鳥栖市)

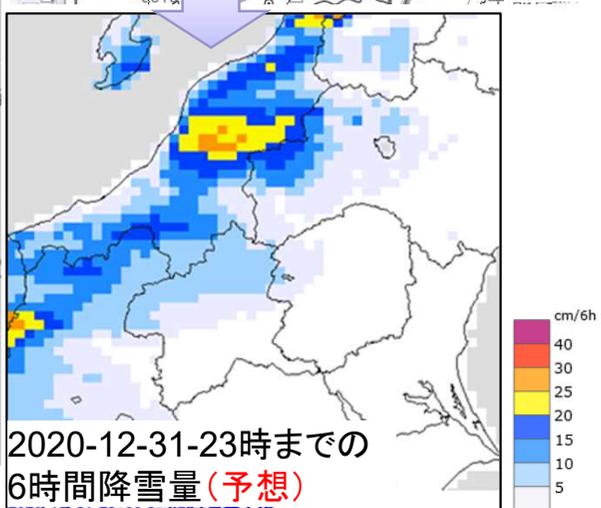
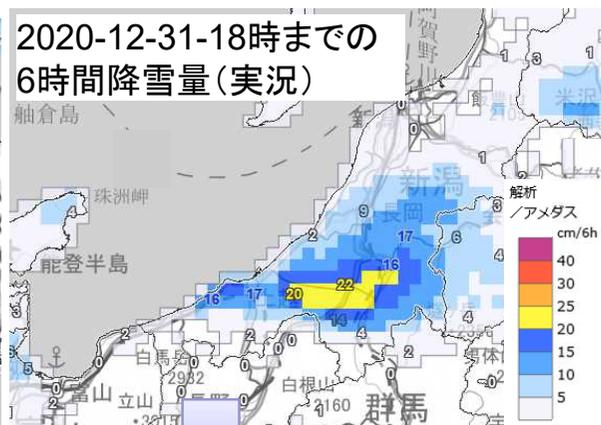
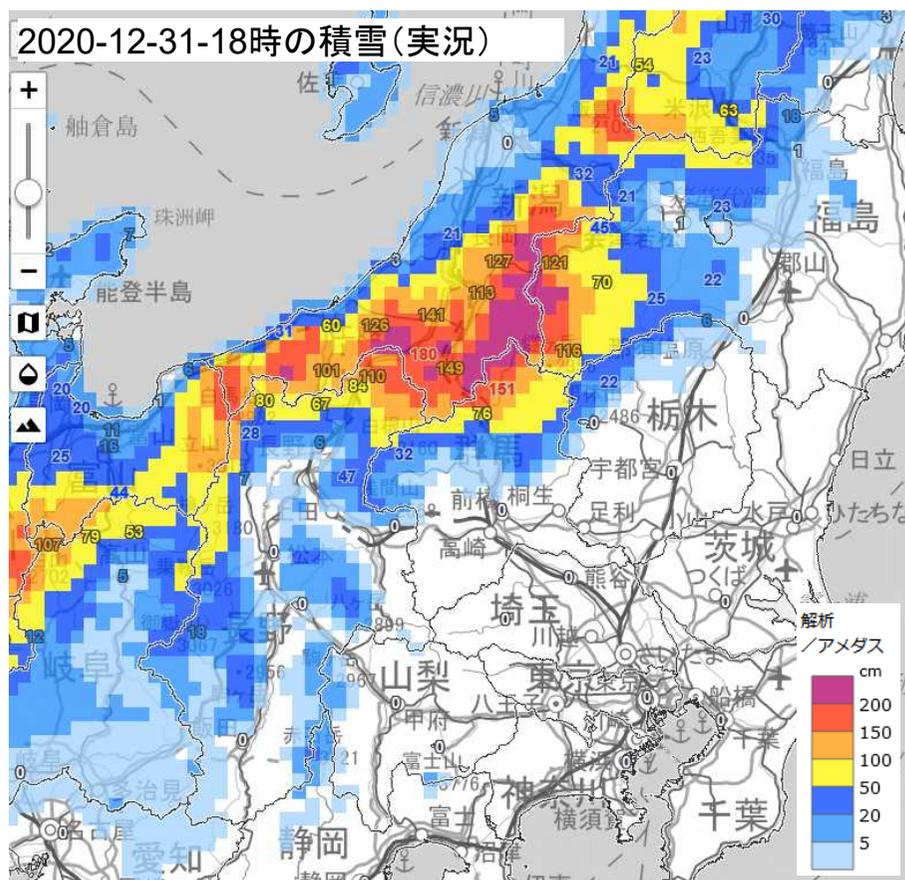


▲国道3号の渋滞状況
(福岡県筑紫野市上空)

今後の雪(降雪短時間予報)

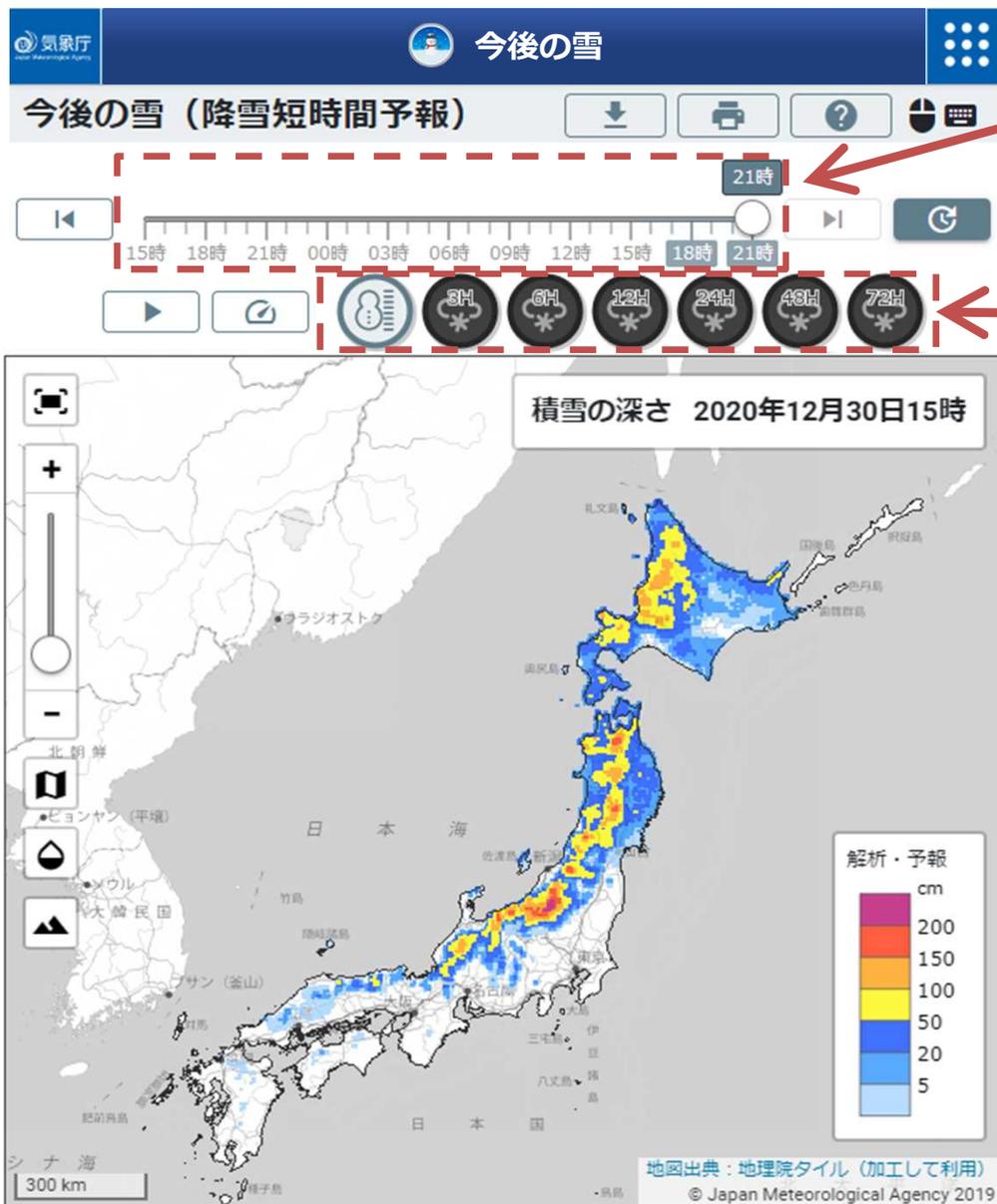


- ✓ 解析積雪深・解析降雪量と組み合わせて、6時間先までの積雪深や降雪量の予測分布が確認できます。雪による交通への影響等を前もって判断いただくための情報としてご利用ください。
- ✓ この情報は1cm単位で活用いただくことを想定していません。今後数時間先までの積雪の深さ・降雪量の予想分布の傾向を把握するための資料としてご利用ください。



今夜はまだ降りそう
だ…
通行止めになると困る
し、車はやめておこう。
帰るのは来週にしよう。





過去24時間分の積雪の深さと降雪量に加えて6時間先までの予報を一体的に確認することが可能

クリックして要素選択



積雪の深さ

降雪量

URL (「現在の雪」から変更無し)
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>



防災気象情報の取得



福岡管区気象台
Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

気象庁ホームページ

1

2

報道発表

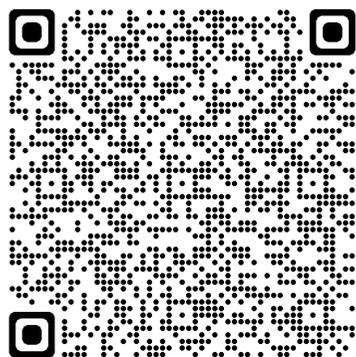
令和4年11月25日

報道発表 今年の南極オゾンホール

令和4年11月24日

お知らせ 令和4年度第2回「気象データのビジネス活用セミナー ～気候変動と企業のリスク管理～」を開催しま

气象台では今後の雪をはじめ様々な防災気象情報を提供しております。2次元バーコードにて、ブラウザの「お気に入り」に登録頂き、ご活用ください。



こちらのQRコードを読み込みますと、左記の気象情報が確認できます。

コンテンツ一覧

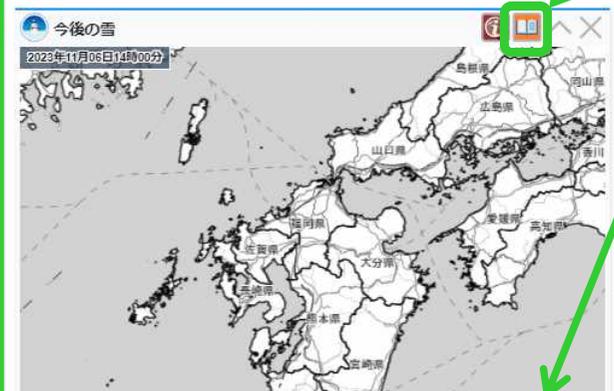
- 气象台からのコメント
- 今後の雪
- 警報・注意報 (今後の推移)
- 早期注意情報

スマートフォンカスタマイズ画面

あなたの街の防災情報... 福岡県 市町村選択

全国 福岡県の防災情報

气象台からのコメント
2023年11月06日(月)15時07分
<防災事項>
・玄界灘や響灘では急速に発達した低気圧の影響で気圧の傾きが大きくなり、7日未明にかけて暴風警報を発表する可能性があります。
<早期注意情報 (警報級の可能性)>
7日未明にかけて
福岡地方の沿岸の海域、北九州地方の響灘 暴風 [中]



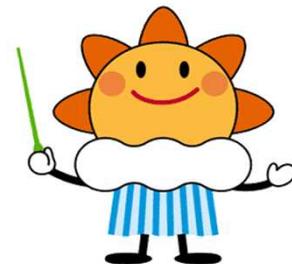
- 警報・注意報 (今後の推移)
- 早期注意情報

折りたたみボタン 表示を戻します

凡例表示・非表示ボタン
雨雲の動きでは、色別の降水強度が出ます。

詳細情報等ボタン
最大化して、他のエリアを見たり、時系列で確認したりできます。

要素選択ボタン
カスタマイズ要素の変更ができます
※ カスタマイズで選べない要素を閲覧する場合は、こちらを利用してください。



気象庁マスコット
キャラクター
「はれるん」

ご清聴ありがとうございました。

皆さんへのお願い

- ・日頃から天気に興味を
- ・災害が予想される場合には備える習慣を



九州地方における近年の 降雪対策事例について

令和5年12月18日

国土交通省 九州地方整備局

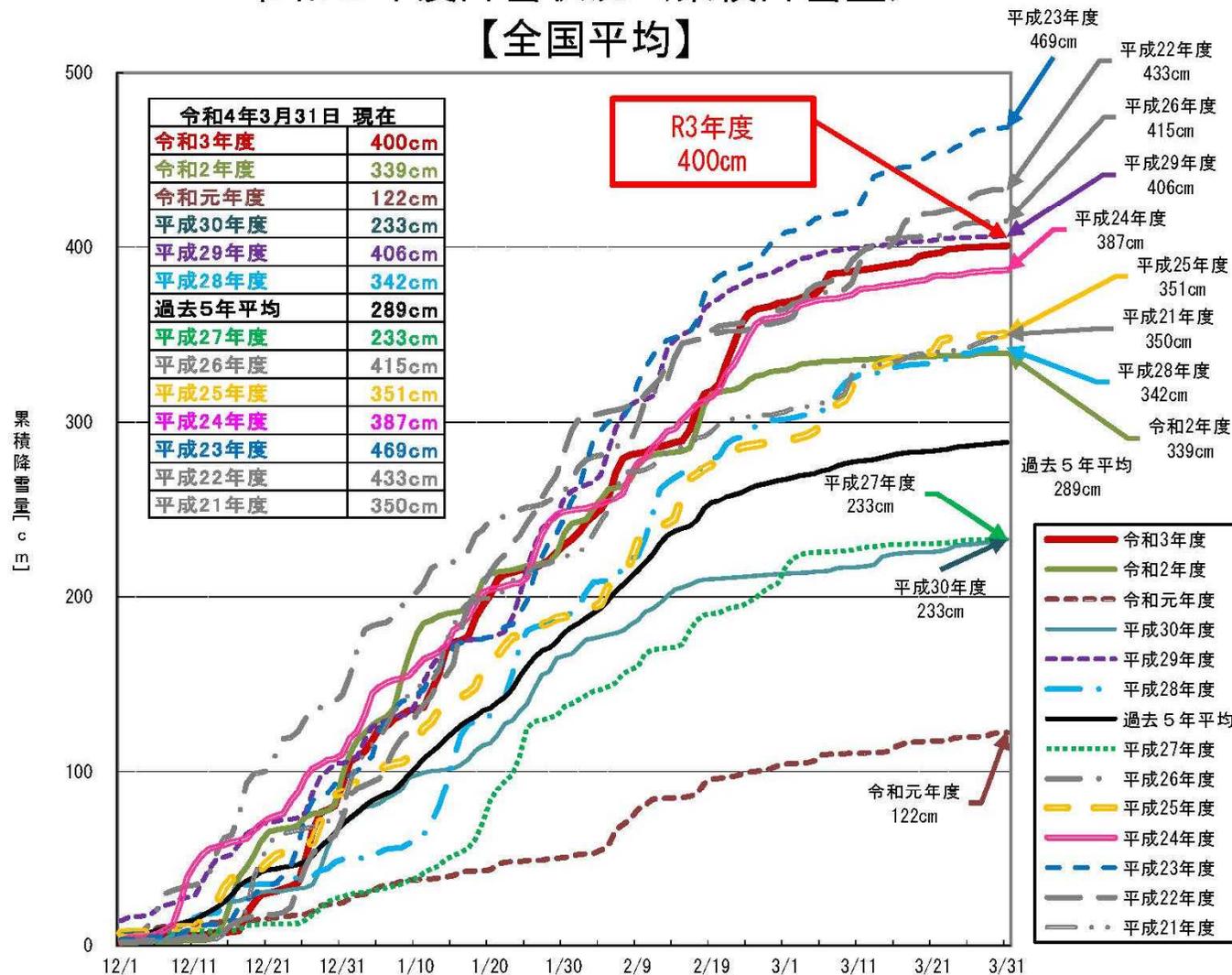
道路部 道路管理課長補佐 岩本誠治

1. 気象：近年の降雪量
2. 道路管理：主な車両の滞留事例
3. 降雪時における国道の管理
4. 令和4年度最強寒波への対応

○累積降雪量は年によって大きなばらつき（122～469cm）
 ○令和3年度の累積降雪量は400cmを記録。滋賀・京都では過去5年平均の2倍以上

令和3年度降雪状況（累積降雪量）

【全国平均】



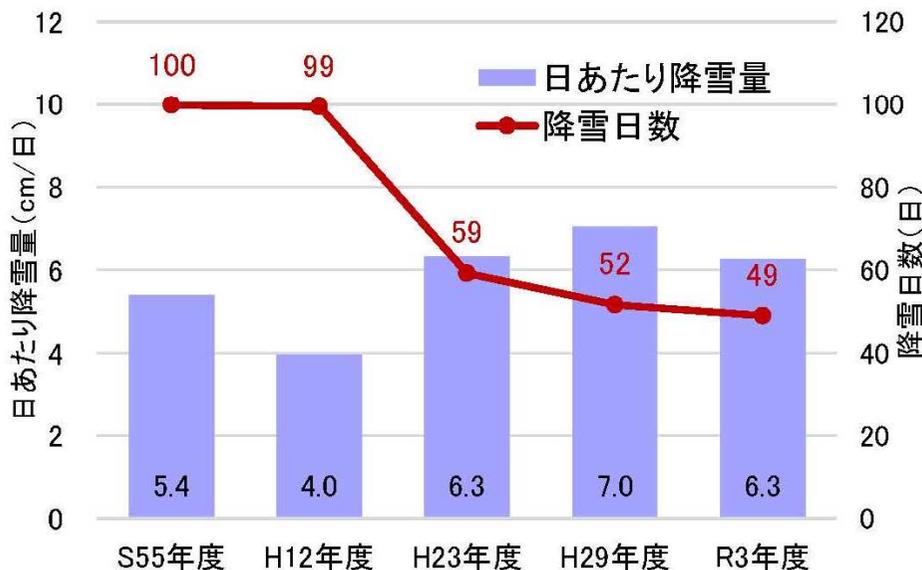
道府県別累積降雪量

道府県	令和3年度 (A)	過去5年 平均(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
北海道	330	318	12	1.04
青森県	483	391	91	1.23
岩手県	389	314	75	1.24
宮城県	475	345	131	1.38
秋田県	609	492	117	1.24
山形県	589	503	86	1.17
福島県	847	615	233	1.38
栃木県	362	236	126	1.53
群馬県	474	318	156	1.49
長野県	399	291	108	1.37
新潟県	541	429	112	1.26
富山県	434	285	150	1.52
石川県	151	112	39	1.34
岐阜県	509	335	174	1.52
福井県	321	162	159	1.98
滋賀県	347	109	238	3.19
京都府	274	99	175	2.77
兵庫県	462	247	215	1.87
鳥取県	232	135	97	1.72
島根県	144	143	1	1.00
岡山県	248	144	103	1.72
広島県	372	313	58	1.19
山口県	64	98	-35	0.65
全国平均	400	289	112	1.39
内地平均	406	286	119	1.42

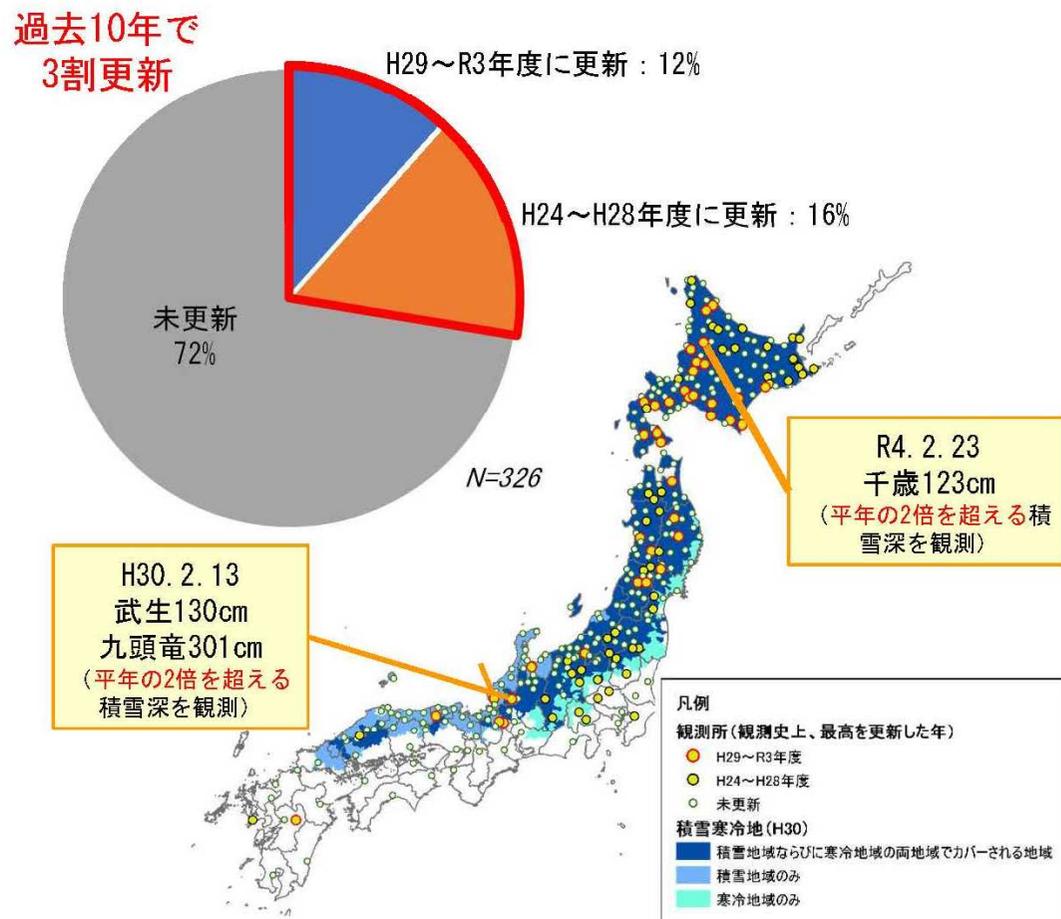
※積雪寒冷地域内の観測地点（103地点）の平均値
 ※「過去5年平均」：H28～R2年度の累積降雪量の平均値

○降雪日数が減少する一方、日あたり降雪量が増加する傾向
 ○過去10年で3割の観測地点において最大積雪深の観測史上最高を更新

■日あたり降雪量と降雪日数の推移
 ⇒降雪日数が少なく1日に多く降る傾向



■過去10年で最大積雪深が観測史上最高を更新した地点
 ⇒近年は全国的に観測史上最高を更新



以下の気象観測所の「降雪量の日合計」を使用

- 北海道 (稚内・網走・札幌・倶知安・釧路・函館)
- 青森県 (青森) 秋田県 (秋田) 岩手県 (盛岡) 山形県 (山形・新庄)
- 宮城県 (仙台) 福島県 (若松) 新潟県 (新潟・高田) 富山県 (富山)
- 石川県 (金沢) 福井県 (福井) 長野県 (長野) 岐阜県 (高山)
- 鳥取県 (鳥取) 島根県 (松江)

- 令和3年度は11地点で24時間降雪量の観測史上1位を記録
- 東日本・西日本では、12月下旬以降の強い寒気の影響で積雪深が大きくなった

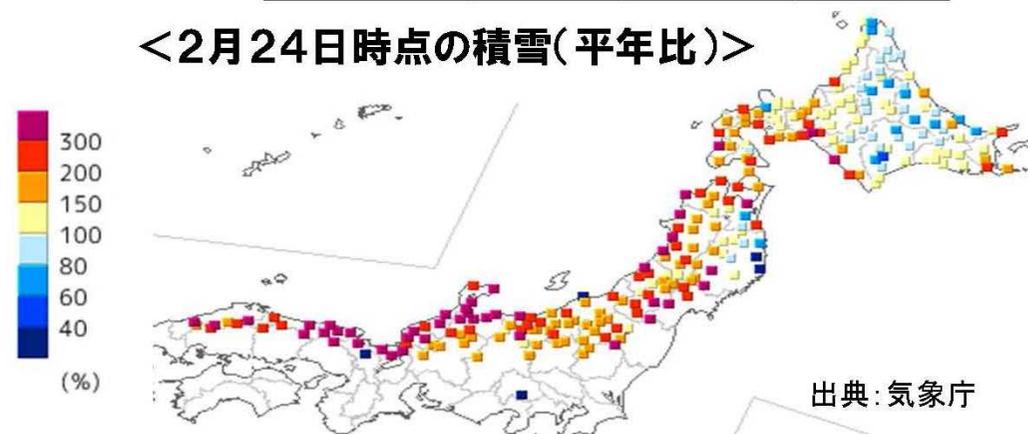
<24時間降雪量(観測史上1位を記録した地点)>

日付	都道府県	市町村	降雪量 (cm)
11月24日	北海道	幌加内町(朱鞠内)	77
11月25日	北海道	幌加内町(幌加内)	65
12月18日	北海道	小樽市	53
12月24日	北海道	稚内市	65
12月27日	滋賀県	彦根市	68
12月27日	兵庫県	朝来市	71
2月6日	北海道	札幌市中央区	60
2月6日	滋賀県	米原市	62
2月17日	北海道	檜山郡江差町	27
2月23日	北海道	千歳市	46
2月22日	北海道	虻田郡豊浦町	60

<最大深積雪深(観測史上1位を記録した地点)>

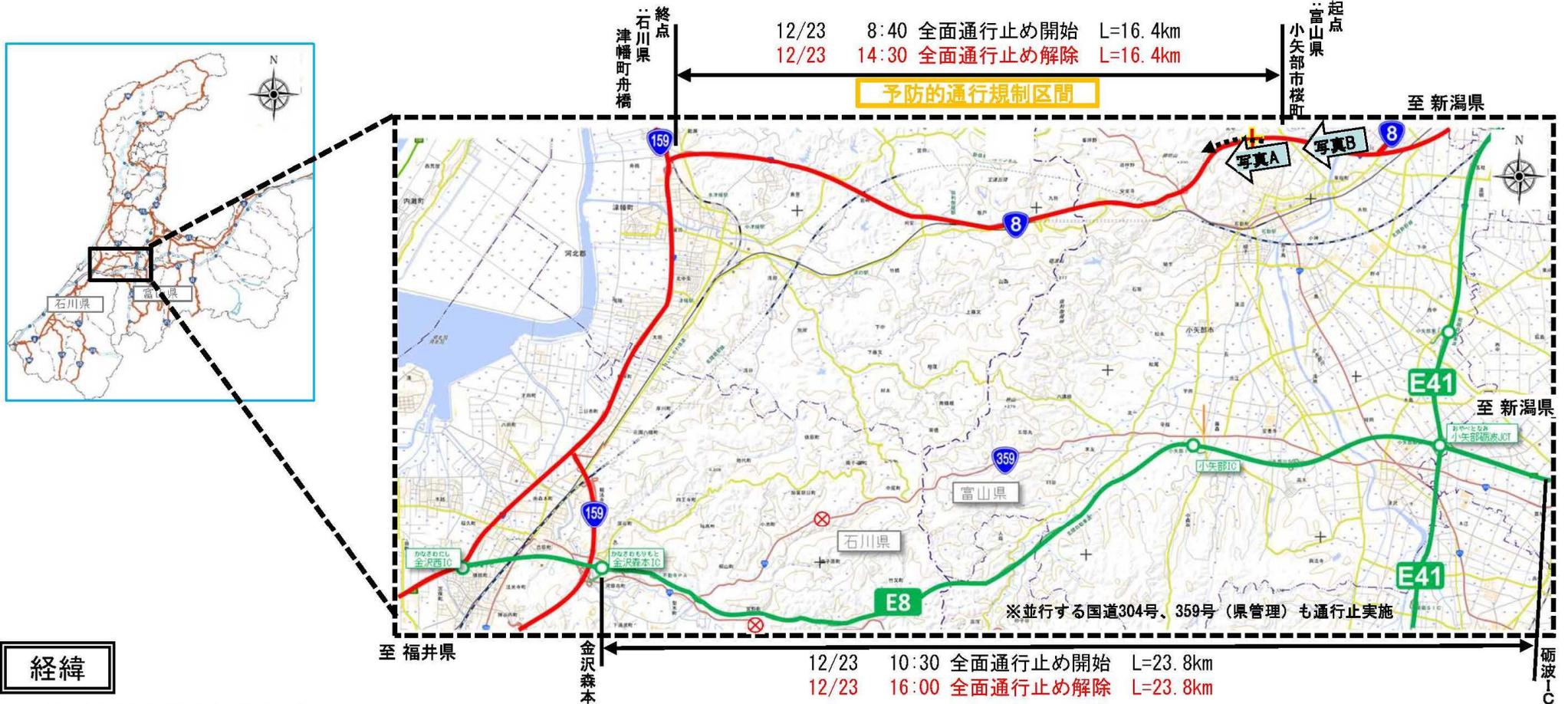
日付	道府県	市町村	積雪量 (cm)
2月8日	北海道	石狩市	198
2月23日	北海道	恵庭市	154
2月23日	北海道	千歳市	123
1月14日	北海道	芦別市	130
2月23日	北海道	黒松内町	214
2月23日	北海道	安平町	127
2月22日	北海道	豊浦町	162
2月17日	青森県	野辺地町	115
2月7日	岐阜県	関ヶ原町	91
2月24日	新潟県	津南町	419
2月6日	滋賀県	米原市	91
2月24日	兵庫県	香美町	208

<2月24日時点の積雪(平年比)>



1. 気象：近年の降雪量
2. 道路管理：主な車両の滞留事例
3. 降雪時における国道の管理
4. 令和4年度最強寒波への対応

令和4年12月22日からの大雪 国道8号・北陸道と同時予防的通行止め 国土交通省 (富山・石川県地区)



経緯

令和4年12月23日(水)

- 8:16 顕著な大雪に関する石川県気象情報発表
- 8:40 国道8号 集中除雪のための予防的全面通行止 (富山県小矢部市桜町～石川県津幡町舟橋)
- 10:30 北陸道(金沢森本IC～砺波IC)通行止め

【集中除雪等の実施】

- 14:30 国道8号 通行止め解除
- 16:00 北陸道 通行止め解除



写真A(集中除雪実施状況)



写真B(桜町交差点)

新潟県内の令和5年1月24日からの同時通行止め箇所図

事前の広報：本省（1月23日記者会見）、北陸地方整備局・NEXCO東・中等（1月20日記者会見、1月23日～通行止め予測※公表）

※高速道路あるいは直轄国道を通行止めとする場合、並行する道路も同時通行止めすることを基本とすることも周知



新名神 大雪時の渋滞による大規模滞留事象の位置図

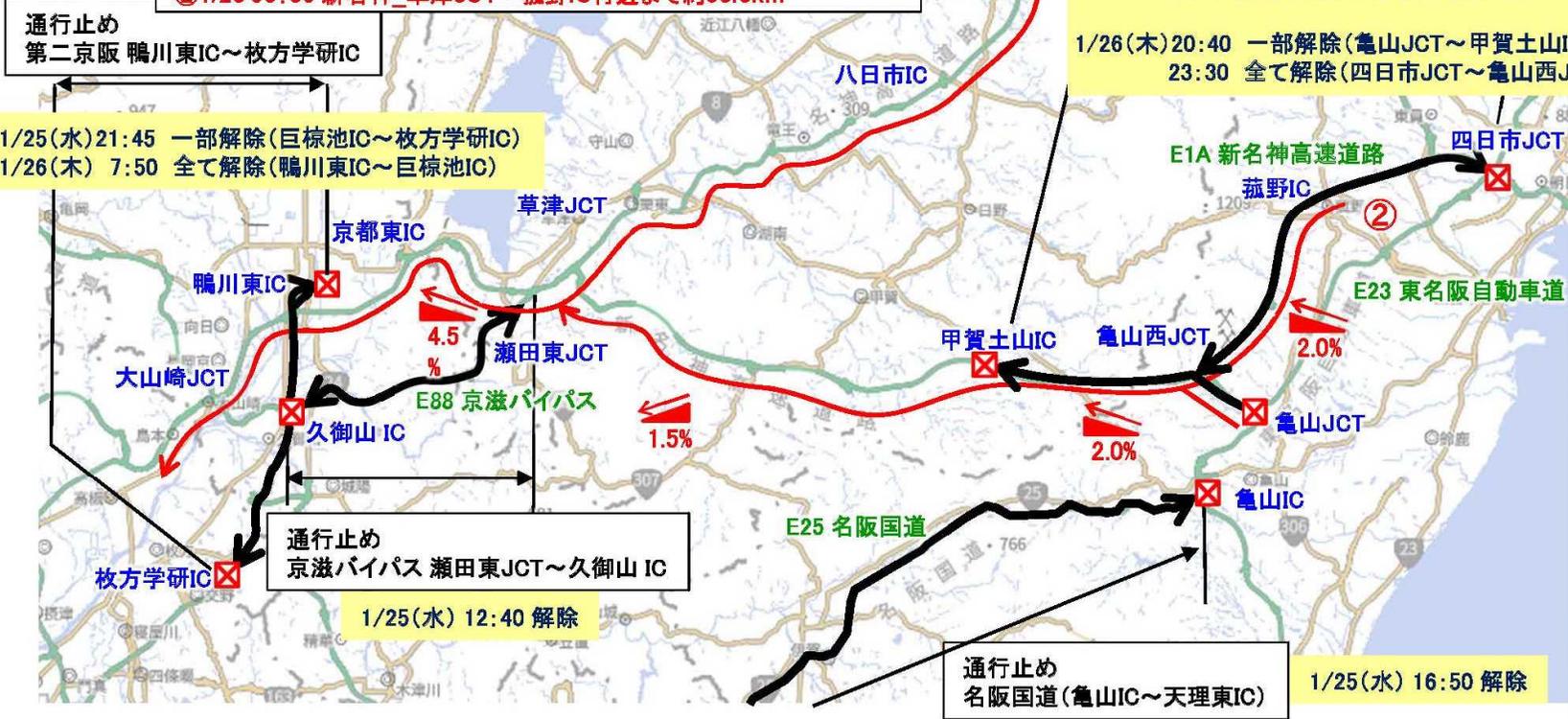
【時系列】

- 1/24(火) 15:00 亀山西JCT付近で降雪開始
- 17:25 京都東IC付近で降雪開始
- 17:57 京滋バイパス(瀬田東JCT～久御山IC)で雪通行止開始
- 19:00 名阪国道(亀山IC～天理東IC)で雪通行止開始
- 1/25(水) 03:50 新名神で雪通行止め開始【通行止め区間延長47.8km】
(四日市JCT～亀山西JCT 上下線)
(亀山西JCT～甲賀土山IC 下り線)
(亀山JCT～亀山西JCT 下り線)
- 12:40 京滋バイパス(瀬田東JCT～久御山IC)で通行止解除
- 16:50 名阪国道(亀山IC～天理東IC)で通行止解除
- 1/26(木) 06:24 新名神の渋滞最後尾の車両が動き出し
- 08:05 新名神の渋滞解消、集中除雪開始
- 20:40 新名神(亀山JCT～甲賀土山IC:下り)で通行止解除
- 23:30 新名神(四日市JCT～亀山西JCT:上下)で通行止解除



■最大渋滞長

- ①1/24 22:38 名神_天王山TN付近～湖東三山PA付近まで約70km
- ②1/25 03:50 新名神_草津JCT～菟野IC付近まで約65.5km



トレーラー積み荷落下 国道210号 最大4キロ渋滞

10日午後2時ごろ、九重町右田の国道210号尾本トンネル出口付近で、大型トレーラーから積み荷の大型作業車が落下した。作業車は横転して国道をふさぎ、上下線とも全面通行止めとなった。運転手の男性(47)＝大分市、同乗の男性(21)＝同＝にけがはなかった。午後8時半に復旧した。

玖珠署や大分河川国道事務所によると、現場は片側1車線の緩やかな坂。トンネルから由布市側に約700メートルの地点。

トレーラーは由布市方面へ坂を上っていた。路面の雪で立ち往生し、チェーンを巻いて再出発しようとした際、荷台ブレーキの操作ミスで後退。作業車が転落した。

この影響で、上下線合わせて最大約4キロの渋滞が起きた。



出典：大分合同新聞(H29/2/11)

- 国道3号福岡県岡垣町では車両スタックが発生し、国道3号佐賀県基山町等で交通渋滞が発生
- 事前に不要不急の外出を控えてもらうため、4者(九州地方整備局、九州運輸局、福岡管区气象台、NEXCO西日本九州支社)やNEXCO西日本九州支社との合同記者発表を実施



令和5年1月23日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区气象台
NEXCO西日本九州支社

大雪に関する緊急発表

～不要不急の外出は控えください～

- 九州では1月24日から25日にかけて、この冬一番の寒気が流れ込み、山地平地ともに警報級の大雪となるおそれがあります。【別紙-1】
- 九州の広い範囲において、高速道路や主要幹線道路の通行止めが発生する場合があります。積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道が同時に通行止めとなる場合があります。
- 道路利用者の皆様へお願いします。
 - ・不要不急の外出は避けてください。
 - ・お出かけの予定の変更や運送日の調整等をお願いします。
 - ・昨年12月のクリスマス寒波では、冬用タイヤ未装着による大きな走行速度低下がありました。大雪の場合に、やむを得ず車でお出かけされる場合は、冬用タイヤやチェーンを必ず装着してください。

4者合同で
合同記者発表を実施

【道路利用者への呼びかけ】

- 九州では、1月24日から25日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み、山地平地ともに警報級の大雪となるおそれがあります。平地で10cm以上の積雪となり、立ち往生等が発生する危険性の高い大雪が見込まれているため、十分に警戒してください。
- 路面の凍結、集塵の孤立、着雪による停電や倒木等による注意が必要です。
- 九州においても、平成28年1月23日からの大雪により、福岡県、佐賀県の国道3号や国道4号等において、大規模な渋滞が発生しました。
- ドライバーの方には、不要不急の外出は避けてください。やむを得ず運転する場合は、冬用タイヤやチェーンの装着してください。冬用タイヤでも走行できない恐れがありますので、タイヤチェーンを必ず装着・装着してください。
- お出かけ前には最新の気象情報及び道路交通情報を確認してください。

【1. 今後の気象の見通し】

大雪の予報

1月24日から25日にかけて、九州北部地方の上空およそ1900メートルから低気圧下1500メートル以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込み見込みです。このため、九州では24日夕方から25日にかけて、山地平地ともに警報級の大雪となるおそれがあります。

大雪の早期計量情報(警報級の運動性)

日	23日	24日	25日
九州北部地方※	12-18	15-05	05-24
九州南部	-	-	高

24日6時～25日6時

九州北部地方※	平地:10～20、山地:20～40
九州南部	平地:5～10、山地:10～20

※九州北部地方は山口県を除く

◆気象庁HP「今後の雪」
https://www.jma.go.jp/boai/snow/
◆最新の気象情報をご利用ください。

【2. 過去の大雪による道路交通障害】

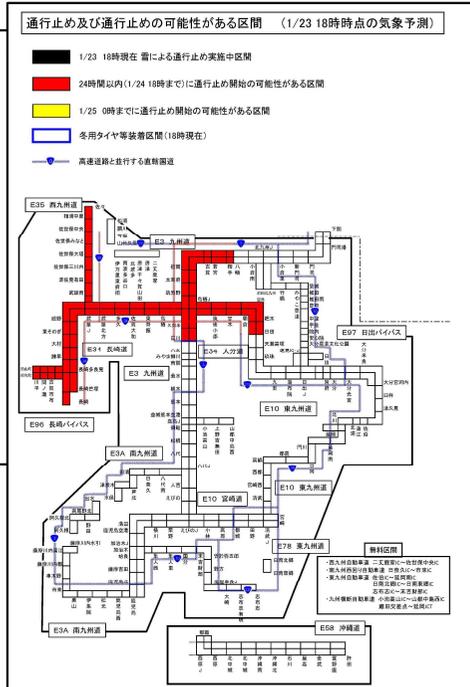
平成28年1月23日から1月25日にかけての大雪

○九州全域で高速道路や主要幹線道路において、通行止めや交通渋滞等の交通障害が発生。

○九州縦貫自動車道が長時間の通行止めとなり、周辺の国道3号や国道34号等において、大規模な渋滞が発生。

【参考】
国道3号(大牟田IC～広川IC間、延長約30km)の閉塞時間
通常時:約1時間
大雪時:約1時間
※大雪時:平成28年1月の大雪時

▲国道3号の渋滞状況(福岡県筑紫野市上空)



九州地方整備局
NEXCO西日本
連名で高速道路通行止め
予測の発表

1. 気象：近年の降雪量
2. 道路管理：主な車両の滞留事例
- 3. 降雪時における国道の管理**
4. 令和4年度最強寒波への対応

大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ 概要 (令和3年3月改定)

I 冬期の道路交通を取り巻く環境

- 近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、短期間の集中的な大雪*が局所的に発生
※:大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪
- 道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっている一方、幹線道路上の大規模な車両の滞留は、社会経済活動のみならず、人命にも影響を及ぼすおそれ
- 短期間の集中的な大雪時に、通常時と比べて自動車の利用台数に変化が見られたケースも存在
⇒ 冬期の道路交通を取り巻く環境にも変化の兆し(鉄道の計画運休の社会への浸透も参考に、道路の通行止めに対しても理解を促進)

II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

- 短期間の集中的な大雪時に大規模な車両の滞留が繰り返し発生、解消までに数日間を要するケースもある
- 高速道路と、並行する国道等を交互に通行止めし、交通を確保する観点から通行止めを躊躇した結果、大規模な車両滞留につながったケースもある

2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど道路利用者に注意喚起を実施
- 関係機関の連携強化を図るため、地域単位で「情報連絡本部」を設置
- 予防的通行規制区間の設定、除雪体制の応援等を実施
- 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能

⇒ これらの取り組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している

III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

これまでの考え方

短期間の集中的な大雪時は、「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めしないこと」や道路ネットワーク全体として大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響を最小化」を目標として対応

今後の考え方

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応

IV 大雪時の道路交通確保に向けた取り組みの強化

1. 道路管理者等の取り組み

(1) ソフト的対応

- タイムライン(段階的な行動計画)の作成
 - ・関係機関と連携し躊躇なく通行止めを実施
 - ・合同訓練実施 ・気象予測精度向上
- 除雪体制の強化
 - ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築
- 除雪作業を担う地域建設業の確保
 - ・契約方法の改善 ・予定価格の適正な設定等
- 除雪作業への協力体制の構築
 - ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等
- チェーン等の装着の徹底
 - ・短期間の集中的な大雪の場合は、チェーン規制によらず躊躇なく通行止めを実施
- 短期間の集中的な大雪時の行動変容
 - ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
 - ・通行止め予測等の繰り返しの呼びかけ、対象の拡大、内容の具体化
- 短期間の集中的な大雪時の計画的・予防的な通行規制・集中除雪の実施
 - ・広範囲での通行止め、高速道路と並行する国道等の同時通行止めと集中除雪による物流等の途絶の回避
 - ・躊躇ない通行止めの実効性を高めるためのメルクマール・トリガーをタイムラインに位置づけ
 - ・リスク箇所の事前把握と監視強化
- 立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応
 - ・滞留状況を正確に把握するための体制確保
 - ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供
 - ・地方整備局と地方運輸局等を中心とした乗員保護

(2) ハード的対応

- 基幹的な道路ネットワークの強化
 - ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、大雪の観点からもネットワークを強化
- スポット対策、車両待機スペースの確保
 - ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備
 - ・中央分離帯開口部やUターン路の整備 等

(3) 地域特性を考慮した対応

- ・関係機関が連携する取り組みの具体化については他の地域においても参考にすべき

2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み

- 短期間の集中的な大雪時の行動変容(利用抑制・迂回)
 - ・通行止めの必要性やジャスト・イン・タイムの限界への理解の促進
- 冬道を走行する際の準備
 - ・チェーン等の装備の備え

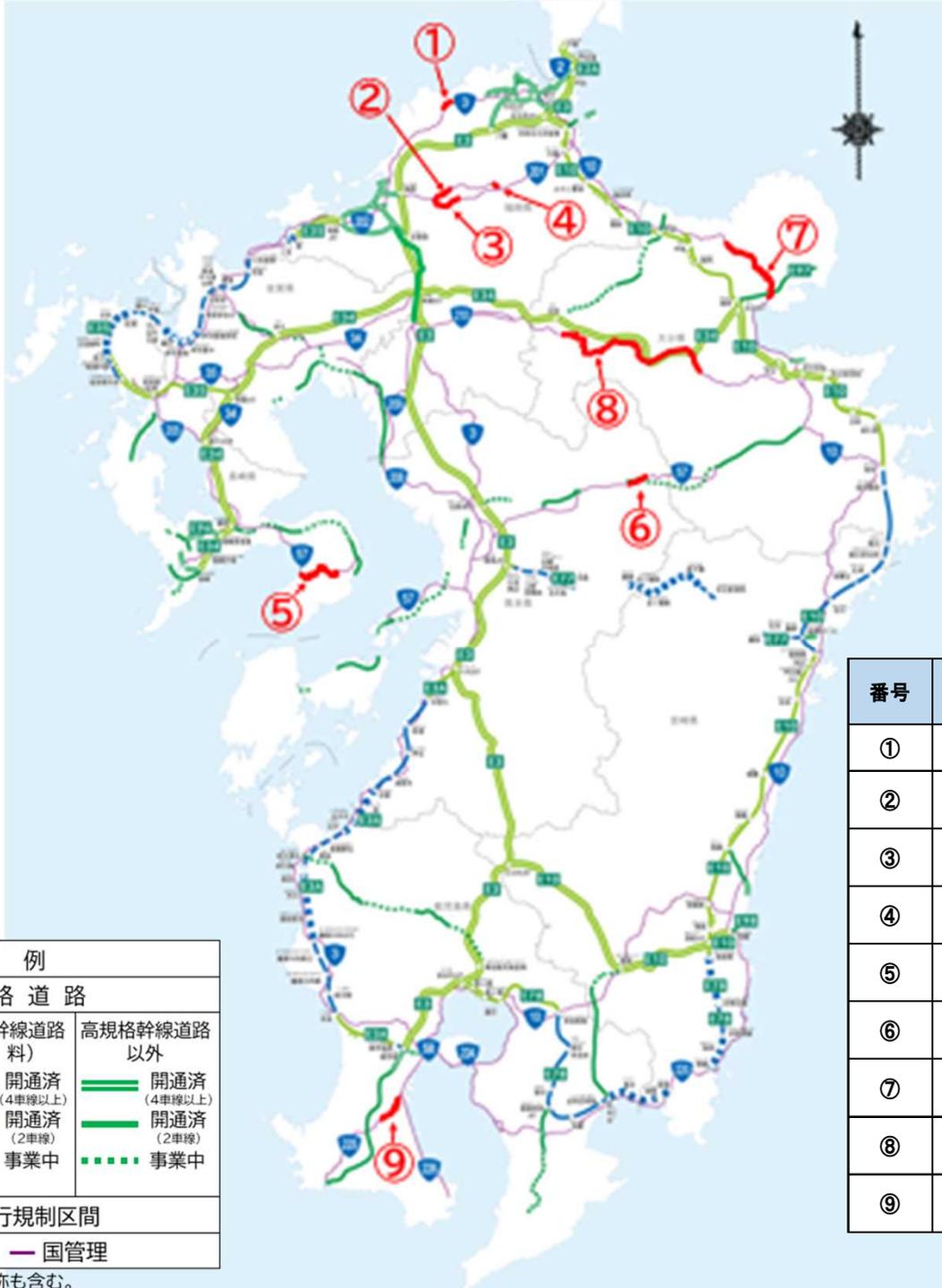
3. より効率的・効果的な対策に向けて

- 関係機関の連携の強化
- 情報収集・提供の工夫
- 新技術の積極的な活用

近年、山間部のみならず平地部でも短期間で積雪し、高速道路や直轄国道をはじめ幹線道路において通行止めや立ち往生車両が発生し、道路交通に影響を及ぼしていることから以下の項目などを実施。

1. **予防的通行規制区間**の設定
(福岡県国道201号や大分県国道210号など九州9区間)
2. 除排雪用の**資機材の適切な配備**及び**協定**等による調達
3. 立ち往生車両の発生を抑制するための**早めの通行止め**の実施
4. 並行する高速自動車国道等との**通行止めタイミング**等の調整
5. 除雪機械等の**広域連携**の強化
6. **冬タイヤ、チェーン**等の装備の準備呼びかけ
7. HP等による通行止め状況の提供などの**情報提供**の充実

予防的通行規制区間



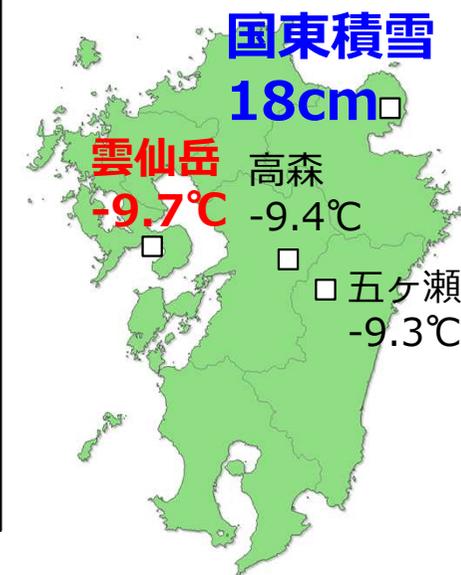
凡 例		
高規格道路		
高規格幹線道路 (無 料)	高規格幹線道路 (有 料)	高規格幹線道路 以外
 開通済 (4車線以上)  開通済 (2車線)  事業中	 開通済 (4車線以上)  開通済 (2車線)  事業中	 開通済 (4車線以上)  開通済 (2車線)  事業中
 予防的通行規制区間  IC・JCT  国管理		

番号	事務所名	県	路線	延長 (km)	備考
①	北九州国道	福岡県	国道3号	5.5	岡垣バイパス
②	福岡国道 北九州国道	福岡県	国道201号	9.3	八木山峠(現道)
③	福岡国道・ 北九州国道	福岡県	国道201号	13.3	八木山バイパス
④	北九州国道	福岡県	国道201号	2.8	烏尾峠
⑤	長崎河川国道	長崎県	国道57号	23.7	雲仙
⑥	熊本河川国道	熊本県	国道57号	7.3	波野、滝室
⑦	大分河川国道	大分県	国道10号	24.4	立石峠、赤松峠
⑧	大分河川国道	大分県	国道210号	51.2	日田～水分峠
⑨	鹿児島国道	鹿児島県	国道225号	12.4	川辺峠

※IC名称については、仮称も含む。

1. 気象：近年の降雪量
2. 道路管理：主な車両の滞留事例
3. 降雪時における国道の管理
4. 令和4年度最強寒波への対応

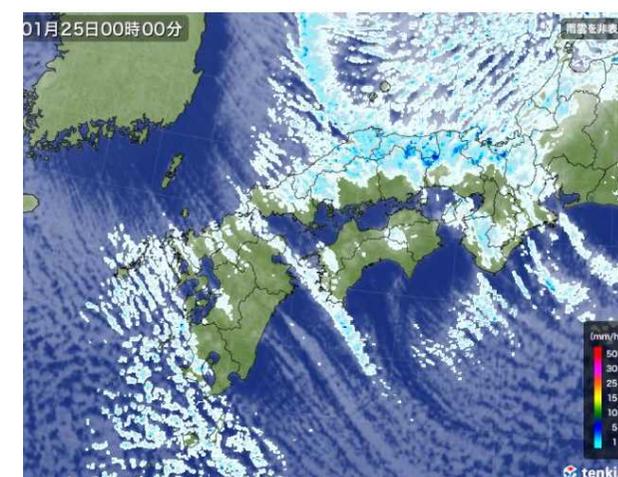
- 九州4県で大雪警報、6県で暴風雪警報発令
- 最大積雪量18cm@国東市
暴風雪25.2m/s@大村市（1月の観測史上最大の瞬間風速）
- 最低気温が-9.7℃@雲仙市を記録するなど鹿児島県の離島を除く観測箇所全97地点で氷点下



1月24日 (火)
00時



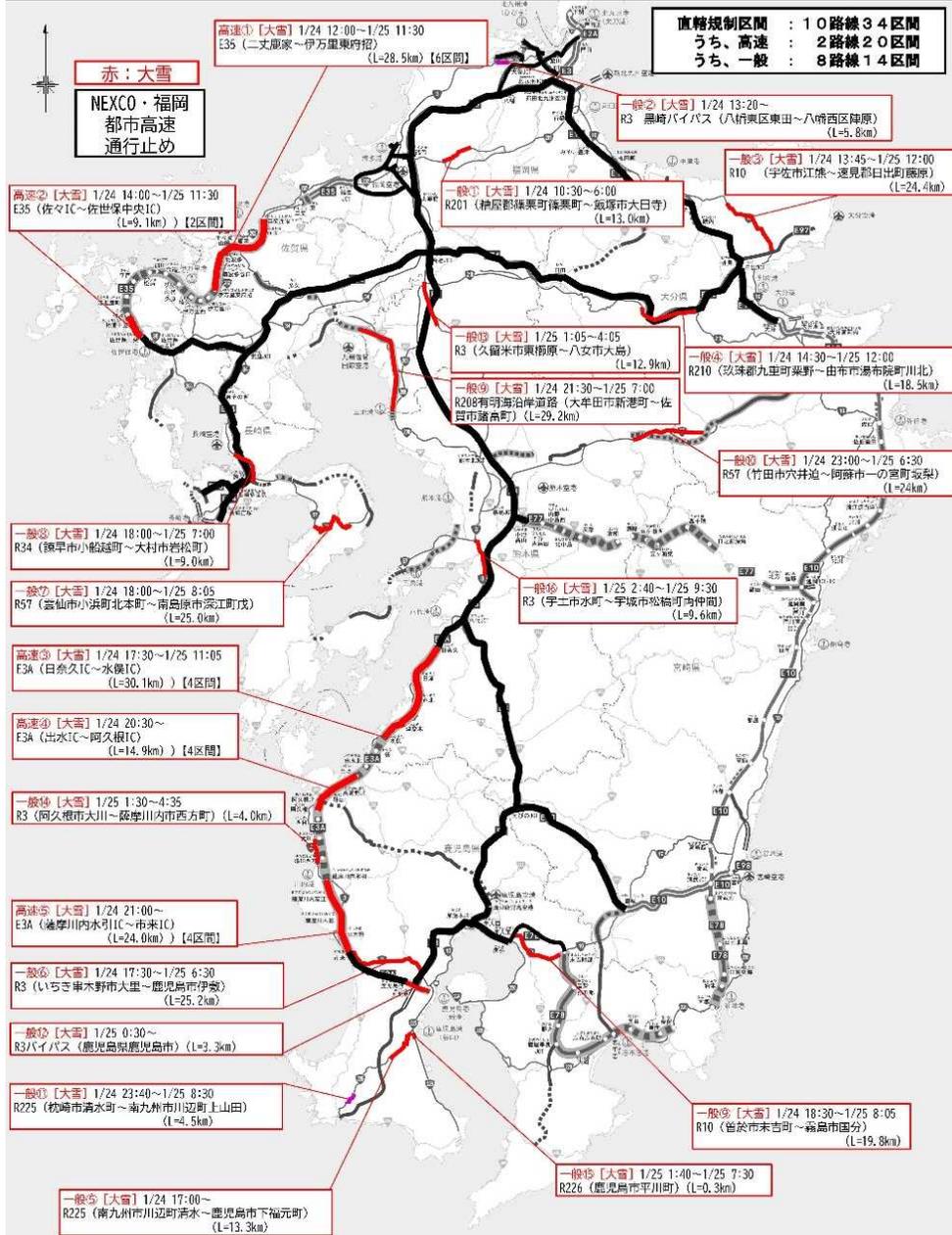
1月24日 (火)
13時



1月25日 (水)
00時

(出展) 日本気象協会HPより

高速道路 黒色の区間を通行止め / 直轄国道 赤色の区間(10路線34区間)を通行止め



R201 福岡県みやこ町 24日(火) 16時



R3 福岡県久留米市 25日(水) 3時

スタック車の様子



R10 立石峠 (大分県杵築市)

通行止めの様子



R10 日出IC (大分県)

チェーンを装着している方々の様子

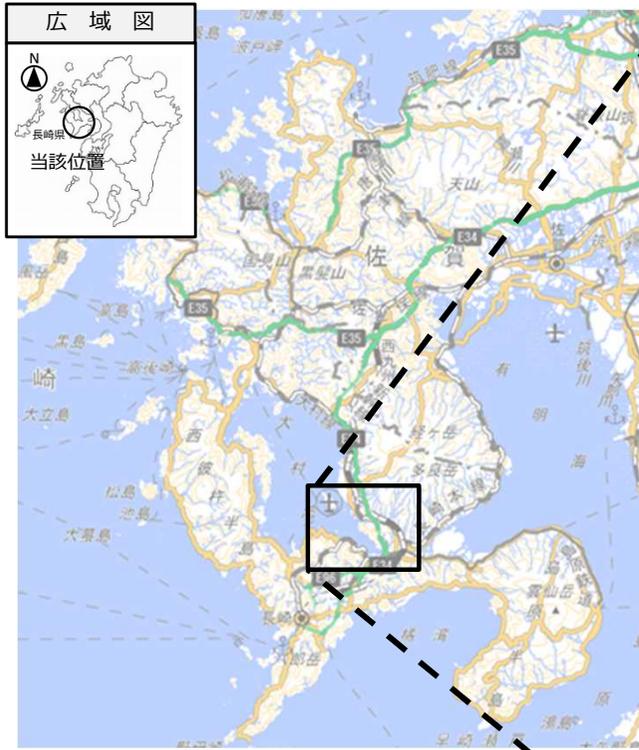


R201 八木山バイパス (福岡県飯塚市)

通行止めする直前の様子



R34諫早北バイパス (長崎県諫早市)



経緯

- 令和5年1月24日(火)
 - 18:00 集中除雪を実施するため、国道34号(延長9.0km)を全面通行止め開始
- 令和5年1月25日(水)
 - 3:25 災害対策基本法適用
立て看板の設置等に着手
 - 4:10 放置車両の移動作業開始
 - 6:40 放置車両の移動完了
 - 7:00 全面通行止め解除
(災害対策基本法区間指定廃止)

【災対法区間指定】(R5.1.25 3:25指定) 国道34号 L=9.0km

起点 長崎県大村市若松町

終点 長崎県諫早市小船越町

1/24 18:00 全面通行止め開始 L=9.0km

1/25 7:00 全面通行止め解除 L=9.0km

立ち往生車両発生箇所①

移動前

移動完了

立ち往生車両発生① (放置車両2台)

写真A

立ち往生車両発生② (放置車両3台)

移動完了

写真B

災害発生
災害対策基本法に基づく緊急通行車両の通行のための作業実施中
国道34号
大村市～諫早市
通行止め
ご協力をお願いします
国土交通省 九州地方整備局
長崎河川国道事務所
大村維持出張所
お問合せ先 0957-55-7191

立て看板設置状況



- 情報連絡本部会議（太宰府～久留米間のほか、各県・各事務所単位）で随時開催。
- 太宰府市～鳥栖市～久留米市にかけて縦断する九州自動車道、国道3号、県道久留米基山筑紫野線等に関する機関が一同に会して随時情報共有を図り、大雪時の道路交通障害の低減を図る。

1/24 大雪時の幹線道路（太宰府～久留米間）交通確保に関する情報連絡本部会議

【情報共有・調整事項】

- 今後の気象情報の共有
- 各道路管理者の除雪状況の共有
- 通行規制に関する情報の共有
- 計画運休等の交通機関に関する情報の共有
- 上記に係る関係者間の調整

【参加機関】

- 国土交通省九州地方整備局
- 福岡国道事務所、佐賀国道事務所
- 九州運輸局
- 福岡県道路維持課
- 佐賀県道路課
- 西日本高速道路（株）
- 九州バス協会

【ふりかえり】

- 会議を早めに開催し、除雪状況・通行止めに関する情報を迅速に共有できた。
- 今回は通行止め予測に基づいて各機関と情報共有することができた。
- 直前のスケジュール調整となったが、回数を重ねることで円滑に開催できた。



- 整備局、運輸局、気象台、NEXCOと4者共同で、1/20に注意喚起、1/23に緊急発表を実施。
- 1/23に気象台と整備局で合同会見を行い、**不用不急の外出の抑制を呼びかけ**。
- 整備局とNEXCOで高速道路と並行する国道の**同時通行止めのおそれに関する共同発表**を実施。

令和5年1月20日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区気象台
NEXCO西日本九州支社

大雪による積雪・路面凍結に注意
～ 冬用タイヤやチェーンの早期装着を ～

○九州では、1月24日から25日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み大雪となるおそれがあります。【別紙-1】

○道路利用者の皆様へお願いします。

- ・雪による見通しの悪化、積雪・路面の凍結が発生するおそれがありますので不要不急の外出はできるだけ控えていただくようお願いいたします。
- ・普段雪が降らない地域においても、突然の大雪となる場合がありますので、立ち往生等に警戒が必要です。
- ・ノーマルタイヤの車両は立ち往生し深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こすおそれがありますので、やむを得ず車でお出かけされる場合は、**冬用タイヤやチェーンを必ず装着**してください。

令和5年1月23日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区気象台
NEXCO西日本九州支社

大雪に関する緊急発表
～ 不用不急の外出は控えください～

○九州では1月24日から25日にかけて、この冬一番の寒気が流れ込み、山地平地ともに**警報級の大雪**となるおそれがあります。【別紙-1】

○九州の広い範囲において、**高速道路や主要幹線道路の通行止め**が発生する場合があります。積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道が**同時に通行止め**となる場合があります。

○道路利用者の皆様へお願いします。

- ・**不用不急の外出は避けてください。**
- ・お出かけの変更や運送日の調整等をお願いします。
- ・昨年12月のクリスマス寒波では、冬用タイヤ未装着による大きな走行速度低下がありました。大雪の場合に、やむを得ず車でお出かけされる場合は、**冬用タイヤやチェーンを必ず装着**してください。
- ・最新の気象情報及び道路交通情報をご確認ください。【別紙-2】
- ・今回は、**立ち往生等が発生するよう大雪**が見込まれているため、十分に警戒してください。

4者共同発表



速報 記録的寒波に警戒を
気象台と整備局が記者会見

道路利用者の皆様へお願い（まとめ）

○今回の大雪では、安全な通行を確保するため、国道の通行止めを行い除雪作業を実施する場合があります。

○積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道が、同時に通行止めとなる場合があります。

■立ち往生等が発生する危険性の高い大雪が見込まれているため、予定を変更するなど**不用不急の外出は避けてください。**

■ノーマルタイヤの車両は、立ち往生し、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こすおそれがあります。**やむを得ず車でお出かけされる場合は、冬用タイヤやチェーンを必ず装着**してください。

中継

気象台・整備局の合同会見で道路利用者へ呼びかけ (NHKでライブ放送)

高速道路と高速道路に並行する直轄国道の両路線の大雪に伴う通行止めのおそれについて（第1報）

2023年1月24日 13時30分現在
国土交通省九州地方整備局
西日本高速道路株式会社九州支社

大雪に伴い、九州管内の高速道路と、それに並行する直轄国道の両路線が通行止めとなるおそれがあります。
道路利用者の皆様におかれましては、不要不急の外出をお控えいただくとともに、運行計画変更等の検討をお願いします。

○九州では、北部を中心に広い範囲で大雪となっており、高速道路においては通行止めを行っています。

○この影響により、NEXCO西日本が管理する下表の高速道路では、予防的通行止めを行います。

○また、九州地方整備局が管理する高速道路と並行する直轄国道においても、降雪の状況により通行止めを実施するおそれがあります。

予防的通行止めを実施する高速道路				通行止め実施のおそれのある並行する直轄国道	
路線名	区間	方向	開始予定時刻		
E3 九州自動車道	福岡IC ～広川IC	上下線	1月24日 14時	国道3号	(福岡県福岡市 福岡心臓中央入口交差点 ～福岡県血町 工業団地入口交差点)
E34 長崎自動車道	鳥栖JCT ～長崎IC	上下線	1月24日 14時	国道34号	(佐賀県鳥栖市 永吉交差点 ～長崎県長崎市 江戸町交差点)
E35 西九州自動車道	佐々IC ～筑前JCT	上下線	1月24日 14時	国道35号	(長崎県佐世保市 松浦町交差点 ～佐賀県筑前市 下西山交差点)
E34 大分自動車道	鳥栖JCT ～日田IC	上下線	1月24日 14時	国道210号	(福岡県久留米市東瀬原交差点 ～大分県日田市高井交差点)

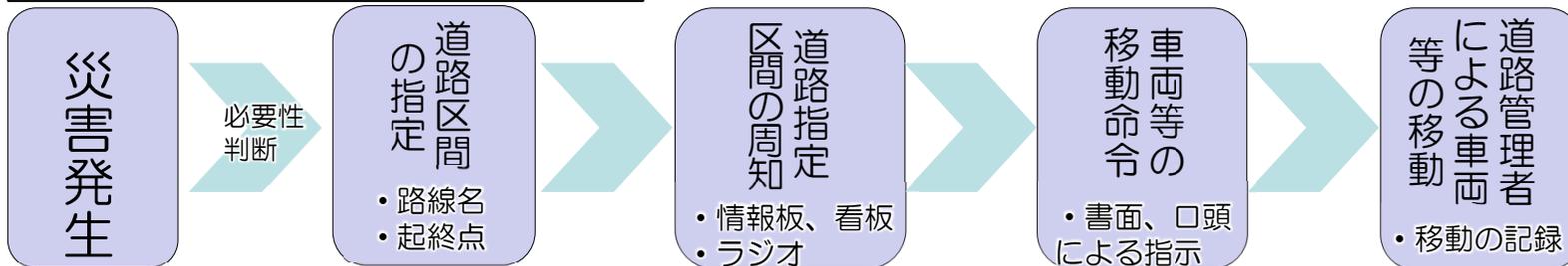
※開始予定時刻は見込みです。開始予定時刻が変更になる場合は、改めてお知らせ致します。
※交差点は行交です。通行止め実施の際は、HP等にて現状をお知らせ致します。
※上表の区間は、別添をご参照ください。

高速道路と並行国道の同時通行止めに関する共同発表 (整備局・NEXCO九州支社)



- 国道207号において、1/24からの大雪に伴い約200台の立ち往生車両が発生。
- 1/25 9:45 長崎県において、災害対策基本法に基づき区間指定。路面へ融雪剤を散布するなど道路啓開作業を開始。(滞留車両67台 うち放置車両39台 11時時点)
- 10:15 県から国へ放置車両の移動等への協力要請。11:00 TEC-FORCE出動。
- 13:00 国と地元建設業者が県と協同し、放置車両の移動を支援。
- 16:05 放置車両の移動完了。除雪等を行い17:15 交通開放。

災対法に基づく車両等移動の主な流れ



現地作業状況



- ・災害対策基本法に基づく指定区間の表示
- ・車両への移動命令
- ・放置車両の状況保存



- ・国、県、地元建設業者協同で放置車両11台を移動



大規模災害時において直ちに道路啓開を進め、緊急車両の通行ルートを迅速に確保するため、道路管理者による放置車両対策の強化に係る所要の措置を講ずる。

改正の背景

- ・首都直下地震など大規模地震や大雪等の災害時には、被災地や被災地に向かう道路上に大量の放置車両や立ち往生車両が発生し、消防や救助活動、緊急物資輸送などの災害応急対策、除雪作業に支障が生ずるおそれ。
- ・一方、道路法に基づく放置車両対策は、非常時の対応としては制約があるため、緊急時の災害応急措置として、災害対策基本法に明確に位置づける必要。



法律の概要

1 緊急車両の通行ルート確保のための放置車両対策（災害応急措置として創設）

緊急車両の通行を確保する緊急の必要がある場合、道路管理者は、区間を指定して以下を実施。

- ・緊急車両の妨げとなる車両の運転者等に対して移動を命令
- ・運転者の不在時等は、道路管理者自ら車両を移動
(その際、やむを得ない限度での破損を容認し、併せて損失補償規定を整備) ※ ホイールローダー等による車両移動

2 土地の一時使用等

1の措置のためやむを得ない必要がある時、道路管理者は、他人の土地の一時使用、竹木その他の障害物の処分が可能。

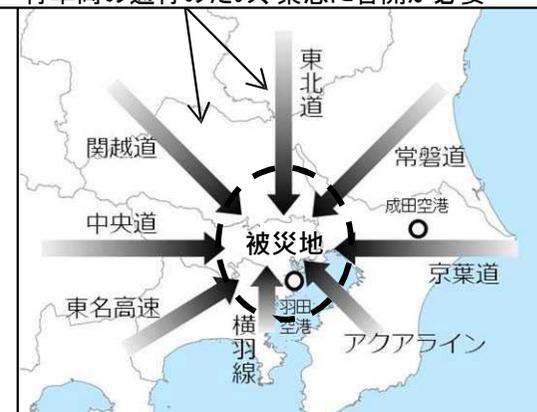
※ 沿道での車両保管場所確保等

3 関係機関、道路管理者間の連携・調整

- ・都道府県公安委員会は、道路管理者に対し、1の措置の要請が可能
- ・国土交通大臣は、地方公共団体に対し、1の措置について指示が可能
(都道府県知事は、市町村に対し指示が可能)

※ 高速道路については、高速道路機構及び高速道路会社が連携して対応

被災地へアクセスする道路についても、緊急通行車両の通行のため、緊急に啓開が必要



(首都直下地震における八方向作戦の例)



車両移動のための具体的方策
(例:ホイールローダーによる移動)

積雪路・凍結路を走るなら

ノーマルタイヤ **NO**



冬場になると、道路の積雪や凍結により、ノーマルタイヤを装着した車両が立ち往生して、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしています。



積雪・凍結道路ですべり止めの措置をとらない運転は

法令違反 反則金 普通車 **6千円** となります。

都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いわゆる防滑措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く) 違反行為は、反則金の適用となります。(大型車：7千円、普通車：6千円、二輪車：6千円、原付車：5千円)

※タイヤチェーン未装着車の通行を禁止する規制時は、冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

後援：国土交通省九州運輸局／国土交通省九州地方整備局／NEXCO西日本九州支社／JAF

冬の安全ドライブ事前注意報

突然の積雪や路面凍結時には事故・トラブルが発生しています

冬の安全ドライブには事前の備えが重要です

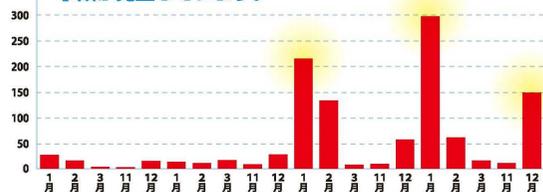
非降雪地域でも 冬用タイヤの装着をお奨めします

降雪地域では 早めの冬用タイヤ装着が大切です

積雪・凍結路面時の事故発生件数

<東京、愛知、大阪、広島、福岡 合計>

降雪地域以外においても、突然の降雪・凍結による事故が発生しています。



公益財団法人交通事故総合分析センター(都道府県別・発生月別・路面状態別)全事故件数より

JAFロードサービス救援要請件数

<中部エリア降雪時>

降雪時、JAFのロードサービスの救援要請は、急増しています。

	中部エリア計	前週比
降雪前週3日間	4,971	
降雪3日間	7,312	147%

データ提供元：JAF中部本部
降雪前週 3日間：2021年12月20日～22日
降雪 3日間：2021年12月27日～29日

積雪、凍結路で冬用タイヤを装着していないと...

制動距離が違う

夏用タイヤのままでは、制動距離が長くなります。

●スタッドレスタイヤと夏用タイヤの制動距離指数

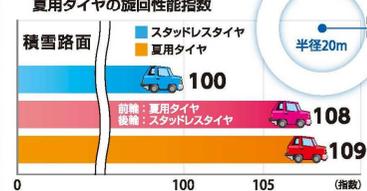


スタッドレスタイヤでの制動距離を100として指数表示し、指数が大きい方が制動距離が長いことを示す。

旋回性能が違う

駆動輪のみ冬用タイヤを装着しても夏用タイヤ(全車輪)並みの性能で、挙動が安定しません。

●スタッドレスタイヤと夏用タイヤの旋回性能指数



スタッドレスタイヤでのラップタイムを100として指数表示し、指数が大きい方がラップタイムが速くなり、旋回性能が劣ることを示す。

【試験条件】
●タイヤサイズ：195/65R15
●空気圧：220kPa
●車種：乗用車(後輪駆動、2000cc)
●初速度：40km/h
●実施場所：タイヤメーカーテストコース
●ABS有り

冬用タイヤを**全車輪**に装着してください!

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

後援：国土交通省九州運輸局／国土交通省九州地方整備局／NEXCO西日本九州支社／JAF

西日本高速道路における 雪氷対策の取り組み

令和5年12月18日

西日本高速道路株式会社 九州支社



1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R4年度）
4. 高速道路の雪氷対策の取組み
5. 高速道路の冬期情報提供
6. 運輸事業者さまへのお願い

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要

2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針

3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R4年度）

4. 高速道路の雪氷対策の取組み

5. 高速道路の冬期情報提供

6. 運輸事業者さまへのお願い

九州支社 雪氷対策期間 <令和5年11月20日～令和6年3月31日（133日間）>



■ 上記の期間において、気象状況等に応じて冬期対策作業を行います。

➢ 対象事務所：8事務所【沖縄（高）を除く】

➢ 対象延長：約1026km【沖縄道69.3kmを除く】

■ NEXCO西日本全体に占める九州支社の割合

	NEXCO西日本全体	うち九州支社	九州支社の割合	備考
供用中延長	3,603km	1,095km	30%	
事業中延長	55km (166km)	0km (59km)	0% (36%)	新設事業の延長 ※1 ※3 (4車線化・6車線化事業の延長)
SA・PA数	313か所	95か所	30%	※2

※1 付加車線事業(修繕事業)の延長は含まない

※2 SA・PAの施設数は上下線別カウント。下関売店(関門トンネル人道口の自動販売機コーナー)は上表に含まない

※3 移管区間の延長は含まない

■ SA・PA事業

	施設数	営業施設有無		備考
		営業施設あり	営業施設なし	
サービスエリア(SA)	28か所	28か所	0か所	うち20か所に給油所あり
パーキングエリア(PA)	67か所	33か所	34か所	うち4か所に給油所あり
合計	95か所	61か所	34か所	

※ SA・PAの施設数は上下線別カウント

※ 下関売店(関門トンネル人道口の自動販売機コーナー)は上表に含まない

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
- 2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針**
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R4年度）
4. 高速道路の雪氷対策の取組み
5. 高速道路の冬期情報提供
6. 運輸事業者さまへのお願い

冬期道路交通確保の基本方針

▶ **人命を最優先**に、幹線道路上で**大規模な車両滞留を徹底的に回避する**

- 行動変容（利用抑制・迂回等）を促す**積極的広報の実施**
- 異常な降雪状況や路面状況を確認した場合の、**タイミングを逃さない予防的通行止めの実施**
- 立往生車両が発生した場合の迅速な対応
 - ・現地状況を**正確に把握するための体制確保**
 - ・滞留車両発生又は予見される場合の**躊躇ない通行止めの実施**
- 通行止め後における短期間の**集中除雪による早期解除への取り組み**
- 同時通行止めが見込まれる場合における**広域的迂回等の呼びかけの徹底**
- 物資・機械・人員配置等**事前準備の徹底及びハード・ソフト対策の強化**
- 各道路管理者を含めた**関係機関との情報共有・相互支援体制の構築**

大雪時のタイムライン（段階的な行動計画）に基づくオペレーション

▶大雪が予想される際には、大雪時のタイムライン（段階的な行動計画）に基づき、各種取り組みを実施

段階	国・自治体・警察 ・気象台など	NEXCO 東日本・中日本・西日本	高速道路利用者への呼びかけ					
			記者発表	HP	X (旧Twitter)	高速道路 影響情報 サイト	テレビCM ラジオCM	道路情報板
1週間前	気象情報の共有など	通常の雪氷体制			冬装備 安全運転		冬装備 安全運転	冬装備 安全運転
3日前	情報連絡本部での連携	体制強化 ・応援派遣 ・協力要請 (災害協定事業者など)	大雪が予想される地域と時期 注意喚起・出控え・予想される通行止め区間			出控え (切替)		注意喚起
1日前	大雪に関する緊急発表		通行止め可能性区間と時間帯 ※概ね6時間毎に見直し					
降雪中	・情報の一元的収集・共有 ・関係機関での各種調整・協議 ・道路利用者や地域住民への 情報提供	立ち往生車・滞留発生前に 予防的通行止め 集中除雪	【通行止めの場合】 ・通行止め区間 ・作業状況・解除見込など					冬タイヤ装着 /チェーン携行 規制情報 (通行止め等)

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
- 3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R4年度）**
4. 高速道路の雪氷対策の取組み
5. 高速道路の冬期情報提供
6. 運輸事業者さまへのお願い

九州支社管内における雪通行止め実績 (R4年度)

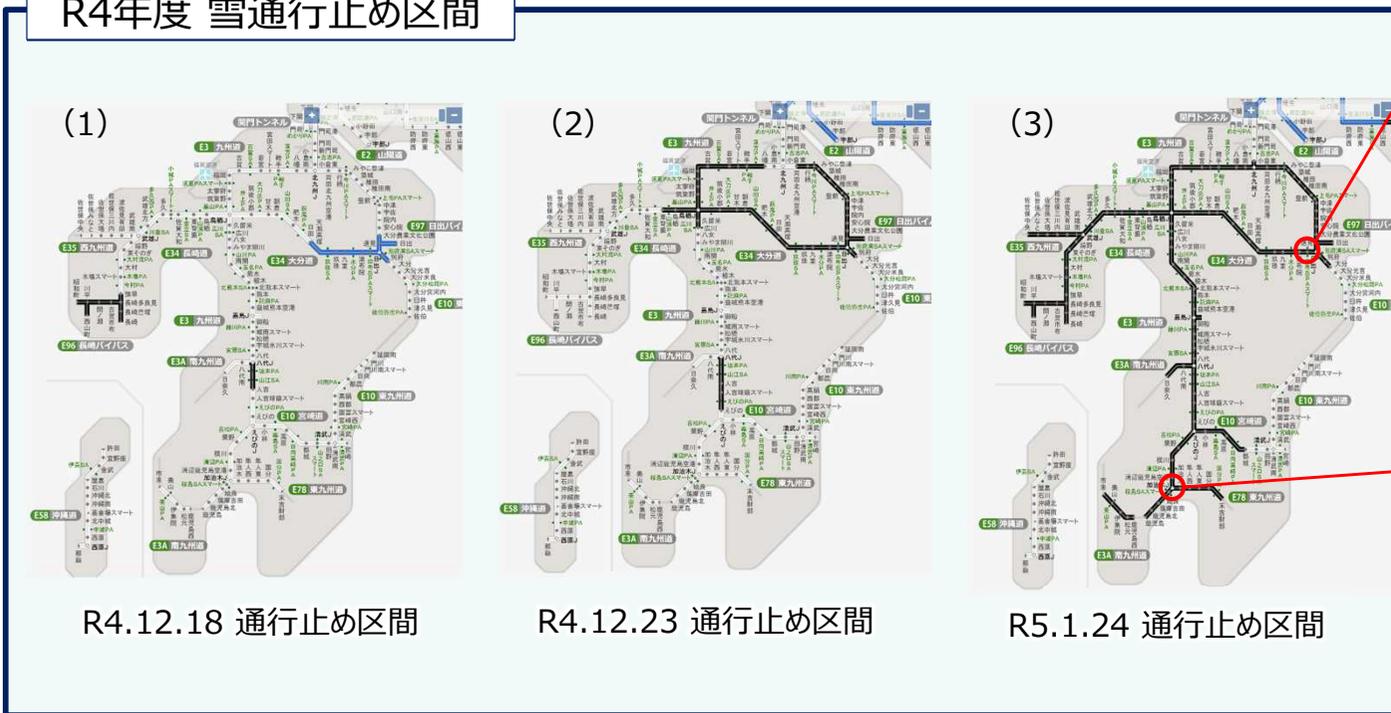
○雪通行止めの実績【3回】

(通行止め区間は下図のとおり)

期 間	通行止め		
	延べ時間	延長	管理延長比率
(1) R4.12.18~19	23時間11分	69.3km	約6%
(2) R4.12.23~24	41時間23分	454.8km	約42%
(3) R5.1.24~26 ※	51時間16分	807.6km	約74%

※(3)R5年1月24~26日にかけて実施した通行止めは、事故や路面状況悪化等より、予防的通行止めを実施

R4年度 雪通行止め区間



R5.1.24 積雪状況
(大分道 湯布院IC付近[飛岳])



R5.1.24 路面凍結状況
(九州道 横川IC~溝辺鹿児島空港IC間)

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R4年度）
- 4. 高速道路の雪氷対策の取組み**
5. 高速道路の冬期情報提供
6. 運輸事業者さまへのお願い

代表的な取組み

① 人命を最優先に幹線道路上の大規模な車両滞留を徹底的に回避する

- ⇒ 気象予測及び現地状況等を踏まえた、事故や滞留車が発生する前の“**予防的通行止め**”の実施
(通行止め後は集中除雪を実施し早期に交通を確保)
- ⇒ 上下線同時通行止めによる滞留車両の早期流出

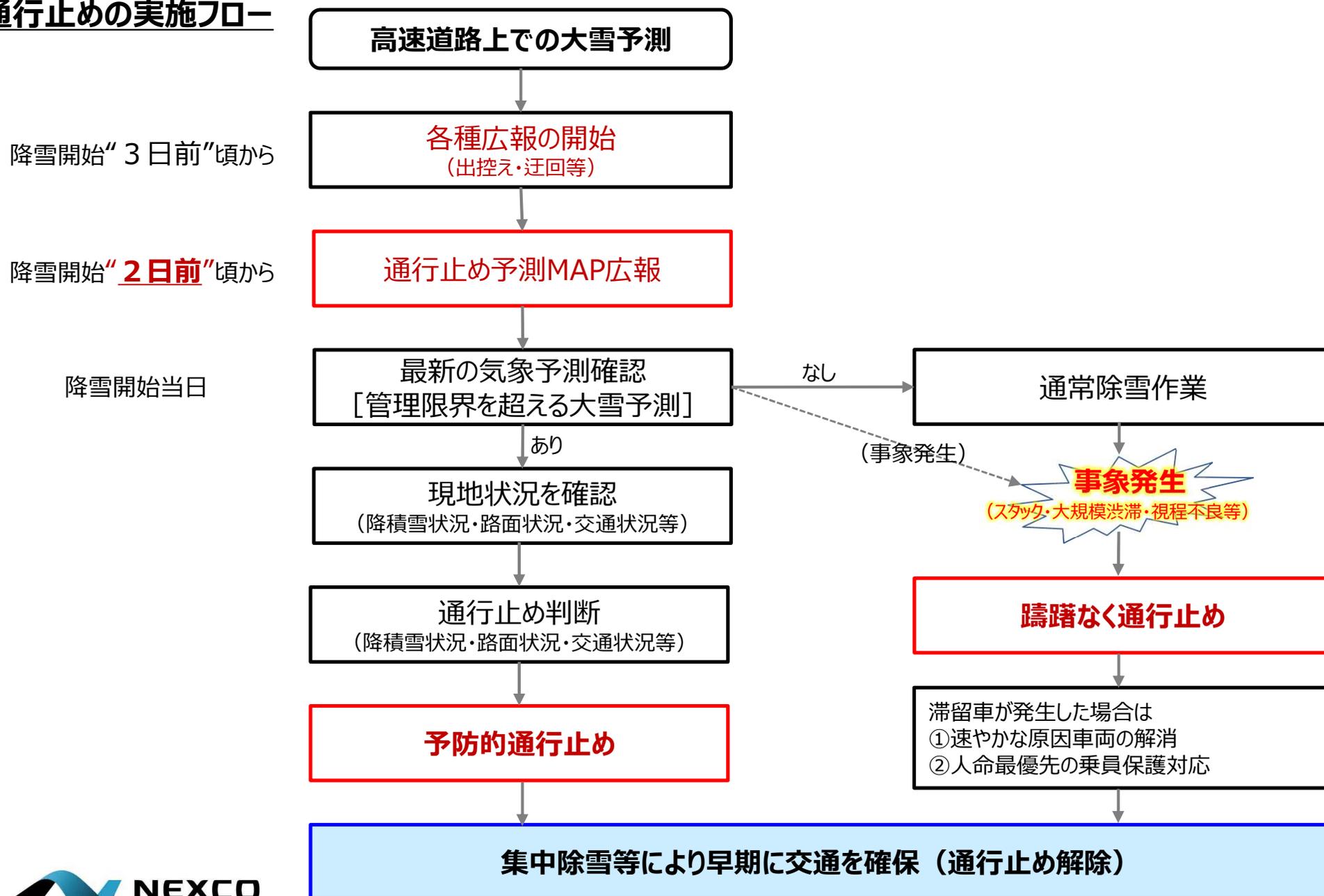
予防的通行止め …… 大雪に関する緊急発表時や高速道路に大雪が予想されている場合において、現地状況などを踏まえ、関係機関と通行止めの範囲・タイミング等について調整を行い、**事故や滞留車が発生する前に通行止めを行うもの**

② 最大限の凍結防止剤の散布や除雪作業等を行い、高速道路の交通確保に努める

- ⇒ 気象予測に基づく体制構築、凍結防止剤散布車両等による最大限の冬期対策作業

■ 予防的通行止めについて

■ 通行止めの実施フロー



■ 主な冬期雪氷作業



凍結防止剤散布作業



除雪作業車による梯団除雪



休憩施設園地部の人力除雪



温塩水散布車による融雪作業



散水車による排雪作業



凍結路面部の人力除雪

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R4年度）
4. 高速道路の雪氷対策の取組み
- 5. 高速道路の冬期情報提供**
6. 運輸事業者さまへのお願い

事前の通行止め予測広報

大雪等による交通影響が予想される場合は、高速道路の利用者に向けて、通行止めの可能性がある区間を概ね2日前から通行止めマップを用いて、会社ホームページやCM（テレビ・ラジオ）、アイハイウェイ等で情報提供するなど、運行計画変更や出控え等を促し、社会的影響の最小化を図る。

公式WEBサイト



クリックすると関連情報を表示

暴風雪と大雪予報による通行止めの可能性について ~不要不急のご利用はお控えください~ 【1月7日 12時00分発表】

1月7日（木）から1月9日（土）頃にかけて、西日本の広い範囲で暴風雪や大雪による通行止めの可能性があります。

本日7日10時時点で、今後24時間以内に通行止めが予測される区間については、別添をご参照ください。

（別添資料）【1月7日 10時00分時点】（西日本管内）

高速道路で、一台でも自力走行不能車両が発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる可能性があります。

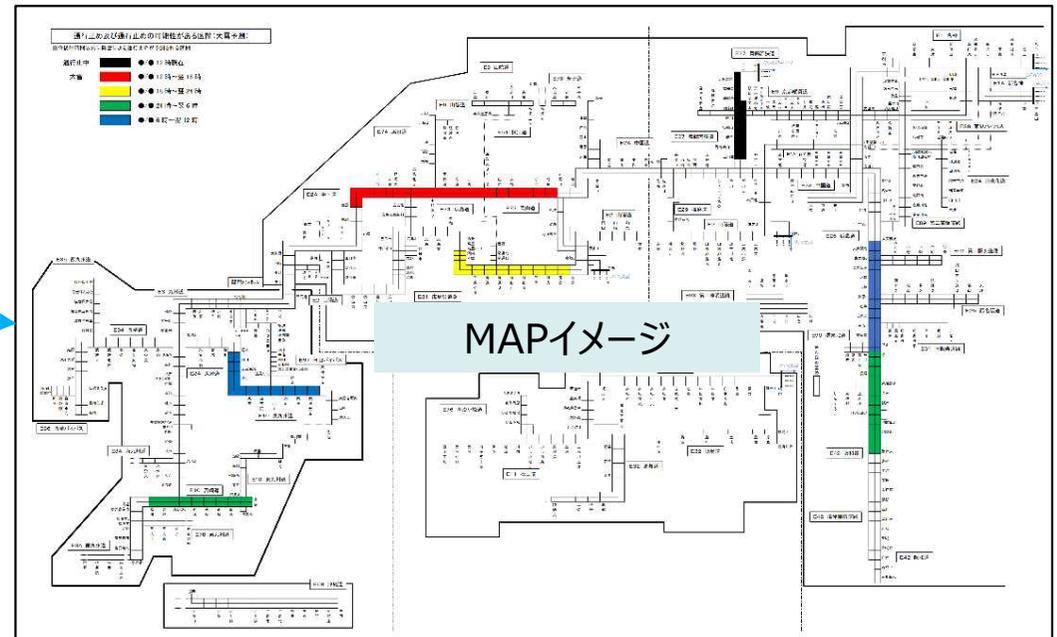
また、降雪状況によっては早めに通行止めを行い除雪作業を行う場合があります。やむを得ず高速道路をご利用になるときは、冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いするとともに、今後の気象予報や最新の交通状況をご確認いただきますようお願いいたします。

【ノーマルタイヤでの雪道走行は、非常に危険です。】

- 最新の交通情報
高速道路をご利用の際は、最新の交通情報をWEBサイト等にてご確認ください。
- 日本道路交通情報センター（JARTIC）
- アイハイウェイ（NEXCO西日本）

大雪に関する緊急発表や高速道路に大雪の予想がでている場合において、概ね2日前から通行止めの可能性がある区間を発信します。

➤ **2日前からMAPが出れば要注意！**



MAPイメージ

雪氷対策に伴う広報の取組み



高速道路影響情報サイト

※高速道路各社のポータルサイト！

重要なお知らせ

E2山陽自動車道 播磨JCT～赤穂IC間下り線(岡山方面)通行止め ～広域う回のご協力をお願いします～

発表されている情報はありません。

NEXCO HPへ移動⇒

発表されている情報はありません。

発表されている情報はありません。

渋滞・規制情報

E2山陽自動車道 播磨JCT～赤穂IC間下り線(岡山方面)通行止め～広域う回のご協力をお願いします～

2023年09月11日20時00分 現在
西日本高速道路株式会社

E2 山陽自動車道 播磨ジャンクション (JCT) ～赤穂インターチェンジ (IC) 間の尼子山トンネル(下り線)内火災の影響により、下り線(岡山方面)の通行止めを実施しております。火災の影響による損傷が基大であり、通行止め解除まで相当な期間を要することが想定されます。引き続き早期通行確保および1日も早い復旧に向けて関係機関等と連携し対応をすすめてまいります。

なお、上り線(大阪方面)の通行止めについては、9月11日(月)20時に解除しました。

iHighway ドラぷら E-NEXCO Drive Plaza

iHighway公式X(旧Twitter)

iHighway

高速道路の大切なお知らせ

【ご確認ください！】現在お使いの一部のETC車載器は、最長で2030年運転中の端末操作は法律で禁止されています。

2022年11月17日 10時15分現在

北海道 (6件) 東北 (17件) 関東 (17件) 東海 (3件) 四国 (3件) 九州沖縄 (3件) 関西 (11件) 北陸信越 (2件) 中国 (2件)

各種サービス

- SAPA 駐車場情報
- 西日本のお得情報
- 工事規制情報
- 高速道路の天気
- SND プロジェ...
- ヘルプ
- アプリについて
- リンク集

Twitter

iHighway 交通情報 (全国)

@iHighwayZenoku

西日本高速道路サービスホールディングスが運用するiHighwayより、交通情報(通行止)をつぶやいています。本アカウントは全国エリアを対象に情報提供を行っています。通行止のつぶやきに関する詳しい情報はiHighwayサイトをご確認ください。※情報発信のみの対応となります。

2011年9月からTwitterを利用しています

0 フォロワー中 75,165 フォロワー

フォローしている人にフォローはいません

ツイート ツイートと返信 メディア いいね

iHighway 交通情報 (全国) · 1時間前

通行止 [11月17日13:25現在] 中央道 I C～恵那 I C (上り東京方面) 事故 通行止です。詳しくはiHighway.jp/r...

「公式」

iHighway 交通情報 (関西) @iHighwayKansai
 > URL : <https://twitter.com/iHighwayKansai>



関西

iHighway 交通情報 (中国) @iHighwayChugoku
 > URL : <https://twitter.com/iHighwayChugoku>



中国

iHighway 交通情報 (四国) @iHighwayShikoku
 > URL : <https://twitter.com/iHighwayShikoku>



四国

iHighway 交通情報 (九州) @iHighwayKyushu
 > URL : <https://twitter.com/iHighwayKyushu>



九州

iHighway

アプリ版

中国エリア

緊急テロップによる情報発信 X (旧Twitter) との連動

現場カメラの道路交通状況等の提供

降雪・積雪時には、冬用タイヤなど、すべり止めが必要です。早めの冬用タイヤへの交換をお願いします。

【関西方面からお戻り予定の方へ重要なお

2023/11/21 18:10

岡山方面

E2 山陽自動車道

E27 舞鶴若狭自動車道

E28 神戸淡路湾横断自動車道

E29 山陽自動車道

E30 山陽自動車道

E31 山陽自動車道

E32 山陽自動車道

E33 山陽自動車道

E34 山陽自動車道

E35 山陽自動車道

E36 山陽自動車道

E37 山陽自動車道

E38 山陽自動車道

E39 山陽自動車道

E40 山陽自動車道

E41 山陽自動車道

E42 山陽自動車道

E43 山陽自動車道

E44 山陽自動車道

E45 山陽自動車道

E46 山陽自動車道

E47 山陽自動車道

E48 山陽自動車道

E49 山陽自動車道

E50 山陽自動車道

E51 山陽自動車道

E52 山陽自動車道

E53 山陽自動車道

E54 山陽自動車道

E55 山陽自動車道

E56 山陽自動車道

E57 山陽自動車道

E58 山陽自動車道

E59 山陽自動車道

E60 山陽自動車道

E61 山陽自動車道

E62 山陽自動車道

E63 山陽自動車道

E64 山陽自動車道

E65 山陽自動車道

E66 山陽自動車道

E67 山陽自動車道

E68 山陽自動車道

E69 山陽自動車道

E70 山陽自動車道

E71 山陽自動車道

E72 山陽自動車道

E73 山陽自動車道

E74 山陽自動車道

E75 山陽自動車道

E76 山陽自動車道

E77 山陽自動車道

E78 山陽自動車道

E79 山陽自動車道

E80 山陽自動車道

E81 山陽自動車道

E82 山陽自動車道

E83 山陽自動車道

E84 山陽自動車道

E85 山陽自動車道

E86 山陽自動車道

E87 山陽自動車道

E88 山陽自動車道

E89 山陽自動車道

E90 山陽自動車道

E91 山陽自動車道

E92 山陽自動車道

E93 山陽自動車道

E94 山陽自動車道

E95 山陽自動車道

E96 山陽自動車道

E97 山陽自動車道

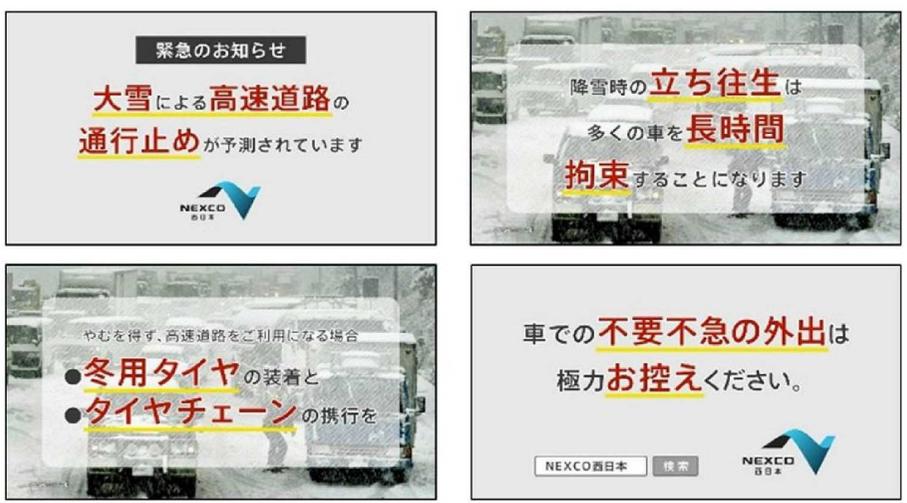
E98 山陽自動車道

E99 山陽自動車道

E100 山陽自動車道

■ 雪氷対策に伴う広報の取組み（発信力の強化）

■ TVCMでの出控え広報



■ デジタルサイネージでの広報



SA・PAでのデジタルサイネージによる広報

■ 情報板によるノーマルタイヤ装着車両への注意喚起・啓発

昨年度：「大雪予測あり」「冬用タイヤ装着」

今年度：「ノーマルタイヤ走行危険」



※大分県域のみ「ノーマルタイヤ走行禁止」を表示

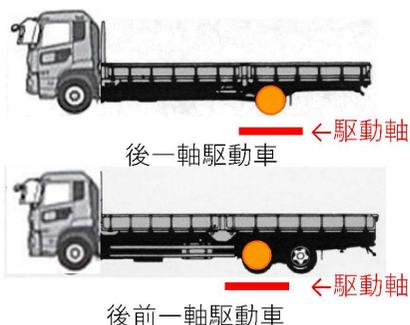
- ノーマルタイヤ車両に起因する交通事故や交通障害の抑制
- 降雪中の高速道路へのノーマルタイヤ車両の流入抑制

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R4年度）
4. 高速道路の雪氷対策の取組み
5. 高速道路の冬期情報提供
- 6. 運輸事業者さまへのお願い**

立ち往生が発生しやすい車両の特徴

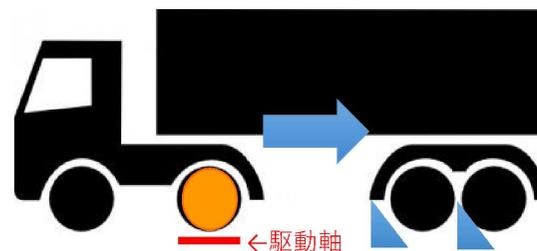
- **以下の特徴をもつ車両**は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です
- **冬用タイヤは全輪に装着**するとともに、積雪時は**駆動輪へのタイヤチェーン装着**をお願いします

一軸駆動車



二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない

※発進時等に駆動軸の回転を制御し空転を低減する装置

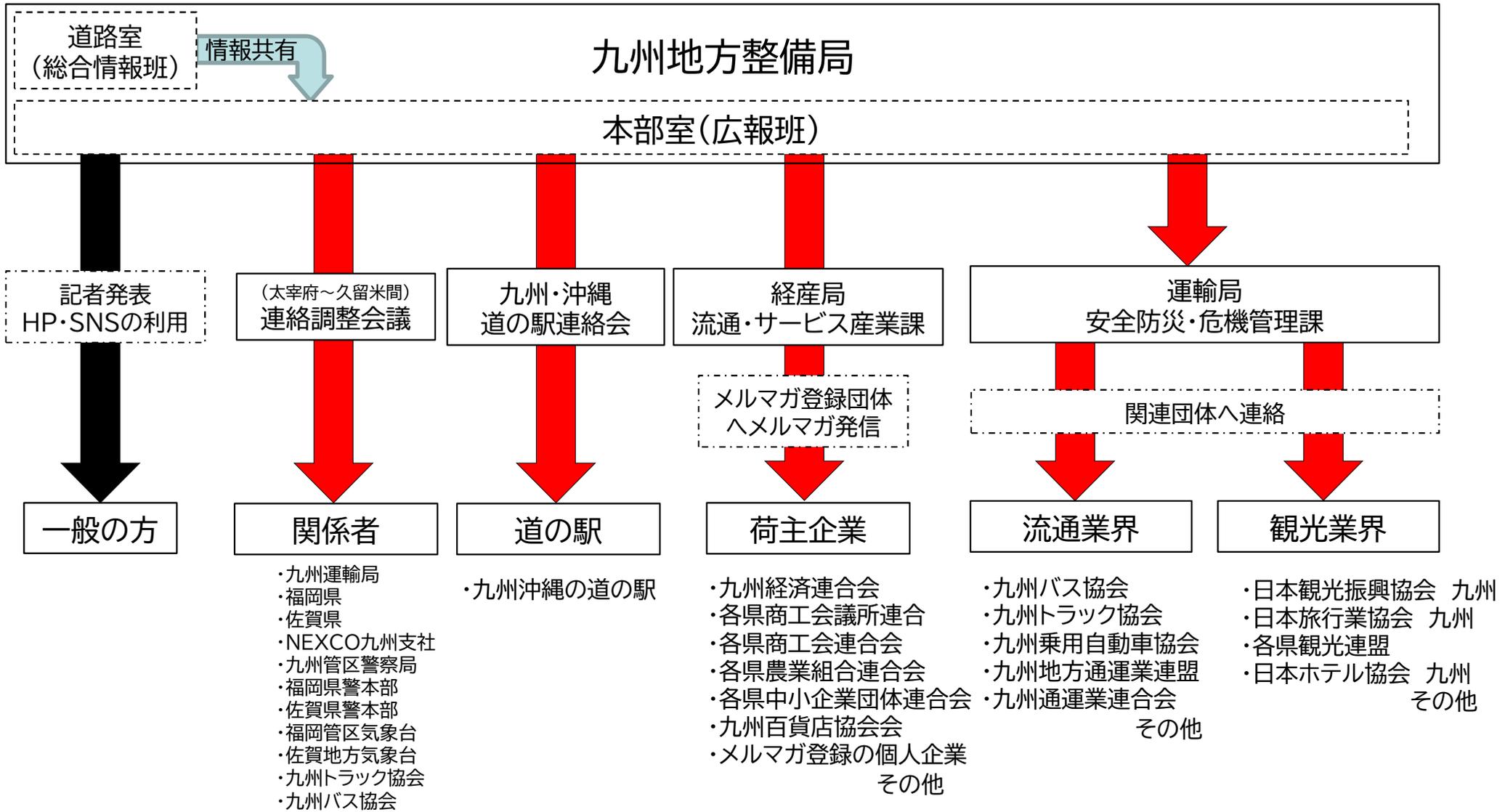
■ 運輸事業者さまへのお願い (参考_大雪時の幅広い広報_九州地方整備局)



大雪時の「出控え・広域迂回等」に係る広報として、道の駅・流通・荷主・観光業界等への幅広い情報提供を実施

【提供する情報】

- 大雪にともなう通行止めの可能性(整備局単独)、■大雪に関する情報(整備局単独)
- 大雪に関する発表(整備局・運輸局・N西)、■大雪に関する緊急発表(整備局・運輸局・気象台・N西)
- 大雪にともなう通行止めの可能性(整備局・N西)



◆ NEXCO西日本は、冬期の高速道路を安全にご利用頂けるよう、道路交通の確保に全力で努めます。

◆ 加えて、情報発信を積極的に行います。

👉 運輸事業者様、荷主企業様におかれましては、NEXCO西日本からの各種の情報にご注視をお願いします。

👉 また、特に大雪予測がある際は、NEXCO等から発信される情報に基づき、広域迂回や運行日時の調整等へのご協力をお願いします。

- ◆ **安全確保のため、速度規制や冬用タイヤ規制や通行止めを行う場合があります。**
- ◆ **1台でも事故や自力走行不能車両が発生すると、長時間の通行止めや、長時間の滞留に繋がる可能性があります。**
- ◆ **冬の高速道路は冬用タイヤを装着してご走行をお願い致します。**
- ◆ **タイヤチェーンの常時携行・必要に応じた装着をお願い致します。**

運輸事業における降雪・積雪時の安全確保について

国土交通省 九州運輸局

国土交通省として輸送の安全確保については、機会あるごとに注意喚起を行ってきたところですが、近年降雪・積雪により大型車両等が立ち往生したことによって、長期間にわたり高速道路等が通行止め等になる事態が発生しているところです。

令和2年に関係者に対し、降積雪時における輸送の安全の確保の徹底にかかる通知を行ってるところですが、当該通知の発出後にも降雪による大規模な渋滞・滞留が発生したことを受け、関係者に対し、気象情報や道路における降雪状況等を適時に把握し、積雪・凍結等の気象及び道路状況により、早期にスタッドレスタイヤ・タイヤチェーンの装着を徹底するよう、機会を捉え周知を図っているところです。



冬用タイヤの適切な着用について

運送事業者及び使用者の皆様へ



雪道での立ち往生に注意！

-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



- Ⓜ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- Ⓜ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- Ⓜ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

令和2年に発生した、関越道及び北陸道等における、大雪による大型車両の立ち往生により、深刻な交通渋滞や通行止めが発生したことを受け、国土交通省では令和3年2月に大型車を使用するユーザーを対象とした、雪道での立ち往生にかかる注意事項等をまとめたパンフレットを作成しているところです。

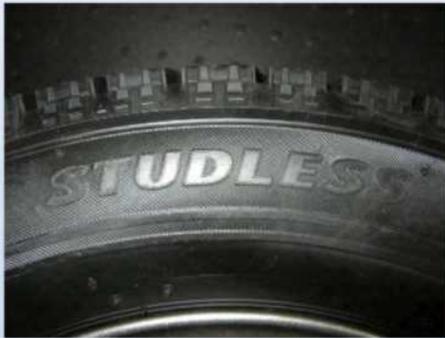
資料には、冬用タイヤやチェーンにかかる取扱や、注意事項にかかる資料が掲載されているところです。

また、交通渋滞を引き起こした運送事業者等に対し、監査が行われることなど併せて紹介されております。

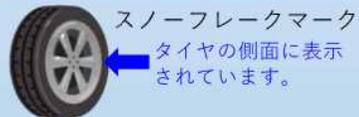
冬用タイヤの適切な着用について

冬用タイヤの選び方

- Ⓜ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- Ⓜ 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**(国内表記)又は**スノーフレークマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



冬用タイヤの使用限度

- Ⓜ **溝深さが50%以上**残っていることを「**プラットホーム**」で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

左の資料については、当該パンフレットにおける冬用タイヤにかかる紹介部分となっております。

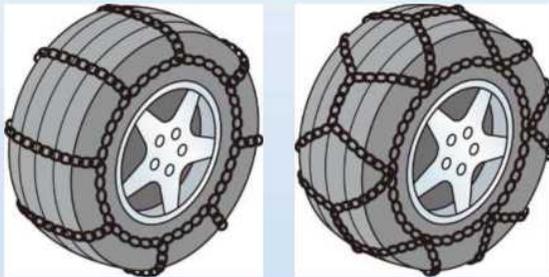
冬用タイヤを示す表示がどのようなものであるか、路面を覆うほどの過酷な積雪路・凍結路においては、冬用タイヤを全車輪に装着する必要があること。

冬用タイヤとして性能を発揮するためには、タイヤの残り溝の深さがどの程度必要であるか等紹介されているところです。

冬用タイヤの適切な着用について

チェーンの効果

- ❑ チェーンを**駆動輪に装着**すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での**発進・登坂性能が向上**します。
- ❑ チェーンの**サイズや締め方が不適切**な場合、**タイヤとの間で滑りが生じ**効果が得られません。



大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着

- ❑ **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- ❑ 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

性能限界

- ❑ 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界があり、万能ではありません**。例えば、車両の**バンパーに接触するような新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- ❑ 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

左の資料については、当該パンフレットにおけるタイヤチェーンに係る紹介部分となっております。

タイヤにチェーンを装着した場合の効果や、取り付け方法にかかる注意事項が紹介されております。

併せて、相当量の積雪が見込まれる場合においては、チェーンの携行をすることや、降雪時には早めにチェーン装着するよう注意喚起がされているところです。

また、冬用タイヤ・チェーンのいずれも性能限界があり、万能ではないことや、運行前において道路・気象情報を確認し、運行の可否や運行経路の検討を行うよう注意喚起がされているところです。

冬用タイヤの適切な着用について

立ち往生が発生しやすい車両

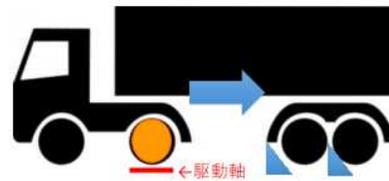
以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

一軸駆動車



二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

※発進時等に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

左の資料については、当該パンフレットにおける車両毎の特性に係る紹介部分となっております。
積雪路等において、特に立ち往生が発生しやすい傾向がある車両等について紹介されているところです。

先に紹介した資料も含め、これらの資料については、下記のURLから確認が可能となっております。

<https://renrakuda.mlit.go.jp/renrakuda/carsafety039.html>

「自動車を安全に使うためには」→

自動車を安全に使うための注意点を発信しています。



国土交通省
自動車局 審査・リコール課



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和5年9月29日
自動車局整備課

冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！

大型車の冬用タイヤへの交換時期に車輪の脱落事故が急増する傾向を踏まえ、タイヤ脱着時の確実な作業の徹底を呼びかける「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施します。

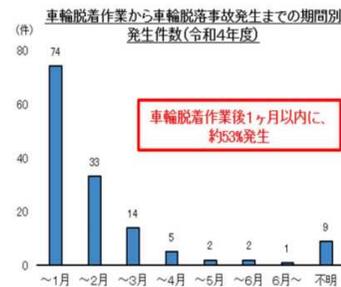
大型車の車輪脱落事故の発生件数は、近年増加傾向にあり、国土交通省においては、令和4年2月に設置した「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」において、大型車の車輪脱落事故事例について調査、分析を行い、同12月に中間とりまとめを策定したところです。

本中間とりまとめにおいては、タイヤ脱着作業時のワッシャー付きホイール・ナットの点検、清掃や各部位への潤滑剤の塗布、ホイール・ナットが円滑に回るかの確認が不十分である等、適切なタイヤ脱着作業やタイヤ脱着作業後の増し締めが実施されていない等が、事故の主な原因として報告されています。

こうした状況を踏まえ、10月から来年2月にかけて、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施します。

【主な取組】

- 大型車の使用者、運転者及び整備業者等に対して、適切なタイヤ脱着作業や保守管理の重要性について周知・啓発を図る。
- 例年車輪脱落事故は冬用タイヤへの交換など車輪脱着作業から1～2ヶ月後が大半を占めており、積雪予報が発せられた直後に交換作業が集中したことにより、不適切な脱着作業が行われていたこともあることから、通常の降雪時期を待たず早期に冬用タイヤに交換するなど、余裕を持って正しい脱着作業を行えるべく、冬用タイヤ交換作業の平準化を推進する。



また、更なる車輪脱落事故防止対策として、10月1日より、自動車運送事業者及び整備管理者に対する行政処分を導入することとします。

- 車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者に対する車両の使用停止（初違反 20日車、再違反 40日車）
- 一定期間に複数回の車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者等に対し整備管理者の解任命令

※大型車とは、車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス

<添付資料>

別紙1：大型車の車輪脱落事故防止のための啓発ポスター及びチラシ

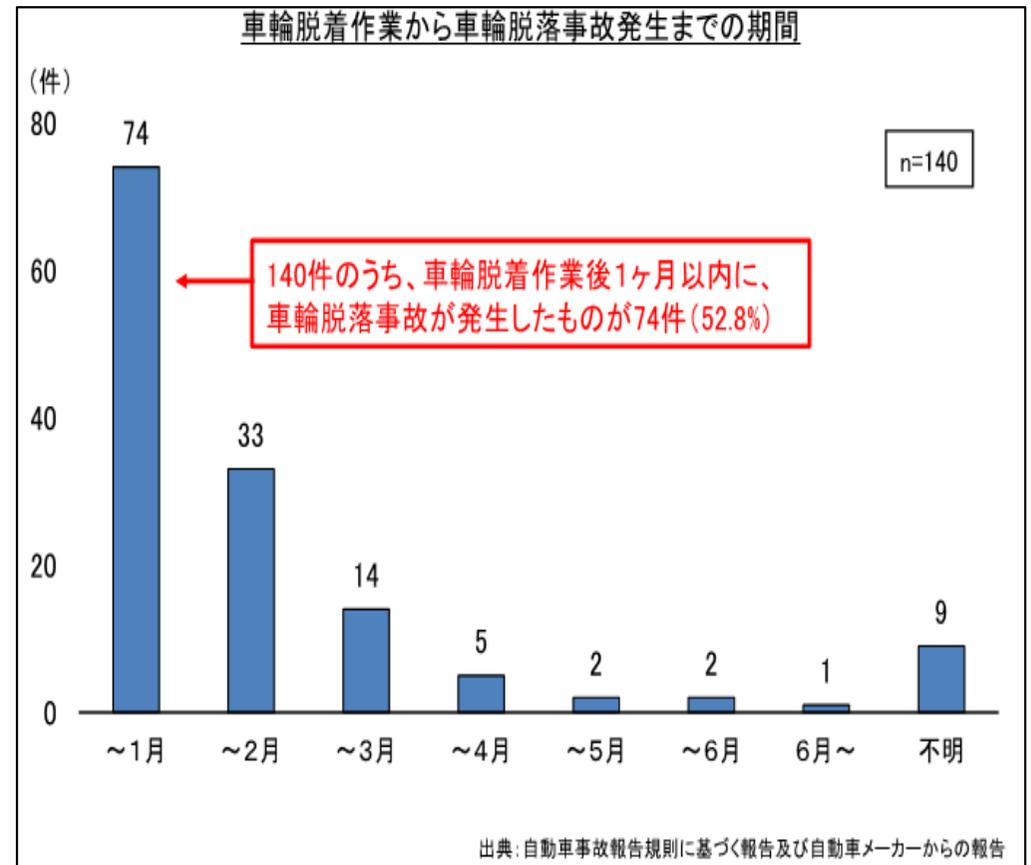
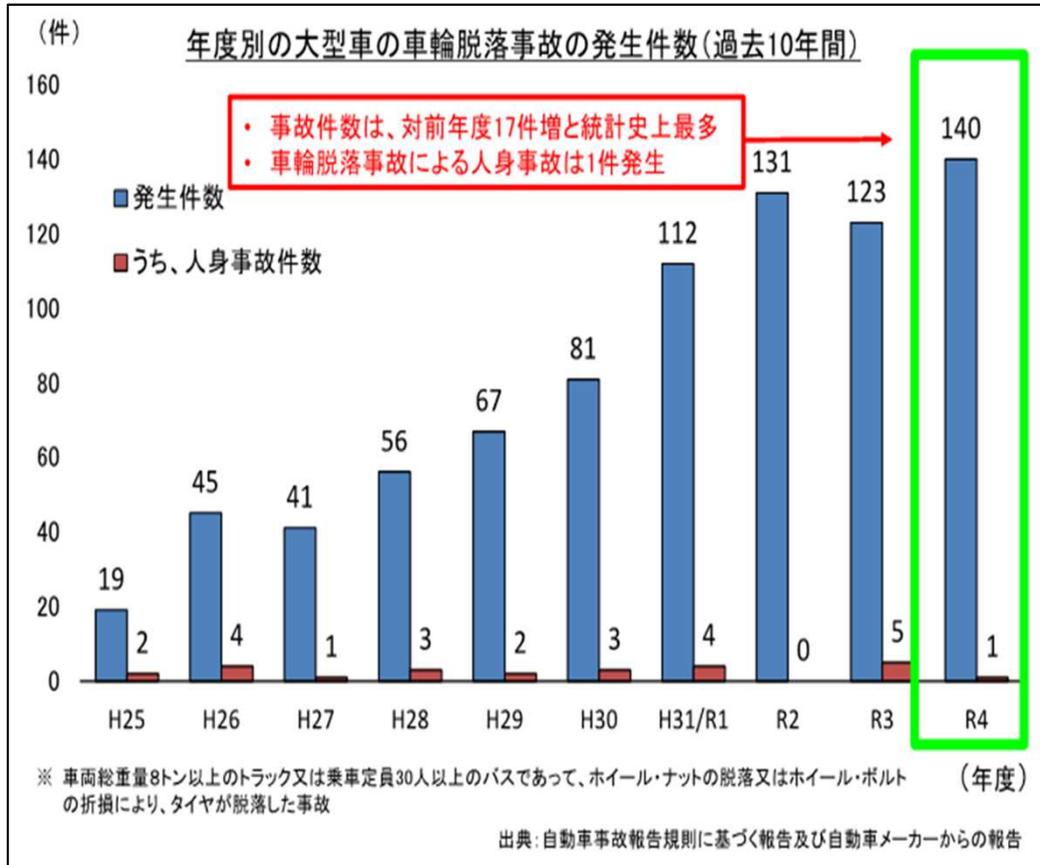
別紙2：令和4年度大型車の車輪脱落事故発生状況

<問い合わせ先>

自動車局整備課 杉本、坂本
代表：03-5253-8111（内線：42412）
直通：03-5253-8599

大型車の車輪脱落事故の発生件数について年々増加傾向にあり、特に大型車の冬用タイヤへの交換時期において、大型車の車輪脱落事故が急増する傾向にあることから、タイヤ脱着時における確実な作業の徹底を呼びかけるため、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」などが行われているところです。

また、更なる車輪脱落事故防止対策として、令和5年10月1日より大型車の車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者に対する行政処分制度が新たに導入されております。



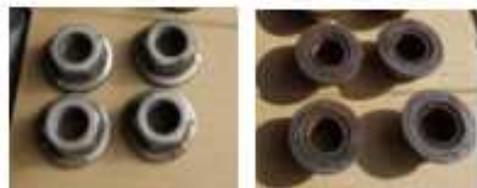
大型車の車輪脱落事故の発生件数は右肩上がりの状況となっており、令和4年度については140件の車輪脱落事故の発生が確認されております。前年度の発生件数と比べると17件増加しており、前年度比の増加率としてはこれまでの最多となっております。

また、車輪脱着作業から車輪脱落事故発生までの期間については、車輪脱着作業から1ヶ月以内に発生したものが全体の半数以上となっております。

車輪脱落事故の防止のためにも、車輪脱着作業後50km~100km走行後における、ホイールナットの増し締めを確実に実施して頂きますようお願いいたします。

事故車両調査により確認された各部品の劣化・損傷事例

著しいさびや汚れによる
ホイール・ナット



ホイール・ナット上面からはナット座面の状態が確認できない場合が多く、ワッシャーが固着しているものもある。

ホイール・ボルトに
著しいさびや汚れ等の
付着



スムーズに回転しない
ホイール・ナット



ホイール・ナットとワッシャーのすき間に潤滑剤の塗布が見られず、ホイール・ナットとワッシャーにガタが発生し、スムーズに回転しない。

著しいさびによる
ディスク・ホイールの損傷



ディスク・ホールのボルト穴や、ホイール・ナットの当たり面に、著しいさびによる剥離や損傷が発生している。

- 令和4年度発生した車輪脱落事故車両140台のうち136台に対して、各部品に劣化・損傷状態や、タイヤ脱着作業の実施状況を確認する事故車両調査を実施した。
- 事故車両調査の結果、
 - ・ホイール・ボルトやナットに著しいさびがあるものや、ゴミ等の異物が付着しているもの
 - ・ホイール・ナットとワッシャーのすき間に潤滑剤の塗布が見られず、ホイール・ナットがスムーズに回転しないもの 等、適切なタイヤ脱着作業が実施されていない車両が確認された。

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。



おと

おとさぬための点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

トルクレンチで適正締め

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

動画をチェック!

正しい点検方法や連結式ナット回転指示インジケーターの使用方法をご案内しています。



防ごう

大型車の

車輪脱落事故

さ

さびたナットは清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



な

ナット・ワッシャー隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。



い

いちにち一度は緩みの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触って点検します。

「お・と・さ・な・い」を徹底しよう!



Mr. 整備くん

大型自動車の車輪脱落事故の発生件数は年々増加傾向にあるところですが、その原因の多くがタイヤ脱着作業時における点検が不十分であるものや、タイヤ脱着作業後における一定距離走行後における増し締めが適切に実施されていないものがあることから、自動車ユーザー等に対し、日本自動車工業会作成のポスターの掲示・リーフレットの配布を行い、タイヤ脱着作業時における適切な点検等の重要性について、注意喚起を行っているところです。

これまでスローガンについては、「お・ち・な・い」とされていたところですが、近年における車輪脱落事故の発生要因などを踏まえ、今年度より「お・と・さ・な・い」に改められているところです。



66%

車輪脱落事故のうち
冬用タイヤへの交換後に
発生した割合

皆さん、ご存知でしたか？

大型車の車輪脱落事故の多くが、冬場、安全に走るためのタイヤ交換後に発生しているということ。

タイヤ交換時には、部品の錆や汚れをきちんと点検し、増し締めをしっかりと行うなど、適切に取り付けてください。

確実な点検・整備で、防げる事故があります。

「昨日も大丈夫だったから今日も大丈夫。」

その軽い気持ちで命を奪う

防ごう！大型車の車輪脱落事故 点検しよう！出発前の車両の安全



また、今年度については国土交通省においても車輪脱落事故発生防止にかかる啓発ポスターを作成し、事故防止に掛かる啓発活動を行っているところです。

国土交通省のHPでは、先にご紹介させていただいた啓発資料のほか、車輪脱落事故の発生状況にかかる資料及びその発生原因、車輪脱落事故防止対策にかかる資料などが掲載されているところです。

その他にも、大型車の車輪脱着作業の手順などを示す動画などを確認することが出来ます。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha/tenkenseibi/tenken/t2/t2-1/>

国自整第166号の2
令和5年12月4日

公益社団法人全日本トラック協会会長 殿

国土交通省物流・自動車局
自動車整備課長
(公印省略)

大型車の車輪脱落事故防止に係る一斉点検の実施について（依頼）

大型車の車輪脱落事故防止については、本年も「令和5年度緊急対策」として10月から令和6年2月末を重点的に取り組んでいるところですが、12月1日、午後3時50分頃、青森県八戸自動車道下り線において、走行中の大型トラックから左後輪のタイヤが脱落し、道路保全工事を行っていた作業員に衝突、1名が死亡、1名が軽傷を負う事故が発生した。また、11月30日、島根県の国道においても大型トラックから脱落したタイヤが歩行者に衝突し、当該歩行者が重傷を負う事故が発生しました。

本件事故については、事業者からの報告によると、ともに冬用タイヤ交換後間もなく発生したとの情報がございます。

つきましては、別紙のとおり各地方運輸局等あてにトラック運送事業者に対して、保有車両のホイール・ナットの緩みの確認及びタイヤ脱着作業後の増し締めが確実にされているかについて一斉点検を実施させるとともに、改めてタイヤ脱着作業や保守管理を適切に行うよう指示したことから、本件実施についてご協力方よろしくお願ひします。

また、令和5年11月30日及び12月1日に発生した、大型車の車輪脱落事故を受け、令和5年12月4日付けで、全日本トラック協会及び地方運輸局に対し、「大型車の車輪脱落事故防止に係る一斉点検を実施について（依頼）」という通達が発出されているところです。

大型車を保有されている事業者様にあつては、保有されている車両についてホイール・ナットの緩みが無いことの確認や、タイヤ脱着作業後の増し締めが確実にされているか一斉点検を実施いただくとともに、タイヤ脱着作業や保守管理を適切に行って頂くようお願いいたします。

同種事故の再発防止のためにも、確実に取り組んで頂きますようお願いいたします。

突発的な異常気象等における、貨物運送の運行経路の変更や運行中止等の判断へは、荷主の理解が不可欠であるため、荷主所管省庁である経済産業省や農林水産省と連携し、荷主に対して右記の周知や要請を行っている。



1. 季節的な周知・要請

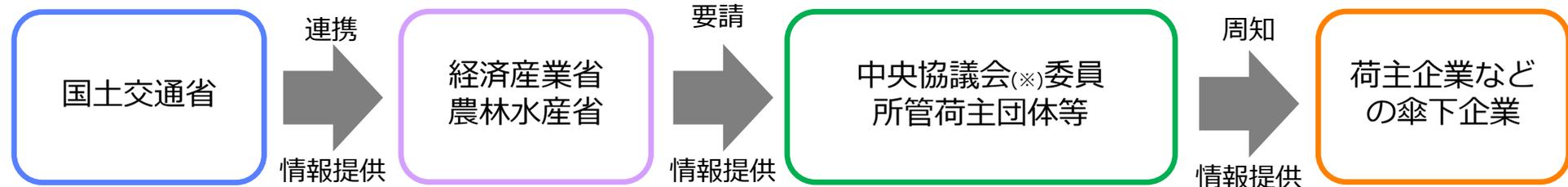
○降積雪期や出水期を迎える前に、降積雪期等における注意事項に関する文書を発出。

2. 緊急的な周知・要請

①大雪や大雨などの警報を超える異常気象の予測に基づき、気象庁が行う緊急発表、高速道路・幹線国道の通行止め情報は、関係省庁を經由して荷主団体等へ情報提供を実施し、運行経路の変更、運行の中止等を認めるなど柔軟な対応を要請。

②予め運送に支障を来すことが予想される場合は、在庫の積み増しや、運行可能域内で物資の融通を行うよう要請。

【周知・要請体制】



※運送事業者や荷主団体（経団連や日商など）、関係省庁等により構成され、主に自動車局貨物課が運営する会議体

【R3. 1. 28 降積雪期】

事務連絡
令和3年1月28日

荷主関係団体等 あて

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

【R3. 5. 25 梅雨期・台風期】

事務連絡
令和3年5月25日

荷主関係団体等 あて

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

梅雨期及び台風期における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運行時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雨や暴風などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行経路の変更や運行の中止等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、例年、梅雨期及び台風期においては、各地で局地的大雨や集中豪雨が発生しており、人命の保護を第一義として、荷主のご理解とご協力を得ながら梅雨期及び台風期における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雨や暴風などの異常気象による突発的な事象により、運行経路の変更や運行の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運行経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雨や暴風などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運行可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

いのちと暮らしをまもる
防災減災

Press Release

令和5年12月1日
物流・自動車局
貨物流通事業課
安全政策課
審査・リコール課
自動車整備課

物流・自動車局での大雪時の大型車立ち往生防止対策について

～今冬の立ち往生の発生を抑止するために～

物流・自動車局では、令和2年12月以降の大雪により、関越道、北陸道等において多くの大型車両が立ち往生したことで、大量の車両が路上に滞留する事案が発生したことを踏まえ、今冬も、①車両対策（冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着の徹底）、②運送事業者対策（輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査）、③荷主対策（荷主への周知体制の確立）を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

運送事業者や自動車使用者の皆様におかれましては、改めて下記注意点をご確認の上で、冬期の走行に万全を期して頂きますようよろしくお願いいたします。

① 車両対策：自動車ユーザーの皆様へ

- 積雪・凍結路では、必ず適切な冬用タイヤの装着をお願いします。
- また、運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、「プラットホーム」で確認をお願いします。
- チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着をお願いします。

② 運送事業者対策：トラック・バス運送事業者の皆様へ

- 年末年始の輸送等に関する安全総点検[※]の実施項目「6. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認をお願いします。
- 運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行の中止等の指示、冬用タイヤの溝の深さ、滑り止めの措置が講じられていることの確認等、輸送の安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。
- 雪道において、悪質な立ち往生事例が発生した場合は、監査で事実関係を確認した上で、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となります。

※ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html

③ 荷主対策：荷主の皆様へ

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経

路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。

- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

（その他）気象情報の活用

- 気象庁 HP の「今後の雪」も活用のうえで、事前に天気予報をご確認ください。
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

【添付資料】

- ・【別紙1】『雪道での立ち往生に注意！』（パンフレット）
- ・【別紙2】『冬用タイヤの溝深さに注意！』（チラシ）

【お問い合わせ先】

①関係

審査・リコール課 菊池、山下、馬場
代表：03-5253-8111（内線：42352、42363）
直通：03-5253-8594
自動車整備課 杉本、坂本
代表：03-5253-8111（内線：42413、42412）
直通：03-5253-8589

②関係

安全政策課 宮坂、萩島
代表：03-5253-8111（内線：41613、41615）
直通：03-5253-8565

③関係

貨物流通事業課 宮屋敷、佐藤
代表：03-5253-8111（内線：41332）
直通：03-5253-8575

運輸防災マネジメントセミナー

令和5年度運輸安全マネジメント強化キャンペーン(下期)



国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室

1

自然災害（雪害）の状況と被害

2

自然災害（雪害）から得られる課題と対応ポイント

3

運輸防災マネジメントのポイント（取組事例を含む）

（1）経営トップの責務

（2）防災の基本方針

（3）リスク評価

（4）事前の「備え」

4

まとめ



1 自然災害（雪害）の現状と被害

■ 平成30年2月の大雪に伴う滞留（福井等）

- ・福井市では、「昭和56年豪雪」以来の記録的な大雪となり、福井・石川県境付近では**大規模な車両滞留**も発生

＜被害状況＞（福井・石川県境）

最大滞留車両：約1,500台

車両滞留期間：2日と17時間

当該地域の生活や経済活動に多大な影響が発生！



【国道8号（福井県）車両滞留の状況】

■ 令和2年12月の大雪に伴う滞留

関越自動車道（月夜野IC～小出IC間）

- ・**大型車のスタック**を契機に、**長時間滞留が発生**
- ・自衛隊や警察等の協力による物資配布、車両救出を実施。

＜被害状況＞（新潟県、群馬県等）

最大滞留車両：約2,100台

車両滞留期間：【新潟市方面】 約1日と9時間

【東京方面】 約2日と4時間



【関越自動車道（新潟県、群馬県等）車両滞留の状況】

■ 令和3年1月の大雪に伴う滞留 北陸自動車道（福井IC～金津IC間）滞留約1,600台

国道8号（福井）渋滞長最大15km

■ 令和4年1月の大雪に伴う滞留 首都高速（東京都）車両滞留14時間 等

■ 令和5年1月の大雪に伴う滞留 鉄道車両の駅間停車 等

1. 自然災害（雪害）から得られる課題

近年、大規模な車両滞留が多数発生し、安全・安定輸送に関わる課題が顕在化。

- ① 的確な気象情報・道路情報の把握
- ② 上記①を踏まえた、運行（航）計画（中止又は広域迂回）の策定
- ③ 雪に対する事前の備えの必要性



2. 雪害への対応ポイント

- ① 降雪・積雪の予測はある程度可能。最新の気象予報・警報、道路交通情報をもとに、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための迅速な判断と対応が極めて重要。
- ② 雪崩、融雪による河川の増水に伴う二次災害にも十分な注意が必要。
- ③ 旅客・貨物輸送の一時運休・停止について、旅客・荷主等に前広に周知、県・関係機関との連絡を密にして対応体制を構築、除雪後の輸送再開に備えることが重要。
- ④ トラック等の場合、突発的な大雪に備え、適切な冬用タイヤやチェーン、車内への食料・飲料などの備えも大切。

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の「備え」

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除（思い込み（バイアス）の排除）

(9) 関係者との連携

(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善（他事例の学び）



4点に絞って説明

3 運輸防災マネジメントのポイント



(1) 経営トップの責務

1. トップダウン

- ① 経営トップの責務は、事故対応と同様に重要。特に自然災害による被災の直前から直後の対応は、危機管理そのもの。トップダウンで対応する体制が必要。
- ② 災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示。

2. 経営判断

- ① 事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要。
- ② 例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要。



3. 事業者全体での対応

「防災」も「安全」と同様、平時からマネジメント部門が経営課題として認識して、事業者全体が対応策を考え、実践することが重要。

(2) 安全方針と防災の基本方針

- ① 防災の基本方針は、経営トップが決裁。
内容は、① 人命最優先（避難・救助・救護の原則） → ② 事業継続
- ② すべての社員・職員にとって重要。



リスクを正しく評価することが防災の第一歩

遭遇する懸念のある **自然災害の種別と程度を把握、リスク評価** を行った上で、**事前の備えから事後の対応までの対策** を実施。

雪害に関しては、**積雪・降雪予報、過去の積雪状況等によりハザードを把握する必要有**

【雪害ハザードの具体的な把握方法】

- 気象庁 今後の雪（降雪短時間予想）1時間毎に推定した現在の **積雪の深さ** と **降雪量の分布**、及び **6時間先までの予測**
- 気象庁 過去の気象データ検索
- 重ねるハザードマップ（雪崩危険箇所、予防的通行規制区間）
- 道路・線路等サイト設置カメラからの情報 等



リスク評価の流れ

①自然災害の種別・程度を把握

②被害の規模・程度を見積もる

③事前の備えから事後の対応まで対策を検討

④対策を実行

事故防止と同じく、平素からの取組がポイント。平時からの「備え」が不可欠。



留意すべき点



① 計画的装備

リスク評価による最大被害をもとに、事前準備のレベルと内容を検討。防災品、**燃料**、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、**非常電源の配備**等を**計画的に実施**。

② 緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは**常時最新のもの**を入力。**複数の通信・連絡手段**の確保。

③ 防災マニュアル

マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。**「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的**

④ 事業継続計画

防災を経営に必要な事業活動として一体化して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

⑤ タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、**自然災害対応のタイムラインを設定**、局面毎のリスク評価実施。

 留意すべき点 → 雪の場合の計画的装備

① 雪道への備え

- ⇒ 冬用タイヤへの交換
- ⇒ チェーン（チェーン規制のため）の携行



- ⇒ 冬用ワイパーへの交換
- ⇒ こまめな給油
- ⇒ 十分な車間距離の確保
- ⇒ 時間にゆとりのある運行計画

② スタックした場合の脱出のための備え

- ⇒ スコップ、長靴、防寒着、毛布、脱出マット、懐中電灯等



③ 万が一の滞留のための備え

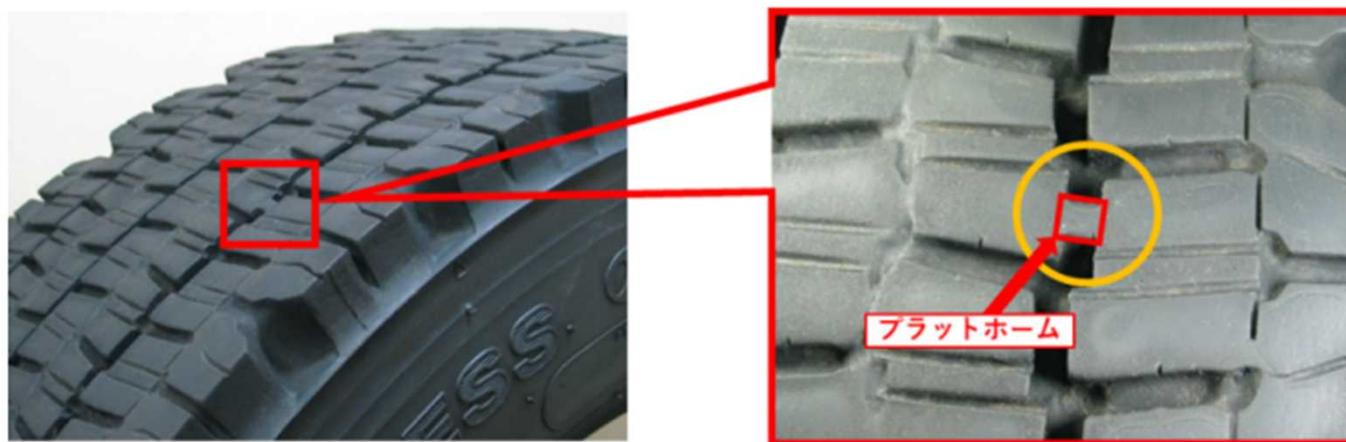
- ⇒ ②に加え、非常食、飲料水、携帯トイレ、本社との通信手段、ラジオ等



事前の備えの内容については、マネジメントレビューや内部監査などにより、見直し・改善

令和3年1月26日より、バス・トラック運送事業者は、雪道において適正な冬用タイヤを使用していることを確認することが義務付けられました。

1. **整備管理者**は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、**溝の深さが**タイヤ製作者の推奨する**使用限度※**よりも**すり減っていないことを確認**しなければなりません。
2. **運行管理者**は、雪道を走行する自動車について、**点呼の際に上記事項が確認されていることを確認**しなければなりません。



※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の**50%**まですり減った際にプラットホームが溝部分の表面に現れます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000264.html

(4) 事前の「備え」・タイムライン

タイムライン（防災行動計画）とは、災害の発生を前提に、大規模水災害、雪害等の発生予測時刻から逆算して、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「どのように」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。



留意すべき点

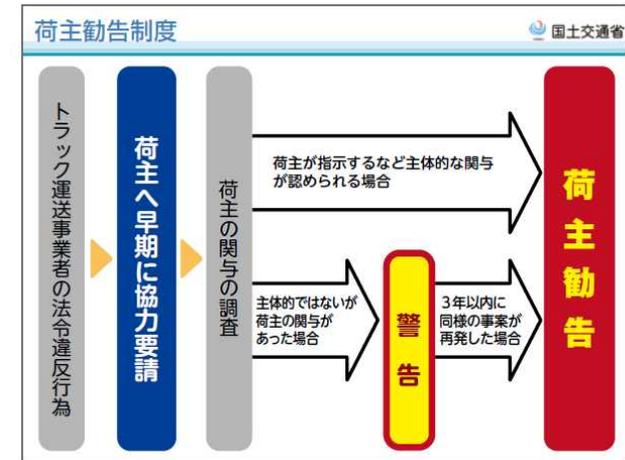
- ① 台風・大雪等は、気象予報等から発生がある程度予測可能。
- ② 例えば、積雪予報に応じて、リスクの高い路線の一時運休、速度制限を行い積雪量予報を踏まえ、計画運休又は、広域迂回経路による運行を実施等。
- ③ タイムラインの目安として大雪特別警報、大雪警報・注意報等の発表に関する情報が活用可能。（例 早期注意情報、気象台からの発表など）
- ④ 一時運休、全面運休、計画運休は、地域の人流（旅客）・物流（荷主等）に大きな影響を与えることから、国、地方公共団体、関係者との情報共有と連携、利用者・荷主等への適時適切な情報提供が重要。

気象予報等からある程度予測可能な大雪・台風等については、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、**着荷主・発荷主等と連携**を図りつつ、安全が確保されるまでの間、**運行を一時中断（計画運休）する等、予め協議・協定締結**を行うことをご検討ください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、**国土交通省にその旨を通報する手段**が設けられています。

⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時 		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
視界不良（濃霧・風雪等）時 		視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき	
警報発表時 		輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき	



無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！



* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>



取組

①豪雪時の対応体制の構築

豪雪時の対応マニュアルを策定し、対応体制を以下のとおり構築

◆対策本部の設置基準：新潟地方気象台16時時点で発表する降雪予報（17時から翌9時までの予想降雪量）において下越海岸部で最大20cmを超えた場合

◆対策本部の体制：

対策本部長：乗合バス部長（統括）、対策副本部長：運営センター販売課長（本部長代理）、運営センター運行課長（運行判断・指示、除雪対応）

◆早朝の巡回体制の構築：

上記の対策本部設置基準が満たされる場合、以下の表に基づき巡回を実施し、路線毎に運行・運休・迂回運行を判断。始発5:30までに利用者へTwitter、HP等で情報提供→R2年度2班体制での運用状況を踏まえ、R3年度からは3班体制へ見直し・改善

	出勤時間	担当 (2班体制→3班体制)	役割
一次出勤者	4:00	責任者	運休・迂回運行の決定
		コントローラー(責任者補助)	路線状況の集約・営業所への指示
	巡回後 5:30	各路線毎の担当者	社用車で担当路線巡回、 運行可否判断後、本社出勤 運休・迂回の場合、停留所掲示作業
二次出勤者	6:30	・新潟駅周辺	・新潟駅前の旅客案内・除雪
		・バスセンター	・旅客案内

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>

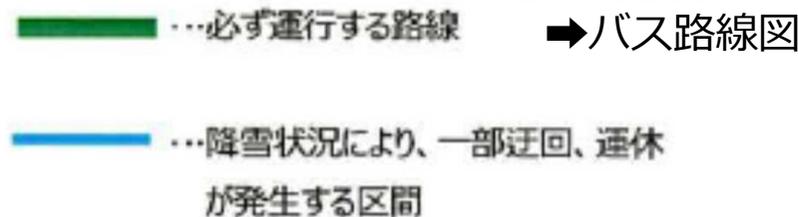


取組 (続き)

- ②雪かき作業 → 各営業所内敷地は、除雪車を配備し、除雪体制を構築。バス停付近は担当部署以外を含め人海戦術による除雪。降車場所と乗車場所の2箇所を除雪
- ③冬タイヤの管理 → 毎年、早め(11月中旬)に新品を購入し冬用タイヤへ履き替え。雪シーズン後もそのまま交換せず履き潰して毎年同じ時期の交換により冬期には**常に良い状態のタイヤを維持**

④豪雪時に優先される路線の明確化と利用者への情報提供

降雪期には道路管理者との連携により非常時運行体制を実施。豪雪時には、自治体の除雪能力の限界を踏まえ、道幅が狭くなることから安全な運行ルートを確認するため近接の幹線道路に迂回するなど、**「必ず運行する路線」と「降雪状況によって、一部迂回、運休区間が発生する路線」**を区別し**優先順位を付け**運行を継続。**利用者へHP、Twitterを通して迅速・的確な運行情報を提供**



取組の効果

- ① 豪雪時の路線の優先順位を踏まえた、安全な運行の維持
- ② 利用者への適時・適切な運行情報の提供

4 本日のまとめ

1. 経営トップの責務

(1) 大規模災害時は経営トップの判断が必要

① 予測可能な雪害 **一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断**が必要

② 雪害対応に対する経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中

(2) 事前の備えなどへの投資

2. 防災の基本方針

重点推進事項

(1) 防災の基本方針は、経営トップが決裁

(2) 優先順位 **① 人命最優先（避難、救助、救護の原則）** → **② 事業継続**

(3) 防災の基本方針の対象者 → **すべての社員・職員にとって重要**



3. リスク評価

重点推進事項

降雪・積雪の状況・予報等を活用して本社・営業所及び運行（航）エリアの雪害の可能性を把握し、降雪・積雪による事業への影響度を想定

4. 事前の「備え」

(1) 上記3.の結果を踏まえ、**雪シーズン前**に、事前の「備え」を行い、

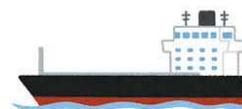
降雪・積雪情報の入手先を確認

(2) 予測可能な雪害に対しては**タイムラインを策定**し、対応を実施

(3) 荷主等との**事前協議・協定締結**等により安全最優先の運行の実施



ご清聴ありがとうございました。



アンケートにご協力下さい。

※アンケートは、以下のQRコードよりアクセス可能です。



国土交通省 大臣官房
運輸安全監理官室

運輸防災マネジメント指針の解説の策定について(令和3年2月22日)

目的 大臣プロジェクト「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の一環として、運輸事業者の自然災害対応力の向上のため、令和2年7月6日に策定・公表された「運輸防災マネジメント指針」(以下「指針」という。)を**詳細に分かりやすく解説**することで、**更なる理解**を促し、運輸事業者における**運輸防災マネジメントの構築の一助**とすることを目的としています。

特徴

① 防災指針の項毎に詳しく解説。左ページに防災指針、右ページに解説、**見やすさに配慮**したレイアウト。
2冊を見比べる必要なく、1冊で完結。

② 設定により**冊子印刷**が可能。 ※中綴じホッチキスが必要になります。



見どころ

① 指針を分かりやすく説明

運輸防災マネジメントのポイントとして指針において推奨される取組及びその留意すべき点について分かりやすい詳細な説明を追加しています。

- ◆ 防災の基本方針 ◆ 自然災害リスク評価からその対応の一連の対応
- ◆ 計画的装備、緊急連絡網、防災マニュアル、タイムライン等の事前の備えの内容
- ◆ 代替性の確保(ハード面、ソフト面) ◆ 利用者/荷主への情報提供
- ◆ 関係者(自治体・国・事業者)との連携 ◆ 教育・訓練等



QRコード

② 具体的な事例・例示の提示

防災指針の中で推奨する種々の取組の具体的な事例、例示を関連箇所に提示しています。

③ 関係する参考情報の提供

随所に、指針の参考情報を掲載。情報元のURLとQRコードを提供しています。



運輸防災マネジメントに役立つ情報PPT資料について

災害関連情報(ハザードマップ、気象情報等)、BCP策定等の支援(中小企業庁、DBJ格付融資等)、再建支援、多言語支援(JNTO提供アプリ、コールセンター等)



QRコード

取組事例のHP公開について

33件 (鉄道11件、自動車12件、海事7件、航空3件) 令和5年11月現在

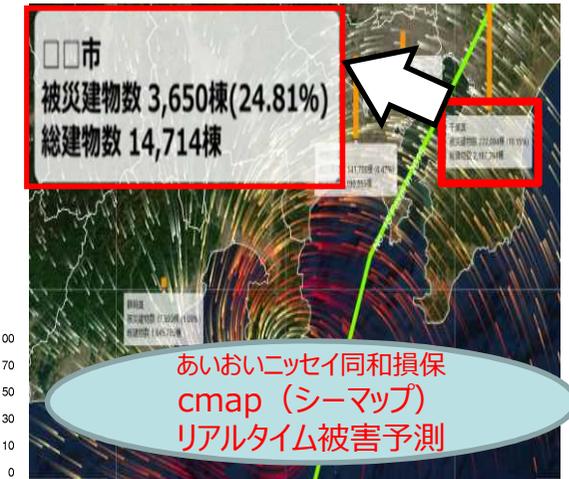
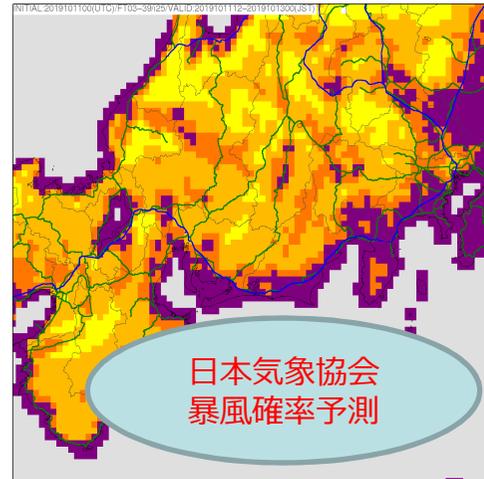


QRコード

営業所高台移転、非常用発電機設置、予備燃料確保、各種訓練実施、荷主との事前協議等

災害関連情報

- 気象庁：各種気象データの提供
- （一財）日本気象協会
：精緻な気象情報の提供
- 国土交通省
：川の防災情報
防災ポータル
重ねるハザードマップ
わがまちハザードマップ
DiMAPS
大規模氾濫減災協議会制度



BCP策定等の支援

- 地方自治体
：運輸事業者の防災力向上に向けた公的支援
- 内閣府防災：事業継続ガイドライン
- 中小企業庁：中小企業BCP策定運用指針
BCP策定・運用についての
専門家派遣
地域と企業の連携支援
- 日本政策投資銀行
：BCM格付融資
- 金融機関等
：BCP作成支援

再 建 支 援

- 日本政策金融公庫等
：災害復旧貸付
- 各都道府県等の
信用保証協会
：セーフティネット保証4号
災害関係保証
- 最寄りの生活衛生同業組合
：生活衛生改善貸付

多言語対応支援

- 日本政府観光局
(JNTO)
：コールセンター
(050-3816-2787)
アプリ
(Safety Assistance)
WEB、SNS



※気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>)

○気象庁にて、気象防災、地震・津波、火山、海洋等の様々な情報の提供が行われている。

気象防災

- 気象警報・注意報
- 大雨危険度
- キキクル
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- 気象情報
- 台風情報
- 指定河川洪水予報
- 土砂災害警戒情報
- 竜巻注意情報
- 熱中症警戒アラート
- 今後の雪

等

地震・津波

- 津波警報・予報
- 地震情報
- 推計震度分布図
- 長周期地震動に関する観測情報
- 南海トラフ地震関連情報

等

- 噴火速報・警報・予報
- 降灰予報
- 火山ガス予報

等

火山

- 海上警報・予報
- 海上分布予報
- 波浪実況・予想図
- 潮位観測情報
- 波浪観測情報

等

海洋

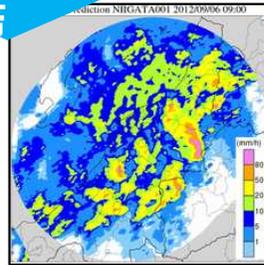


出典：(一財) 日本気象協会ホームページ (<https://www.jwa.or.jp/>)

豪雨・浸水・洪水・高潮対策

● 気象モデルによる降雨予想システム

最大78時間先までの降水量を精度良く予測。



● 土砂災害予想システム

山岳域で広範囲に渡って存在する設備網や線状の設備網（送電線網、パイプライン網、線路網、道路網など）の土砂災害リスクの把握に有効。

● ダムの事前放流判断支援サービス

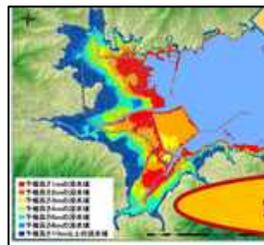
高解像度の雨量予測を基にダムへの流入量を予測し、事前放流判断を支援

● 高潮予測システム

120時間先までシミュレーションによる予測情報を作成。5コースの台風経路を設定し、1時間ごとの各地点の予測潮位を提供します。（東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海のみ）

● リアルタイム津波浸水予測システム

これまで培ってきた津波数値計算技術を用いて気象庁の震源予測に対応した津波到達時刻、高さ、浸水範囲、浸水深さなどをリアルタイムで予測するシステム



地震・津波対策

危機管理・防災

● GoStopシステム

全国の高速道路を対象に、気象による輸送影響リスクを72時間前から、地図等によりひと目で確認できるWebサービス。各路線のインターチェンジごとに、5つの気象要素（雨、風、雪、吹雪、越波）を1時間ごとに把握可能。

● 気象データ入電情報通知システム (MIEmAS)

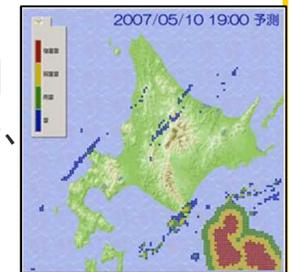
警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援。



気象
リスク
マネジメント
に関する情報
を提供

● 雷監視・予測サービス

落雷・雲放電の観測データと最新予測技術を活用し「落雷観測情報」「雷ナウキャスト」「雷予測メッシュ」を提供。雷雲の接近を事前に検知し、外作業や発電設備の事前停止など、迅速な初動対策を促す。



● 気象観測・解析

地上での気象観測以外に、係留気球や光放射観測、超音波風向風速計を用いて高層での気象観測や風況観測などを実施

その他

○ 国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等入手できるよう、防災ポータルを公開。

〈日頃から知ってほしい情報〉

被害想定

想定される被害やハザードマップを見ることができます

路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます

私たちの取り組み

国土交通省が取り組む災害対策などを見ることができます

身の守り方

災害時に身を守るための知識を見ることができます

〈災害時、見てほしい情報〉

被害状況

災害時、いち早く被害の状況を見ることができます

気象状況

台風などの気象情報、雨量や河川の水位などを見ることができます

逃げるための情報

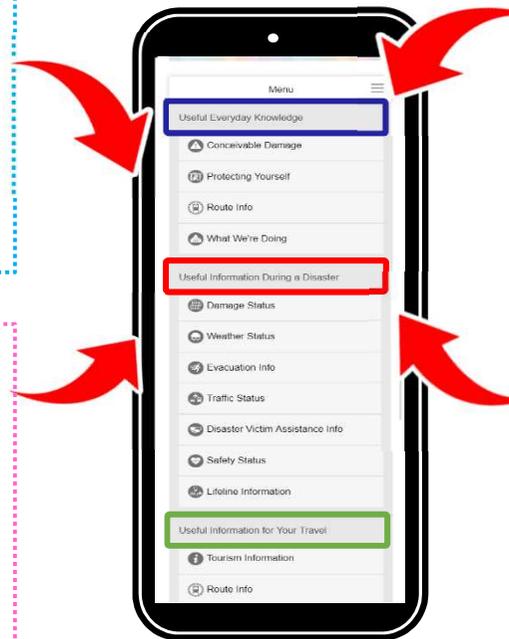
避難所等の防災施設を検索することができます

交通・物流情報

道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流の状況を見ることができます

※その他、ライフライン情報などの情報も掲載されています

関係機関の情報提供ツールが
一元化



ご利用はコチラ

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>



出典：国土交通省川の防災情報ホームページ (http://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

●ウェブサイト「川の防災情報」 ※英語版あり

- 国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報（国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報）が原則対象。
- 無料**で閲覧可能。また、閲覧するために**登録が必要な情報は無し**。ただし、閲覧するためのデータ通信費用については、利用者の負担。

○雨量

10分ごとの雨量や1時間ごとの雨量が確認可能。

○レーダ雨量

全国及び各地域の雨量分布が一目でわかる。
※高精度・高分解能（250mメッシュ）で、ほぼリアルタイム（配信間隔1分）のレーダ雨量情報が確認可能（XRAIN GIS版）。

○水位

全国の水位観測所のリアルタイムの水位を、観測所付近の川の断面図とあわせて確認可能。

○カメラ

全国に設置されている河川カメラにおける静止画を見ることが可能。

○洪水予警報等

各地域の氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の発表状況について確認可能。

○ダム諸量データ

ダムに関して、10分ごとに観測される「貯水位」、「全流入量」、「全放流量」、「貯水量」、「貯水率（利水容量・有効容量）」などの値が確認可能。
※国土交通省水管理・国土保全局、（独）水資源機構、都道府県が設置したダムや堰で観測された情報が対象。

※ご利用はコチラ

➡：国土交通省川の防災情報ホームページ



(https://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

○「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」の2つのコンテンツから、ハザードマップへの関心を通じて住民等の防災意識向上を図ることを目的に、事前の防災対策や災害時の避難など、防災に役立つ情報を提供しています。

重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、**全国シームレス**に地図上で閲覧できます。

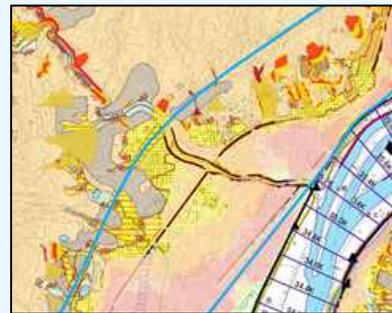
道路冠水想定箇所
緊急輸送道路
事前通行規制区間

土砂災害警戒区域等

浸水想定区域

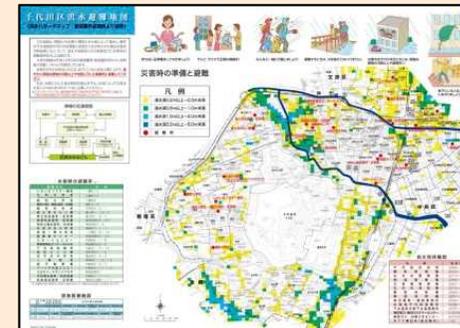
写真

1つの地図に重ね合わせて閲覧

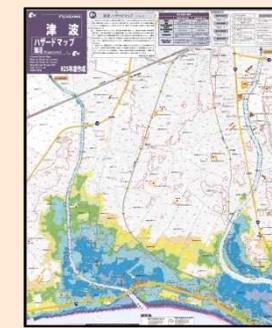


わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

避難計画・防災対策に役立つような、様々な防災に関する情報を提供しています

道路冠水想定箇所等

避難ルート
の検討



浸水想定区域

浸水対策
の検討



土地条件図等

耐震対策
の検討



身のまわりの災害リスクを簡単に調べることができます！

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

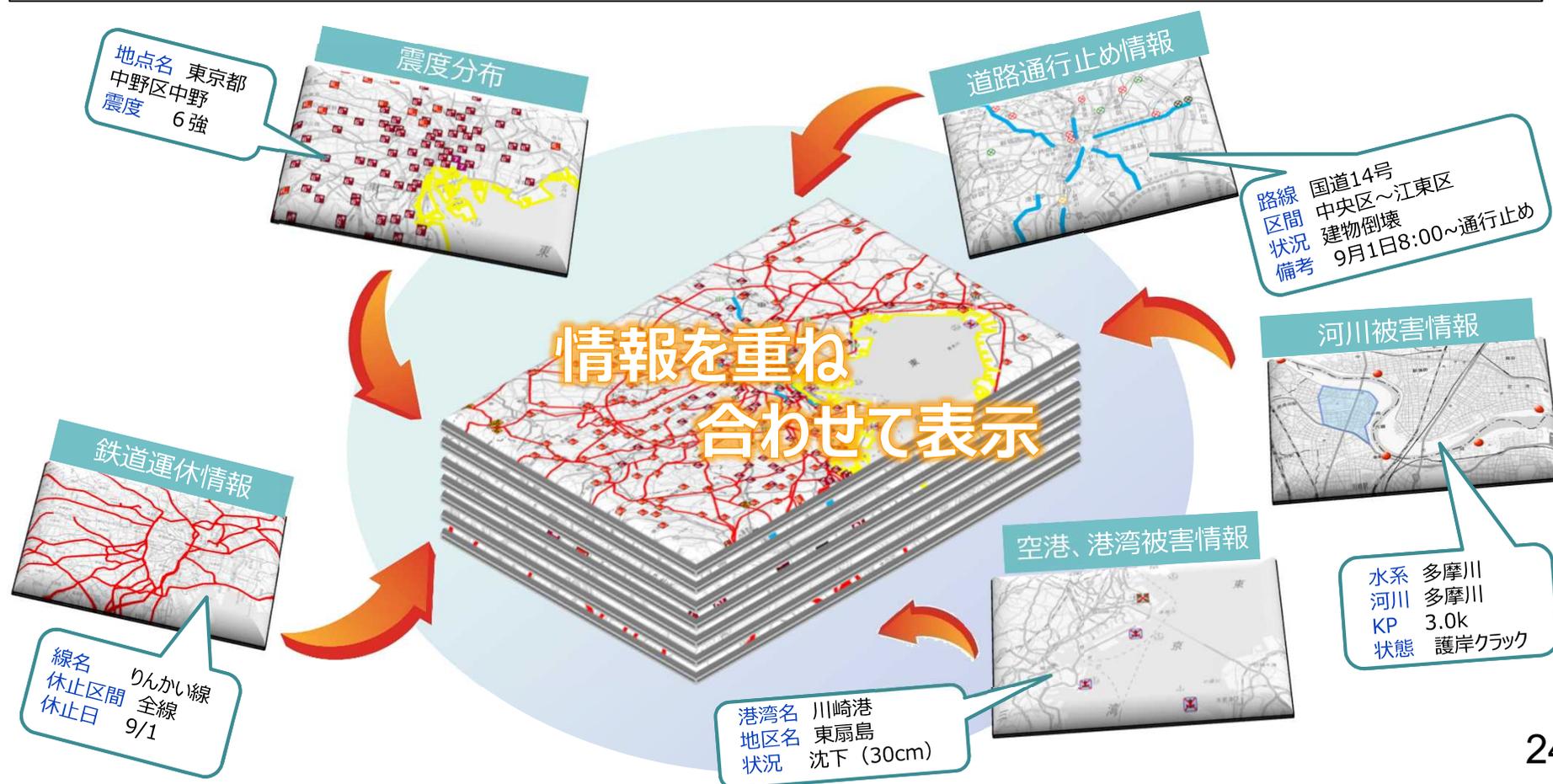
ハザードマップ

検索



※出典：<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/index.html>

- 統合災害情報システム (DiMAPS) は、地震や風水害等の災害時に、国土交通省の関係部局からの被害報告や他システムの情報等をWeb地図上に集約し、統合表示するシステム。
- 拡大、縮小可能なシームレスなWeb地図上で災害情報の迅速な共有が可能。被害の全体像を含め災害対応に必要な情報を迅速に把握し、オペレーション等に活用。





出典：内閣府ホームページ（http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk_04.html）

○近年、経済の高度化に伴い、ひとつの企業の製品やサービスの供給停止が、社会経済に与える影響は、ますます大きくなっており、企業は、災害や事故で被害を受けても、取引先等の利害関係者から、重要な業務が中断しないこと、中断しても短い期間で再開することが望まれています。



○**広く事業継続の意義を理解してもらい、事業継続計画（BCP）策定の手がかりとなるよう、内閣府にて事業継続ガイドラインが公表されています。**

＜本ガイドラインの目的＞

※ BCM：Business Continuity Management

事業継続の取組、すなわち事業継続計画（BCP）を含めた事業継続マネジメント（BCM）の概要、必要性、有効性、実施方法、策定方法、留意事項等を示すことで、我が国の企業・組織の自主的な事業継続の取組を促し、ひいては我が国全体の事業継続能力の向上を実現すること。

＜本ガイドラインの対象＞

民間企業を主な対象とした内容が多く記載されていますが、業種・業態・規模を問わず、全ての企業・組織を対象としています。

※事業継続ガイドライン（令和3年4月）

<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/pdf/guideline202104.pdf>

※事業継続ガイドライン 第三版 解説書（平成26年7月）

http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/pdf/guideline03_ex.pdf



- 中小企業BCP策定運用指針は、中小企業へのBCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)の普及を促進することを目的として、中小企業関係者や有識者の意見を踏まえ、中小企業庁が作成したものです。指針には、中小企業の実態や実状に基づいたBCPの策定及び継続的な運用の具体的な方法が、わかりやすく説明されています。
- 本指針は、中小企業の経営者が、従業員と一緒に、自社のBCPを策定し、日常的に、運用するとともに、緊急時に備えてBCPの発動を演習するための指針です。中小企業が投入できる時間と労力に応じて、4通りのコース（入門コース、基本コース、中級コース、上級コース）が用意されています。

コース	説明	BCP策定に要する日数の目安
入門コース	BCPの策定・運用に当たって、最低限必要な要素を抽出したコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCP様式類に沿って記入していくことで、BCP必要最低限のBCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2時間程度
基本コース	BCPの策定・運用を始めようとする多くの経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、BCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2日程度
中級コース	BCPサイクルに関する理論を学びつつ、自社のBCPを策定・運用したい経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、体系的にBCPを策定・運用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者1人で延べ3～5日程度 ・経営者とサブリーダー含め数人で2～3日程度
上級コース	BCPを策定・運用済みの企業が、複数の企業と連携して取り組んだり、より深い分析を行うことで、BCPの策定・運用をステップアップするためのコースです。	経営者とサブリーダー含め数人で延べ1週間程度

注) BCPの策定に限った日数の目安ですが、会社の規模や事業内容、事前対策の選定内容等によって変動します。
また、別途、BCPの運用（教育訓練や計画見直し）にも取り組むための時間が必要となります。

※詳しくはコチラ

➡中小企業庁ホームページ (<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>)



●日本政府観光局（JNTO）にて、自然災害時等の非常時に役立つ各種情報提供が行われている。

○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」（050-3816-2787）

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(Twitter) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



○スマートフォン向けアプリ「Japan Official Travel App」

このアプリ内の以下の項目で災害関連の各種情報提供を実施。

「In Case of Trouble」・・・大使館・領事館情報

「Points of Interest」・・・病院情報、避難場所・避難所情報 等

「Safety Assistance」（Other内）・・・災害情報、災害時に役立つ表現等

「Route Search」・・・路線情報、経路案内情報

※アプリダウンロード : <https://www.jnto.go.jp/smartapp/eng/about.html>



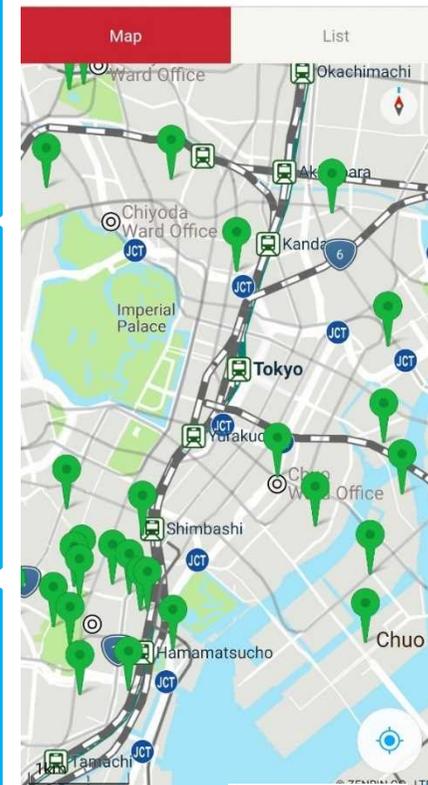
○JNTOグローバルウェブサイト

このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等の参照先を提供。

※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



※Japan Official Travel Appにおける避難場所・避難所情報表示の例
※地図表示には通信可能な環境が必要です



※詳しくはコチラ➡https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html



<p>運輸防災マネジメント指針 報道発表資料</p>	<p>運輸防災マネジメント指針の解説</p>	<p>災害対策基本法</p>
		
<p>防災基本計画 (政府の中央防災会議)</p>	<p>中央防災会議2013 「首都直下地震の被害想定と対策に ついて(最終報告)」</p>	<p>「A2-BCP」ガイドライン ～自然災害に強い空港を目指して～ (国土交通省航空局)</p>
		

災害時の政府、地方運輸局等の対応について

2023/12/8(金)
国土交通省 大臣官房
参事官（運輸安全防災）室

- ✓ 自然災害への対応
- ✓ 報道発表などの呼びかけ
- ✓ 被害情報の収集と対策
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置
- ✓ 国民への情報発信
- ✓ 実際の対応例
- ✓ 事業者の皆様をお願いしたいこと

大雪、大雨、地震等の自然災害に対し、政府はその発生による被害を最小化し、また二次被害の発生を防止するため、以下などの対応を行います。

- ✓ 被害情報の迅速・適確な把握
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置（勢力の投入、関係省庁の対応の調整）
- ✓ 国民への情報発信

← ポストする



首相官邸(災害・危機管理情報) 
@Kantei_Saigai

【緊急地震速報】

能登半島沖で地震 北陸 甲信で強い揺れ
強い揺れに警戒してください。

発表日時 5日21時58分

対象地域：石川県能登、新潟県上越、富山県西部、富山県東部、新潟県佐渡、石川県加賀、長野県北部、新潟県中越、新潟県下越

午後9:58・2023年5月5日・84.3万 件の表示

1,296 リポスト 49 件の引用 1,983 件のいいね 12 ブックマーク



九州北部豪雨(2017年)に伴う災害派遣
防衛省HPより

首相官邸X(旧Twitter)より

大雪や大雨など、自然災害発生のおそれがあるときには、政府は以下などの対応をします。

✓ 注意喚起

内閣府主催の関係省庁会議を受けて、国土交通省では本省から地方運輸局等を通じ、事業者の皆様に注意喚起を実施

その他、国土交通省・気象庁の合同記者会見等の報道発表による国民への呼びかけなど

✓ 情報連絡体制の確保

地方運輸局等は、災害発生時に速やかに連絡がとれるよう事業者との間で連絡体制を確保

注意喚起文書の例

事務連絡
令和5年9月7日

各地方運輸局 総務部長 殿
神戸運輸監理部 総務企画部長 殿
内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 殿

大臣官房参事官（運輸安全防災）

台風第13号に備えた体制の確保等について

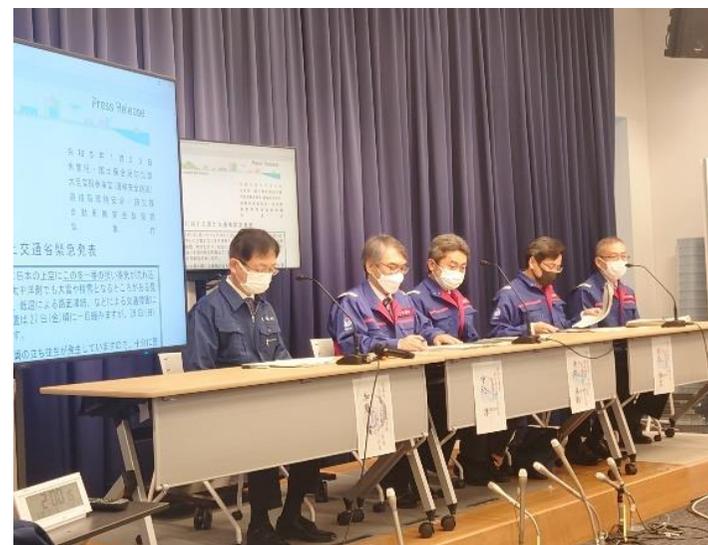
気象庁によると、台風第13号は日本の南を北上し、8日午後には東海地方や関東甲信地方にかなり接近し上陸する可能性があり、その後は北上を続けて10日朝までには三陸沖で熱帯低気圧に変わる見込みです。

...

記

1. 事業者等に対する注意喚起
2. 事業者等に対する運行（航）計画変更のHP等による利用者への周知徹底
3. 運輸事業団体・運輸事業者との情報連絡体制の確保
4. 気象台、地方整備局と連携・協力したプッシュ型の支援対応の実施
5. 早期の体制の発令、局内の連絡・災害対応体制の確認
6. 速やかなTEC-FORCE・リエゾンの派遣
7. 被害状況等のとりまとめ及び災害対策本部会議時の対応（テレビ会議等）の準備

大雪の報道発表の例



令和4年12月21日 気象庁にて

また、実際に災害が発生したときには、政府は以下などの対応をします。

✓ 関係省庁災害対策会議(大規模な災害の場合)

関係省庁の担当者が官邸に集まり、被害情報の共有・とりまとめ
→ 対策の検討を行う「関係省庁災害対策会議」(内閣府)の開催、等

内閣府HPより



**令和4年台風第 14 号特定災害対策本部会議
(令和4年9月17、19、20、21日)**

✓ 国土交通省災害対策本部(大規模な災害の場合)

各局の担当者が国土交通省・防災センターに集まり、被害情報の共有・とりまとめ、官邸への報告を行う。

国土交通省に求められる情報

以下など

- ・新幹線等、電車の脱線の有無
- ・道路、河川、鉄道、空港、港湾等の社会資本施設の被害、公共交通機関の運行状況
- ・高速道路の閉鎖状況
- ・情報収集体制の状況(防災ヘリの映像等)
- ・緊急輸送道路の確保、応急復旧の見込み
- ・緊急災害対策派遣の状況(準備、派遣、活動状況)
- ・大規模な土砂災害(天然ダム含む)の状況

国土交通省 被害状況等のとりまとめ

災 害 情 報
令和 5 年 8 月 14 日 15:00 現在
国 土 交 通 省

令和 5 年台風第 7 号による被害状況等について (第 1 報)

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表 (8/14 12:00 時点)

○強い台風第 7 号は日本の南にあって北上している。15 日に猛烈な風を伴い近畿地方から東海地方にかなり接近し、紀伊半島付近に上陸する。その後、日本海を北上し、17 日頃には北日本に接近するおそれ。

■ ■ ■

(5) 鉄道 (8/14 13:00 時点)

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】：2 事業者 2 路線

J R 東海：東海道新幹線

J R 西日本：山陽新幹線

<在来線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】：22 事業者 87 路線

J R 東海：東海道線、武豊線、関西線、紀勢線、名松線、参宮線

J R 西日本：北陸線、越美北線、小浜線、東海道線、湖西線、おおさか

(6) 航空 (8/14 12:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

・ 14 日 欠航便 36 便 (JAL 19 便、ANA 6 便、その他 11 便)

(7) 海事 (8/14 12:00 現在)

○被害状況等

・ なし

○運休状況等

・ 35 事業者 49 航路運休

(8) 自動車 (8/14 12:00 時点)

○運休状況等

・ 高速バス：8 事業者 10 路線運休、一部運休なし

・ 宅配事業者：大手 1 事業者において一部地域で集配遅延

政府は、とりまとめた被害情報を基に対処を指揮します。
国土交通省をはじめとする各省庁は、政府の指示の下で措置を執ります。

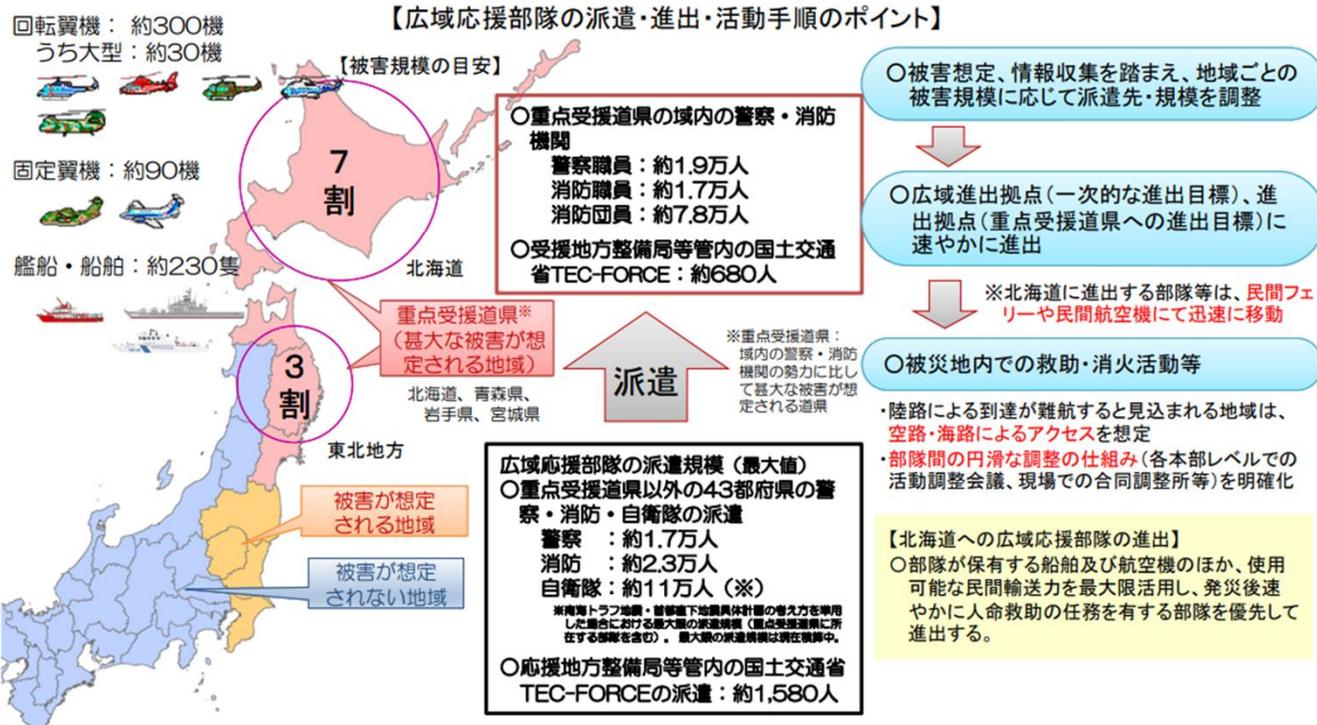
- ✓ 関係省庁と連携した対応
 応援部隊の輸送、緊急医療物資の輸送等の実施
- ✓ TEC-FORCEの広域派遣

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における救助・救急、消火活動等に係る計画の概要



趣旨・概要

○日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による甚大な被害に対して、発災直後から、被災道県内の警察・消防を最大限動員するとともに、被災管内の国土交通省TEC-FORCEを最大限動員する。また、被害が甚大な地域に対して、全国から最大勢力の警察災害派遣隊、緊急消防援助隊、自衛隊の災害派遣部隊及び国土交通省TEC-FORCE(以下「広域応援部隊」という。)を可能な限り早急に投入するための初期期における派遣方針と具体的な手順等を定めるもの。



(内閣HPより)

なお、あらかじめ決まっている初動対応については、政府からの指示によらず各省庁にて迅速に実施されます。

- ✓ TEC-FORCEの派遣
都道府県の災害対策本部等にTEC-FORCEを派遣
- ✓ プッシュ型の支援実施
被災地の支援ニーズの情報収集、支援の実施

交通系TEC-FORCEの役割

●地方運輸局等では、各部で職員をTEC-FORCE に任命しており、以下の取組を実施(令和5年4月1日時点で654人が任命)

輸送支援班の主たる活動

○被災直後:
自治体等への輸送支援実施のための
情報提供・情報収集

【情報収集】

- 所管事業者の被害状況の把握



令和2年7月豪雨
球磨川第4橋りょう
(人吉温泉駅方)の調査

- 被災自治体へのリエソンの派遣による情報収集、被災自治体のニーズを本省に報告



令和2年7月豪雨
(熊本県庁災害対策本部)

【情報提供】

- 国交省(本省・運輸局)で集約した被災状況を被災自治体等に情報を提供

- 国民、事業者への情報提供

○被災状況把握後:
緊急物資・避難者の輸送、代替輸送、帰
宅困難者対応に関する調整及び支援

【緊急物資・避難者の輸送】

- 被災自治体等からの支援物資輸送相談を受け、災害支援物資の輸送手段確保のため、地区トラック協会等と調整
- 被災者の避難に関する輸送手段確保の調整



平成30年7月豪雨(西日本豪雨)
支援物資輸送の実施

【代替輸送】

- 鉄道等代替バス、船舶の臨時運航の調整



令和元年東日本台風(第19号)
バスによる代替輸送の実施
JR東日本 中央線(甲府駅)

【帰宅困難者への対応】

- 列車ホテルの手配や旅客滞留状況に応じた終電時刻以降の運行継続、滞留発生駅へのタクシーの優先配車等の対応を調整

その他活動

【被災者の生活支援】

- 車検等の有効期間延長

【経済活動・インフラ復旧支援】

- 観光風評被害への対策としての状況調査や自治体からの相談対応



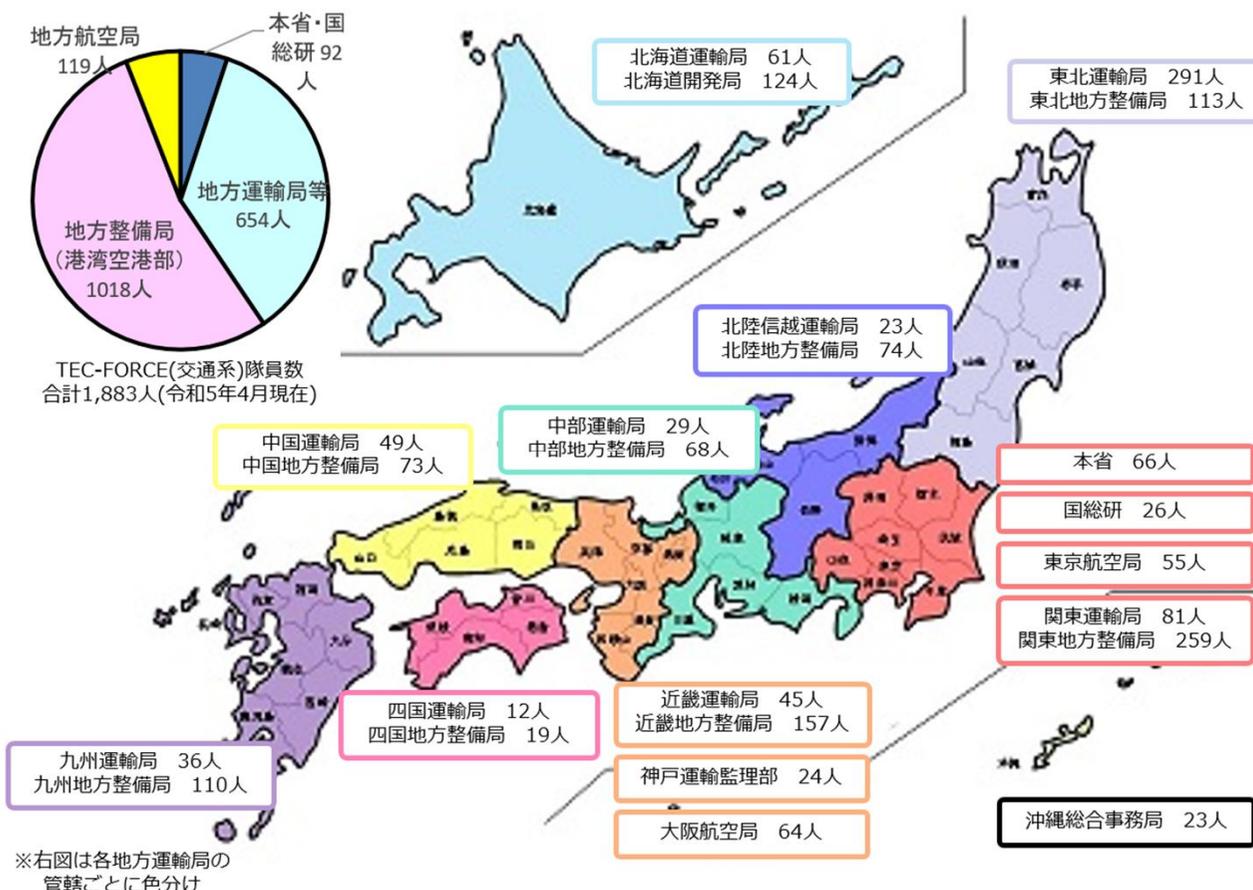
熊本地震(H28.4.14)
国土交通大臣と別府・由布院の
観光関係者との意見交換会

- 鉄道施設等の復旧に向けた支援
令和2年7月豪雨(令和2年7月)



○今後の鉄道施設の復旧や代替輸送に向けた調整のため、TEC-FORCEを肥後おれんじ鉄道株式会社へ派遣(災害復旧補助関連)

交通系TEC-FORCEの任命状況 地方運輸局等で654名（R5.4.1時点）となっている。



交通系TEC-FORCE (地方運輸局等) の各年度の派遣実績

令和5年度	31人日 (9/30時点)
令和4年度	46人日
令和3年度	125人日 (うち、R3年7.1からの雨 54人日)
令和2年度	208人日 (うち、R2年7月豪雨 140人日)
令和元年度	499人日 (うち、令和元年台風 413人日)

●国民への情報発信

政府は、とりまとめた被害情報を基に国民への情報発信を実施

内閣HPより



中野政務官(左)、星野副大臣(右)
令和5年1月20日からの大雪等に係る
関係省庁災害警戒会議
(令和5年1月23日)

首相官邸HPより



磯崎仁彦内閣官房副長官会見
大雪の被害情報、政府の対応等について
(令和5年1月25日午後)

令和5年1月20日からの大雪(2023/1/20~26頃)

気象状況(国土交通省HPより抜粋)

○24日(火)から25日(水)にかけて、日本の上空にこの冬一番の強い寒気が流入し、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。

○25日にかけて、西日本から北陸地方を中心に大雪となり、京都市など普段雪の少ない地域でも積雪となった。中国地方では24日夜に短い時間に積雪が急激に増え、厳重な警戒を呼び掛けた。25日の最低気温は南西諸島を除き全国的に氷点下となり、広い範囲で過去10年の最低気温に近い冷え込みとなった。…

会議等

1/20 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

1/23 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

報道発表等

1/20~23 関係地方整備局、運輸局、気象台等より
大雪に対する呼びかけを実施

(東北、北信、関東、中部、近畿、中国、四国、九州)

1/23 国土交通省、気象庁による大雪の緊急発表

1/25、26 官房副長官会見

被害状況等のとりまとめ

1/23~27にかけ、計10回実施



R5.1.24~25頃 JR西日本プレス発表資料より
鉄道車両15本の駅間停車発生

NEXCO中日本 名古屋支社 @c_nexco_nagoya · 32分
#新名神 渋滞解消に向け除雪作業を実施しております。



R5.1.24~25頃 NEXCO中日本のHPより
新名神 車両滞留発生

- ✓ 社内の危機管理体制の確認
初動対応マニュアル、緊急連絡担当者名簿・連絡先
備蓄品、ハザードマップの確認など
- ✓ 地方運輸局等との連絡体制の確認
- ✓ 地方運輸局等への被害情報、運行見合わせ情報の迅速・適確な共有
国土交通省HPからも事業者の運行(航)情報にリンクを貼っているものあり
- ✓ 運行(航)情報のHP等での積極的な情報発信・提供
- ✓ 運輸局から代替輸送等の協力依頼等の連絡があった際の、対応の検討・協力



The screenshot shows the homepage of the国土交通省防災情報ポータルサイト. A red box highlights the '防災ポータル' logo on the left sidebar. A red arrow points from this box to the main content area. Below the logo, there are instructions for accessing the site: '国土交通省トップページからアクセスする場合' (Access from the国土交通省 homepage) and '直接アクセスする場合' (Direct access case). The direct access case includes a search bar with the text '防災ポータル' and a search button, and a QR code. The main content area features a '防災ポータル' header, a '防災ポータルおすすめ情報' section with a 'おしえて!雪ナビ' banner, and a grid of information cards including '被害状況', '気象状況', '逃げのための情報', '交通・物流情報', '被災者支援情報', and '安否情報'. A '下へスクロール' button is visible at the bottom right of the main content area.

被害情報等の九州運輸局(支局等含む)への報告先

●鉄道

業務を所管する九州運輸局鉄道部の窓口へご連絡の上、被害情報等の連絡先の再確認をお願いします。

●自動車・海事・物流・観光等

業務を所管する九州運輸局(運輸支局及び海事事務所も含む)の窓口や協会等の加入団体へご連絡の上、被害情報等の連絡先の再確認をお願いします。

●航空関係

運休・施設被害:航空局総務課 TEL:03-5253-8111(内線48-113)